

甲斐市

文化財保存活用地域計画

令和5年度～令和12年度



令和4年 12月
山梨県甲斐市

はじめに

甲斐市は、山梨県の県庁所在地である甲府市の西に隣接し、自然豊かな地域でありながら、利便性の良さから人口が増加しており、7万6千人あまり、県内では甲府市に次ぐ規模となっております。

本市には、特別名勝及び日本遺産の構成文化財に指定されている「御嶽昇仙峡」や、戦国時代以来の歴史を現代につなぐ「信玄堤」などの歴史文化資産を有しております。

しかし、本市には歴史文化資産は多くないという声がかれることがあります。確かに県外や外国から多くの人が訪れるような観光資源となる歴史文化資産は多くないことは事実ですが、本市域でも人々の足跡は太古から連綿と営まれ、多くの歴史文化資産が存在しており、そのことを市民の皆様を知ってもらう機会を提供していくことが必要と考えております。

また、今後、過疎化や人口減少などにより歴史文化資産の滅失・散逸、担い手不足による伝承の断絶など、歴史文化資産を取り巻く環境は厳しさを増していくと思われまます。

こうしたことから、指定・未指定文化財を問わず、幅広く歴史文化資産を将来にわたって、守り、伝え、繋げていき、地域の歴史文化資産の魅力を発信・活用し、地域の活性化や新たな観光資源としてその価値を見出していくことにより、市民の方々が自分たちの住む地域を知り、誇りを持っていただけるようになっていくために、歴史文化資産を生かしたまちづくりのマスタープランでありアクションプランでもある「甲斐市文化財保存活用地域計画」を策定しました。今後は、この計画をもとに行政、市民、関係機関、専門家と協働して歴史文化資産を活かしたまちづくりに取り組んで参ります。

おわりに、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきました甲斐市文化財保存活用地域計画協議会の委員の皆様をはじめ、文化庁、山梨県観光文化部の皆様に厚く御礼申し上げます。

令和4年12月

甲斐市長 保坂 武

目 次

序章	1
第1節 甲斐市文化財保存活用地域計画作成の背景と目的	1
第2節 用語の定義	2
第3節 地域計画の位置付け	3
第4節 計画期間	4
第5節 作成体制と経緯	4
第1章 甲斐市の概要	7
第1節 自然的・地理的環境	7
第2節 社会的状況	13
第3節 歴史的背景	19
第4節 歴史文化資産関連施設	27
第2章 甲斐市の歴史文化資産の概要	28
第1節 指定等文化財の一覧	28
第2節 歴史文化資産の概要	30
第3節 未指定文化財	36
第3章 甲斐市の歴史文化の特徴	39
第4章 歴史文化資産の把握調査の現状と課題	44
第1節 既存の歴史文化資産の把握調査の概要	44
第2節 把握調査の課題	44
第3節 歴史文化資産の把握調査実施の方針	45
第5章 歴史文化資産の防災・防犯	47
第1節 災害の歴史	47
第2節 歴史文化資産の防災・防犯に関する現状	48
第3節 歴史文化資産の防災・防犯に関する課題	50

第4節	歴史文化資産の防災・防犯に関する方針	51
第5節	歴史文化資産の防災・防犯に関する措置	52
第6章	歴史文化資産の保存と活用に関する基本理念	
	・基本方針と措置	53
第1節	保存と活用に向けた基本理念	53
第2節	歴史文化資産の保存・活用の現状と課題	54
第3節	歴史文化資産の保存・活用の基本方針	58
第4節	歴史文化資産の保存・活用に関する措置	60
第7章	歴史文化資産の保存・活用の推進体制	66
第1節	推進体制	66
第2節	市民・専門家・行政の役割	68
第3節	計画の進捗管理と自己評価の方法	68
資料編		70
	歴史年表	71
	国指定文化財一覧表	73
	県指定文化財一覧表	73
	市指定文化財一覧表	74
	国登録文化財一覧表	76
	山岳地 未指定文化財一覧表	77
	丘陵地 未指定文化財一覧表	83
	平地（荒川扇状地）未指定文化財一覧表	89
	平地（塩川周辺）未指定文化財一覧表	91
	平地（釜無川扇状地）未指定文化財一覧表	92
	市（合併前の旧町村含む）刊行物一覧	98
	本市に係わる山梨県刊行物一覧	100
	釜無川・荒川に関する水害記録一覧表	101

序章

第1節 甲斐市文化財保存活用地域計画作成の背景と目的

近年、全国的にも過疎化や少子高齢化に伴う人口減少が進行しており、生活スタイルの多様化により人々の結びつきや地域交流という意識が薄れつつあります。本市においても少子高齢化や地域交流の意識の薄れから、地域の人々や個人の方々の尽力により守り継がれた歴史や文化が、社会情勢の変化により存続の危機にさらされています。歴史や文化の多くはそれ単体で形成されたものではなく、自然環境や周囲の景観、地域の歴史、そこで行われる人々の伝統的な活動などと密接に関係している場合がほとんどであり、文化財保護法第2条が示す文化財そのものだけでなく、これまで守り伝えられてきた各地域の「失われたら二度と元には戻らない」歴史文化⁽¹⁾を、次世代にどのように継承していくのが課題となっております。

例えば、10数年前までは「地域の歴史文化について詳しい人」が各地域に存在しました。しかし、現在は高齢化も進み、そのような詳しい人が急激に減っています。地域の“長老”と位置付けられる人々に、“長老”が住む地元の歴史文化について伺った際に、「あの人が詳しくかったけど、亡くなってしまった」「一つ上の世代なら詳しく知っているだろうけど、自分はよくわからない」といった具合に、すでに現在の“長老”クラスの方々にも歴史文化が継承されていないケースが見受けられます。

また、次世代を担う児童生徒に対しても教育普及活動を行っていますが、毎年決まった時期に、学校からの依頼によって行う同じ単元の教育普及活動が主となっています。そのため、単元以外の市域の歴史文化については、教育普及活動を行う機会が限られています。学校以外では、当課生涯学習係が事務局を担うジュニアリーダー及びシニアリーダー⁽²⁾の活動がありますが、文化財係とほとんど連携したことがなく、若年層への教育普及活動は限定的なものとなっています。

しかし、講座等で自治会や学校へ赴き地域の歴史文化の話をすると、「自分が住む地域にこんな歴史があるとは知らなかった」「とても興味深かった」「地元について知らないことが多く、大変面白かった」という感想を、開催後のアンケートをはじめ、市民から直接聞くことが多々あります。こういった感想は世代を問いません。また、好意的な意見を述べた後に、私たちが把握していない地元の歴史文化について教えてくれる市民もいます。つまり、歴史文化に接する機会があれば、地元の歴史文化について興味関心を持ってくれる市民が潜在的に存在することを意味しています。

「甲斐市文化財保存活用地域計画」は、歴史文化の滅失・散逸等の防止を緊急の課題とする一方で、地域の誇りであり、アイデンティティでもある歴史文化を見出し次世代に継承することを主目的とします。次世代に継承するためには、地域社会全体で歴史文化の保存と活用に取り組む必要がありますが、全国に共通する課題である“歴史文化の保存と活用に関する担い手不足に対する課題”と対峙しなければなりません。この課題を克服するためには、甲斐市教育委員会を主体として文化財保護に対する姿勢を積極的に打ち出すとともに、文化財の専門家のみならず市民及び民間企業・NPO団体など、甲斐市に関わる全ての人たちとの連携が必要です。その具体策を示し、目的を達成するためにまとめたものが「甲斐市文化財保存活用地域計画」です。

(1) 歴史文化（『歴史文化基本構想』策定技術指針 p 5 から部分引用）

歴史文化とは、文化財とそれに関わる様々な要素とが一体となったものである。文化財に関わる様々な要素とは、文化財が置かれている自然環境や周囲の景観、文化財を支える人々の活動に加え、文化財を維持・継承するための技術、文化財に関する歴史資料や伝承等であり、本技術指針でいう文化財の周辺環境のことである。

(2) ジュニアリーダー及びシニアリーダー

ジュニアリーダーとは、青少年育成甲斐市民会議（事務局：生涯学習文化課）が、地域や学校でリーダーシップを発揮できる子どもを育成することを目的に、普段の学校生活とは違った異年齢・他地域の友達との様々な体験活動を企画し、活動する組織。対象年齢は小4～高校生。

シニアリーダーとはジュニアリーダーたちのお父さん・お母さんの存在で、ジュニアリーダーの育成や活動の企画、運営を行っている。対象は市内在住の18歳以上の人。

第2節 用語の定義

次世代に継承すべき歴史文化資産が何を示すのか、甲斐市文化財保存活用地域計画（以下、本計画）中で使用する「歴史文化資産」の定義について述べます。文化財保護法で定義されている6類型（有形文化財・無形文化財・民俗文化財・記念物・文化的景観・伝統的建造物群）の文化財、埋蔵文化財、文化財の保存技術以外に、令和3年6月の文化庁の指針⁽³⁾で示されているとおり、6類型以外の文化的所産も文化財と同等に扱うことも有効とされています。したがって、本計画中で使用する「歴史文化資産」が示す範囲は、文化財保護法が対象とする6類型の文化財、埋蔵文化財、文化財の保存技術、それら以外の文化的所産となります。つまり、指定等文化財と未指定文化財が「歴史文化資産」に該当します。

なお、本計画で示す「未指定文化財」とは、6類型に該当する指定等がなされていない文化財と、6類型以外の文化的所産をまとめて「未指定文化財」として扱います。

(3) 令和3年6月文化庁指針 p1

「必ずしも文化財に該当するものとは言えないものであっても、各地域にとって重要であり、次世代に継承していくべきと考えられる文化的所産については、これを幅広く捉え、文化財と同等に取り扱う視点も有効である」

表1 本計画で示す歴史文化資産

歴史文化資産			
文化財保護法で定められた文化財	有形文化財	指定等文化財 未指定文化財	建造物
			美術工芸品(絵画、彫刻、工芸品、書跡・典籍、古文書、考古資料、歴史資料)
	無形文化財		演劇、音楽、工芸技術等
	民俗文化財		有形民俗文化財(無形の民俗文化財に用いられる衣服、器具、家屋等)
			無形民俗文化財(衣食住・生業・信仰・年中行事等に関する風俗習慣、民俗芸能、民俗技術)
	記念物		遺跡(貝塚、古墳、都城跡、城跡、旧宅等)
			名勝地(庭園、槽梁、峡谷、海浜、山岳等)
	文化的景観		動物、植物、地質鉱物
	伝統的建造物群		地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地(棚田、里山、用水路等)
	埋蔵文化財		宿場町、城下町、農漁村等
文化財の保存技術	土地に埋蔵されている文化財		
文化的所産			文化財の保存に必要な材料や用具の生産・製作、修理・修復の技術等
	生業		かつて行われていた農林業などの生産活動に関わるもの
	昔話		伝承・伝説や、市民個人の思い出など、地域の昔を知ることができる話
	人物の事績		市域に関わる人物が行った事績
	その他		上記に当てはまらない歴史文化資産

第3節 地域計画の位置付け

本計画は、文化財保護法第183条の3に規定に基づき、国の通知（平成31年3月29日付・「文化財保護法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律等の施行について（通知）」）、並びに国の指針（令和3年6月14日付・「文化財保護法に基づく文化財保存活用大綱・文化財保存活用地域計画・保存活用計画の指定等に関する指針」）に示すマスタープラン及びアクションプランとして作成しました。

また、本計画の作成にあたっては、「山梨県文化財保存活用大綱」、本市まちづくりの上位計画である「第2次甲斐市総合計画後期基本計画」、「第2期甲斐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「第2次創甲斐教育推進大綱」と整合性を計りつつ、市の各部署が策定した各種計画等との連携と調整を図っています。

そのなかでも「第2次創甲斐教育推進大綱」に定めた基本理念「甲斐市で育ち、甲斐市を育てる人づくり」と本計画との整合・反映が特に重要となります。基本理念は「本市で学び育つ子どもが心身ともに成長し、社会人となり市内外で子育てをし、本市を『ふるさと』として育てていく『人づくり』を目指し」ています。また、基本方針に「ふるさとに誇りや愛着を持ち、活躍できる人材の育成」とあり、「第2次創甲斐教育推進大綱」に関連する本計画も『人づくり』が主要テーマとなります。

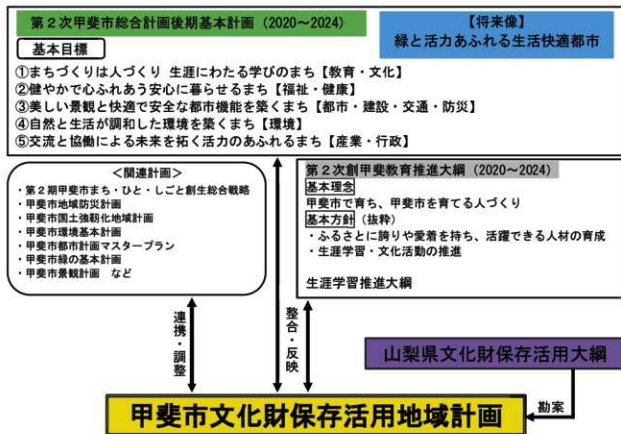


図1 甲斐市文化財保存活用地域計画の位置付け

第4節 計画期間

本計画の計画期間は、次期総合計画の期間と調整を図るため、令和5年度(2023)から令和12年度(2030)の8年間としています。次期総合計画と次期地域計画に1年の差がありますが、これは次期総合計画の内容を鑑みた上で、事業成果の検証・点検を行い、課題を再整理して次期地域計画に反映させるためです。計画期間のうち令和5年度(2023)から令和7年度(2025)の3年間を前期、令和8年度(2026)から令和9年度(2027)までの2年間を中期、令和10年度(2028)から令和12年度(2030)までの3年間を後期と設定し、事業計画の目安とします。

また、本計画の認定後、軽微な変更を行う際には、山梨県を通じ文化庁に報告し、軽微な変更以外の変更が必要となった場合(4)には、計画期間中であっても、変更の認定を文化庁に申請します。



図2 甲斐市文化財保存活用地域計画の計画期間

(4) 令和3年6月文化庁指針が示す変更については、以下のとおり

5. 認定を受けた地域計画の変更・進捗管理・自己評価・認定の取り消し等
 ○認定を受けた地域計画を変更する場合は、軽微な変更を除き、文化庁長官による変更の認定が必要である(法第183条の4)。軽微な変更とは、次に掲げる変更以外をいう。
- ・計画期間の変更
 - ・市町村の区域内に存する文化財の保存に影響を及ぼすおそれのある変更
 - ・地域計画の実施に支障が生じるおそれのある変更
- (後略)

(『文化財保護法に基づく文化財保存活用大綱・文化財保存活用地域計画・保存活用計画の策定等に関する指針』p11 から一部抜粋)

第5節 作成体制と経緯

本計画は、地域社会全体で文化財の保存と活用に取り組んでいくため、地域関係団体の代表者や公募委員等を迎え、令和3年7月16日に第1回協議会を開催しました。その後、令和4年8月22日までに7回の協議会を開催し(社会情勢により書面開催を含む)、「甲斐市文化財保存活用地域計画(素案)」としてまとめ、令和4年8月22日に甲斐市文化財保護審議会にて諮問・答申を行いました(社会情勢により書面開催)。

序章

また、素案作成中にパブリックコメントを実施し、住民の意見を計画に反映させるよう努めるとともに、適宜文化庁からの指導・助言及び山梨県からの助言を反映させ、甲斐市役所内の関係課との協議もあわせて行いました（表2・3・4）。

表2 甲斐市文化財保存活用地域計画協議会委員（順不同、敬称略）

氏名	所属	備考
新津 健	甲斐市文化財保護審議会委員	会長
畑 大介	甲斐市文化財保護審議会委員	
小宮山 謙二	甲斐市社会教育委員会会長	副会長
片野 誠一	甲斐市文化協会会長	
(田辺 泰明)		
塩沢 正行	甲斐市自治会連合会会長	
中村 己喜雄	甲斐市商工会会長	
橋田 久佳	甲斐市商工会観光部会長	
中野 正洋	文化財所有者代表	
山本 育夫	NPO法人つなぐ	
藤森 一浩	公募市民	
山下 孝司	公募市民	
青野 華子	公募市民	
一條 宣好	公募市民	
(河野 公紀)		
柳沢 章司	山梨県観光文化部文化振興・文化財課長	
(丸山 英資)		
酒井 厚志	甲斐市総合戦略部経営戦略課長	
(堤 貞治)		
久保 欽一	甲斐市産業振興部商工観光課長	

※氏名欄のうち、()内は令和3年度の委員氏名

表3 甲斐市文化財保護審議会（順不同、敬称略）

職名	氏名	専門
会長	坂本 美夫	有形文化財（考古資料）・記念物（遺跡）
職務代理	新津 健	有形文化財（歴史資料）・記念物（名勝地）
委員	(鈴木 麻里子)	(有形文化財（彫刻・工芸品）) ※令和3年度まで
	丸尾 依子	民俗文化財 ※令和4年度から
委員	畑 大介	有形文化財（歴史資料）・文化財保存修復
委員	菟原 桂	記念物（植物）

表4 作成の経緯

年度	年 月 日	内 容
令和二年度	令和元年 11 月 28 日	甲斐市文化財保護審議会において、甲斐市文化財保存活用地域計画の作成計画について説明
	令和2年3月 24 日	
	令和2年度中	町史誌から歴史文化資産に関する記述を収集する基礎資料調査を行う
	令和2年 11 月 10 日	甲斐市文化財保護審議会にて基礎資料調査の途中経過を報告
	令和3年2月 22 日	甲斐市文化財保護審議会にて、基礎資料調査の結果報告
令和三年度	令和3年度中	基礎資料調査の結果に基づき、現地調査 その後、断続的に調査結果の整理分析調査を行う
	令和3年7月 16 日	甲斐市文化財保存活用地域計画協議会委嘱及び第1回甲斐市文化財保存活用地域計画協議会の開催
	令和3年 10 月 18 日	第2回甲斐市文化財保存活用地域計画協議会の開催
	令和3年 10 月 19 日	骨子案について文化庁との第1回協議(オンライン)
	令和3年 11 月 16 日	第3回甲斐市文化財保存活用地域計画協議会の開催
	令和3年 12 月 21 日	第4回甲斐市文化財保存活用地域計画協議会に素案を報告
	令和4年1月 11 日	甲斐市文化財保護審議会に素案を報告
	令和4年1月 18 日	甲斐市議会総務教育常任委員会に素案を報告
	令和4年1月 19 日 ～2月 10 日	パブリックコメントの実施
	令和4年1月 31 日 ～2月 10 日	甲斐市議会・甲斐市教育委員からの意見・提言の提出
	令和4年2月 15 日	第5回甲斐市文化財保存活用地域計画協議会(書面開催)
	令和4年2月 21 日	甲斐市文化財保護審議会に素案を諮問(書面審議)
	令和4年2月 24 日	素案(初稿)について文化庁との第2回協議(オンライン)
令和四年度	令和4年4月 20 日	第6回甲斐市文化財保存活用地域計画協議会の開催(書面開催)
	令和4年5月 19 日	文化庁との第3回協議及び現地視察
	令和4年8月 22 日	第7回甲斐市文化財保存活用地域計画協議会の開催し、文化庁に申請する素案の最終協議(書面開催) 甲斐市文化財保護審議会に諮問・答申(書面開催)

第1章 甲斐市の概要

第1節 自然的・地理的環境

1. 位置・面積

甲斐市は、県都甲府市の西隣に位置し、共に連携し発展してきた中巨摩郡竜王町・同郡敷島町・北巨摩郡双葉町との合併により平成16年(2004)9月1日に誕生しました。北は北杜市、南は中巨摩郡昭和町、東は甲府市、西は韮崎市と南アルプス市が隣接しており、概ね東経138度28分から138度34分、北緯35度37分から35度48分に位置し、総面積は71.95㎓と、山梨県全体の1.6%を占めています。また、南北に長い地形(南北約20km東西約9km)を成しており、北部は山地で構成され、中部は丘陵地となり、南部は釜無川左岸の平地が広がっています。なお、市名は在住者と出身者から公募した結果、新市名称検討小委員会にて名称候補を「甲斐・峡中・みこま・みつば・みどり野」の5点にしぼり、合併協議会にて「甲斐市」が選定されました。

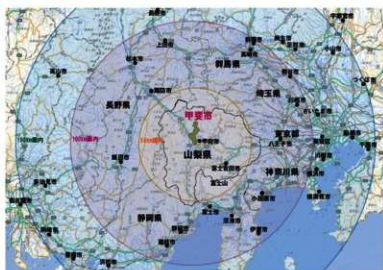


図3 甲斐市の位置



上空から見た甲斐市と周辺(南から撮影/写真中央が釜無川)



図4 甲斐市域図

第1章 甲斐市の概要

2. 地区と大字

令和4年(2022)現在、市内は合併以前の旧町域をもとに3つの地区に区分され、小・中学校区をはじめ自治会連合会などにおいて、地区が用いられています。また、大字は近世の村名が由来となっています。なお、甲斐市役所本庁舎が立地する場所は竜王地区にあります。



図5 甲斐市の地区と大字

甲斐市 平成16年9月1日誕生																																			
中巨摩郡敷島町 昭和29.10.17										中巨摩郡竜王町 昭和31.9.30					北巨摩郡双葉町 昭和30.3.5																				
敷島町 昭29.10.17		松島村 昭28.1		福岡村 昭28.1		龍沢村 昭27.8.30		清川村 昭27.8			吉沢村 昭27.8		竜王村 昭26.10		玉塚村 昭26.6	塩崎村 昭26.6		登美村 昭26.2																	
敷島村 昭22.4.1		松島村 昭28.1		福岡村 昭28.1		龍沢村 昭27.8.30		清川村 昭27.8			吉沢村 昭27.8		竜王村 昭26.10		玉塚村 昭26.6	塩崎村 昭26.6		登美村 昭26.2																	
島上条村	中下条村	大下条村	天狗沢村	長塚村	牛匂村	境村	大久保村	亀沢村	打返村	漆戸村	獅子平村	上菅口村	下菅口村	上芦沢村	下芦沢村	上福沢村	下福沢村	安寺村	吉沢村	千田村	竜王村	竜王新町	榎原村	富竹新田	万八幡村	西八幡村	玉川村	宇津谷村	下今井村	岩森村	志田村	龍地村	大空村	園子新居村	葛蒲澤村

図6 甲斐市 誕生までのあゆみ

3. 地形・地質

本市の地形は、山岳地・丘陵地・平地（河原・扇状地）で構成されています。北部は、1,700m級の茅ヶ岳や曲ヶ岳・太刀黒山など、数百万年前から数十万年前の火山活動によって形成された山岳地です。中部は標高300～500m付近に赤坂台地などの丘陵地と平地が広がり、南部は甲府盆地の低地にあたる標高250～300mの扇状地の平地で形成されています。

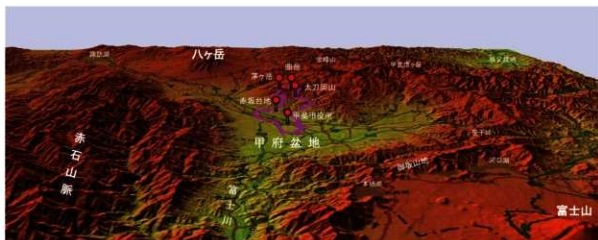


図7 周辺地形図（出典：国土交通省 国土地理院地図より編集・上が北）

本市の西側には一級河川富士川の本流である釜無川が流れ、他市との境界となっています。一方、東側には笛吹川へと合流する荒川が流れ、一部が甲府市との境界となっています。その他の河川は、賁川・塩川・龜沢川・鱒沢川・穴尻川・東川・坊沢川などがあげられ、河川のほとんどは北から南へと流れています。

本市の地質は、山地や丘陵地を構成している硬い岩盤と、甲府盆地の底部にあたる平地を構成する堆積物の地層が分布しています。岩盤は、火山活動によって地表に噴出された安山岩や火砕流堆積物、御嶽昇仙峡の黒雲母花崗岩のように、マグマが地下深くでゆっくりと冷却固結してできた深成岩が中心となっています。



図8 周辺地質図

（出典：国土交通省 国土地理院地図より編集）

第1章 甲斐市の概要

4. 自然

茅ヶ岳や秩父多摩甲斐国立公園などのエリアを含む本市は豊かな自然に恵まれ、そこには様々な動植物が生息しています。しかし、これらの動植物には、森林環境の変化等により絶滅のおそれがある種が含まれ、生物の多様性が低下しています。そのため、市民の環境保護意識を高めることを目的として、市民参加型の環境学習イベント「自然観察ツアー」や「自然観察会」を、本市環境課などが実施しています。

北部に広がる山地・丘陵地の森林は、木材生産林としてだけでなく、水源のかん養・山地災害の防止・生物の生息環境保全などの多様な機能を有しています。本市の約4割が森林に被覆されていますが、その大部分は人の手による植生で占められています。茅ヶ岳東側や曲岳南側の斜面など、山地から丘陵地に移行する地域を中心に人為的に伐採などが行われ、その後成立している森林が広がっています。また、昇仙峡付近の秩父多摩甲斐国立公園地域内に、天然林のアカマツ群落があります。

昇仙峡付近の秩父多摩甲斐国立公園は、山麓部から山頂部付近まで森林に覆われ、様々な動物にとって格好の生息環境となっています。ツキノワグマ、ニホンジカ、ニホンカモシカなどの大型ほ乳類をはじめ、イノシシ、サル、イタチ、ムササビ、ウサギなどが生息しています。

南側には、日本三大急流のひとつである富士川本流の釜無川が流れており、堤沿いの推定樹齢数百年に及ぶケヤキなどの林とともに、自然的な環境及び特色ある水辺景観として保全しています。また、荒川については、河川公園などとして自然環境を維持しており、亀沢川・六反川などについては、市民と連携してホテルの生息環境を保全する活動を行っています。



図9 甲斐市の断面模式図
(出典：国土交通省 国土地理院地図より編集)

5. 気候

5-1. 気温・降水量

図10、表5に甲府地方気象台（甲府市）で観測された、平成3年(1991)～令和2年(2020)の30年間における月別平均気温、月別平均降水量の推移を示します。甲府地方気象台の立地する甲府市と本市は隣接しているため、観測データは本市と同程度のデータが観測されると推測されることから、甲府地方気象台のデータを参考に考察します。本市の月平均気温は8月が最も高く27.1℃、1月が最も低く3.1℃であり、年間を通して寒暖の差が大きいのが特徴です。月平均降水量については、9月が最も多く178.7mmであり、平均年間降水量は1160.7mmとなり、全国的に見ると降水量は少ない地域といえます。

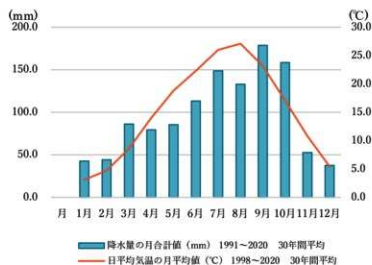


図10 気温・降水量

〔出典：気象庁 甲府気象台過去気象データより編集〕

表5 気温・降水量

	日平均気温の月平均値 (°C)	降水量の月合計値 (mm)
1月	3.1	42.7
2月	4.7	44.1
3月	8.6	86.2
4月	14.0	79.5
5月	18.8	85.4
6月	22.3	113.4
7月	26.0	148.8
8月	27.1	133.1
9月	23.2	178.7
10月	17.1	158.5
11月	10.8	52.7
12月	5.4	37.6
年平均	15.1	1160.7

〔出典：気象庁 甲府気象台
過去気象データより編集〕

5-2. 日照時間

図11、表6に令和元年(2019)の甲府地方気象台で観測された、月別日照時間と平年値日照時間の推移を示します。本市の月別日照時間は、4月が最も長く260.1時間であり、7月が最も短く71.0時間となります。年間の合計平均日照時間は2250.3時間となっており、総務省統計局の『日本統計年鑑 第七十回日本統計年鑑』の、令和元年(2019)の全国平均値1,990.4時間より13.0%高い数値となります。また、合計日照時間の平年値(平成3年(1991)～令和2年(2020)の30年間について算出した累積平均値)と比較すると、令和元年(2019)の合計日照時間は平年値を約25時間上回っており、全国の中でも日照時間の長い地域となります。

本市の気候の特性としては、「昼と夜」の気温差が大きいこと、年間の降水量は少なく、年間の日照時間が長いことから内陸性気候といえます。この内陸性気候は「果樹」「野菜」の栽培に適しています。

第1章 甲斐市の概要



図 11 日照時間

(出典：気象庁 甲府気象台過去気象データより編集)

表 6 日照時間

	日照時間の月合計値 (h) 2019年	日照時間の月合計値 (h) 2011~2020 30年間平均
1月	176.4	209.1
2月	215.1	195.4
3月	209.0	206.3
4月	260.1	206.1
5月	202.3	203.9
6月	156.0	149.9
7月	71.0	168.2
8月	252.8	197.0
9月	125.7	150.9
10月	138.6	159.6
11月	208.6	178.6
12月	234.7	200.9
年	2250.3	2225.3

(出典：気象庁 甲府気象台

過去気象データより編集)

第2節 社会的状況

1. 人口の状況

平成 16 年(2004) 9 月に中巨摩郡竜王町・同郡敷島町・北巨摩郡双葉町が合併し誕生した甲斐市は、合併当初の人口は約 7 万 4 千人でした。現在、山梨県の中では甲府市に続いて 2 番目に人口が多い市となり、令和 4 年(2022) 6 月現在では、約 7 万 6 千人と微少ながら増加傾向となっています。全国的に人口減少が進む中で、人口が増加している要因としては、県庁所在地である甲府市に隣接していることや、双葉地区拠点工業団地の拡張、山梨県住宅供給公社による大規模開発に伴い住宅地としての利便性が向上したことが考えられています。現在は人口増加の伸び率が、鈍化しており地区によっては人口の減少が見られます。市の人口ビジョンでは、令和 27 年(2045)の推定総人口(社人研推計)は、66,000 人前後と考えられており、また、市独自の将来人口の推計では、63,288 人という数値となっています。

併せて、平成 29 年(2017)~令和 3 年(2021)までの年齢別人口の比較表(図 13)を見ると、総人口は微増していますが、0~14 歳の人口は減少しています。図 13

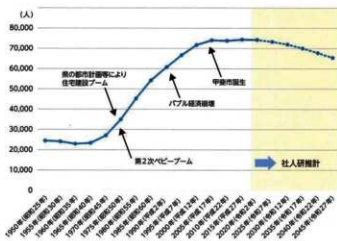


図 12 甲斐市 総人口の推移

(出典：『甲斐市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン』から転載)

からは少子高齢化が徐々に進んでいることが読み取れ、将来的には人口減少が進むことが懸念されています。

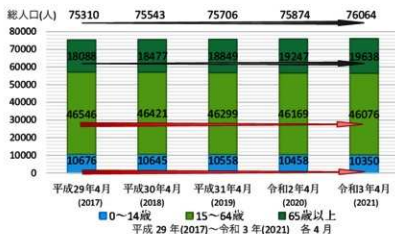


図13 年齢別人口の比較
〈出典：『甲斐市地区別年齢人口集計表』〉

2. 産業

本市の農業は、豊かな森林資源や自然景観を有する北部の山間地域では棚田を利用した稲作のほか、果樹栽培や畜産業が行われています。緩やかな斜面上に位置する中部地域では稲作・畑作のほか果樹栽培が行われ、住宅地と農地が混在する平坦な南部地域では稲作が農業の中心となっています。

「フルーツ王国やまなし」の一員である本市の果樹栽培は、「さくらんぼ」「もも」「ぶどう」を中心に栽培されており、初夏から秋にかけて盛況を迎えます。野菜では特産のサトイモのほか、市のブランドとして「甲斐のぎゅぎゅつとねぎ」「赤坂とまと」などの栽培が行われています。なかでも西八幡地区で栽培されるサトイモを「やはたいも」と呼び、今では甲斐市のブランド野菜として県外にも出荷しています。

工業や商業においては、国道20号(甲府バイパス)や国道52号および、主要地方道の甲府並崎線や甲府南アルプス線などの街道沿いを中心に商工業地が立地し、地場産業としては宝飾加工や販売店などに携わる産業が多く存在しています。

近年では、釜無川の伏流水から汲み上げられた、ミネラル豊富なミネラルウォーター「龍王源水」や、バイオマスを活用した産業創出と地域循環型のエネルギー強化のバイオマス産業推進など、地方公共団体と民間企業が協力して地域活性化や持続可能なまちづくりを目指しています。



棚田



やはたいも

第1章 甲斐市の概要

3. 土地利用

本市の土地利用は、図14が示すとおり、森林が43.8%、次いで宅地が14.9%、農用地が13.4%となります。山梨県全体と比較すると森林面積の割合が低く、農用地、道路、宅地の割合が比較的高くなっています。

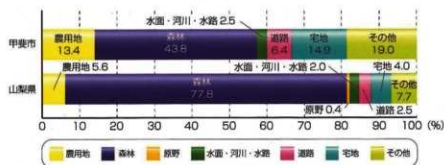


図14 土地の利用状況

〈出典：甲斐市第1次甲斐市総合計画（後期基本計画）から転載〉



図15 都市構造（空間構成）

〈出典：『甲斐市都市計画マスタープラン』から転載し一部加筆〉

図15は『甲斐市都市計画マスタープラン』において、土地利用の観点から市域を分類した図です。この図をみると、北部は山林として利用され、中部は住宅と農地が混在した集落地です。中部と南部は市街地、南部の一部に優良農地（市街地及び集落地の背後に分布するまとまりのある農地）として利用されていることがわかります。

市街地が形成されているのは、主に中部の一部と南部に位置する平地ですが、これはこの地域のほとんどが市街化区域であるためです。

第1節（p10参照）で触れた本市を構成する3つの地形を図15にあてはめると、「山林＝山岳地」、「集落地＝丘陵地」、「市街地・優良農地＝平地（河原・扇状地）」となり、地形によって土地利用が異なっていることがわかります。

4. 交通

鉄道はJR中央本線が市内を東西に横断し、竜王駅と塩崎駅の2駅が設置され、市内の人々に利用されています。また、竜王駅は山梨県唯一の貨物取扱駅となっているほか、石油タンク貯蔵設備もあり、経済活動を支える駅としても機能しています。

自動車道は中央自動車道、中部横断自動車道が市域を通過しています。社会実験を経て、平成21年（2009）に双葉サービスエリアにスマートインターチェンジが共用開始され、高速道路が利用しやすくなりました。中部横断自動車道は令和3年（2021）8月29日に山梨（双葉ジャンクション）～静岡（新清水ジャンクション）間が全線開通しました。市内に立地する双葉ジャンクションは中央自動車道と接続していることから、静岡方面のみならず東西物流の要所として機能しています。また、全線開通によって山梨県庁から静岡県庁までの所要時間が、従来の2時間45分から1時間40分となり、静岡県へのアクセスが格段に向上しました*。

バスは県内大手バス会社の路線が市内を走っているほか、甲斐市民バスが市内6路線で運行しています。JR竜王駅は高速バスの停留所にもなっており、東京のほか、京都や大阪への定期運航が行われ、首都圏や京阪地区との接続が可能となっています。

※国土交通省 甲府河川国道事務所ウェブサイトによる



図 16 市内主要交通網

第1章 甲斐市の概要

5. 観光

5-1. 市内の主な観光地

豊かな緑に恵まれた美しい自然が多く残る山岳地、恵まれた気候や地形により農産物を育む丘陵地、釜無川（富士川）・荒川・塩川のほとりに立地する平地に分かれており、地域ごとに様々な観光を楽しむことができます。

◆山岳地（市北部）

国の特別名勝に指定され、日本遺産に認定されている御嶽昇仙峽を代表に、茅ヶ岳・太刀岡山・羅漢寺山・曲岳・黒富士といった山梨百名山にアクセスすることができます。新緑から紅葉シーズンには多くの登山者で賑わい、四季折々に美しい表情を見せる自然と出会い、山歩き醍醐味を味わうことができます。また、羅漢寺山の西方（昇仙峽の西側）には「甲斐市ふる里自然観察路」が設けられており、白砂山や太刀の抜き石（岩）など、変化に富んだ自然を観察することができます。ほかに、市内で最も広い棚田である御領（霊）の棚田では、田植え後の棚田を利用したろうそく祭りが行われ、市内外から多くの人々が訪れています。

◆丘陵地（市中部の一部）

甲府盆地は日照時間が長く「昼と夜」の気温差が大きいことから、農産物の栽培に恵まれた環境です。茅ヶ岳南麓や赤坂台地では、ぶどう・もも・さくらんぼ・うめなど、多くの果樹栽培が行われています。ほかに、市のブランド野菜である「甲斐のぎゅぎゅつとねぎ」「赤坂とまと」の生産もこの丘陵地で行われており、市内の農産物直売所などに並んでいます。また、大正時代末期から昭和にかけて養蚕が盛んであったため、当時の面影を残す桑畑を利用した、桑の実摘み観光事業や、桑の葉茶・桑の実ジャム・桑の葉パウダーなどの生産が行われています。

◆平地（市中部の一部、市南部）

釜無川周辺の平地では、戦国時代を代表する治水土木施設「信玄堤」沿いで、甲府盆地に春を告げる水防祈願祭「おみゆきさん」のほか、サクラのライトアップが開催され多くの見学者が訪れています。秋には、郷土が生んだ江戸時代の学者「山梨大式」の遺徳を偲ぶ「大式学問祭」が開催され、学問成就祈願などが行われています。

5-2. 観光客数

山梨県が集計している「山梨県観光入込客統計調査結果」によると、本市を観光で訪れる人の数は、平成27年から令和2年まで過去6年間の平均で約47万6千人です。図17は、本市が隣接している甲府市・南アルプス市・韮崎市・北杜市の観光入込客の統計と比較したものです。過去6年間でさかのぼって見ても、甲府市と北杜市の観光客数が群を抜いていることが明らかで、甲斐市や南アルプス市・韮崎市の観光客数とは大きな差が生じています。つまり、本市は甲府市や北杜市と比較すると、観光目的で訪れる人々が圧倒的に少ないことが見て取ることができます。

図18は本市を訪れた観光客の月別の推移です。平成27年・28年の10月の観光客数が目立つ

以外は、ほぼ横ばいとなっています。

なお、令和2年の観光客数が落ち込んでいるのは、新型コロナウイルスが世界中にまん延し、緊急事態宣言が発令されるなど、人の動きに大きな影響が生じた結果です。

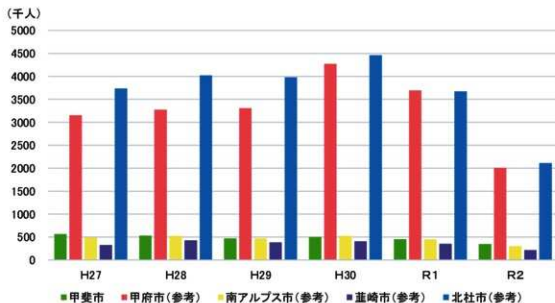


図 17 観光入込客数の推移

〈出典：山梨県ウェブサイト 山梨県観光入込客統計調査結果より部分引用〉

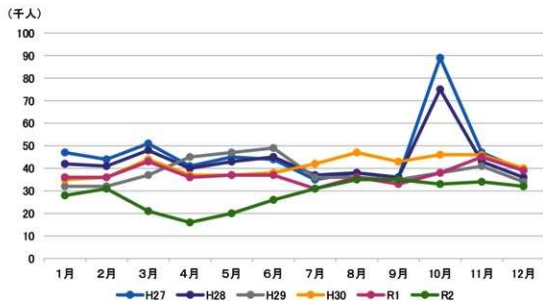


図 18 甲斐市 観光入込客数（月別）の推移（1000人以下は切り捨て）

〈出典：山梨県ウェブサイト 山梨県観光入込客統計調査結果より部分引用〉

第3節 歴史的背景

1. 歴史概況

1-1. 原始（2万数千年前頃から3世紀後半）

数百万～数十万年前に茅ヶ岳火山によってつくられた茅ヶ岳の南麓では、市内で最も古い人間活動の痕跡がみつかっています。それは、唐松遺跡で出土したナイフ形石器、赤坂ソフトパーク建設に伴う試掘調査で発見された黒曜石製の縦長剥片です。後者は調整痕から、およそ2万数千年前の旧石器時代後期前半の石器と考えられています。また、黒曜石は透明で不純物が含まれていないことから、長野県和田峠産の黒曜石とみられています。

縄文時代に入ると、荒川扇状地および茅ヶ岳南麓で、多くの縄文人の活動痕跡を追いかけることが出来ます。島上条の石原田遺跡では、縄文時代草期（今から約8,000年前）のミニチュア土器（手のひらにのるくらい小さな土器）が出土しており、この土器は現在のところ山梨県最古のミニチュア土器とされています。石原田遺跡の立地する荒川扇状地では縄文時代前期後半から中期後半にかけて、人々の生活痕跡をたどることができ、この地域独自の文様を持つ土器に加え、関東地方や中部高地の施文を持つ土器が出土し、他の地域からの影響も受けていることが看取できます。

甲斐市には、山梨県を代表する弥生時代の遺跡である金の尾遺跡があります。水田跡こそ発見されていないものの、集落と墓城が溝で分けられていたことが明らかになっており、弥生人の生活と葬送儀礼に対する考え方を知ることが出来ます。加えて、金の尾遺跡から出土する土器は、長野県域の影響を受けた土器、静岡県域の影響を受けた土器、それら2つを折衷した土器の3種に分類されています。これは、それぞれの文化が他地域から入ってきたこと示しており、土器や遺構の様相から広域交流の最前線であるという専門家の声もあります。



金の尾遺跡出土土器

1-2. 古代（4世紀から12世紀中頃）

甲府盆地の南側では、古墳時代の初め頃から大きな古墳が造られていました。一方、甲斐市の属する盆地北部では、甲府市湯村の万寿森古墳（6世紀半ば）を先駆けに、徐々に荒川扇状地に古墳を造る文化が拡大してきました。境の大塚古墳（6世紀後半）、島上条の^{大庭}大庭無名墳（6世紀後半から7世紀初頭）がこれに該当します。大庭無名墳は、石室の基底部しか残っていませんでしたが、^{大庭}大庭床からは馬具や水晶製切子玉をはじめとした、非常に豊富な遺物が出土しています。古墳は徐々に赤坂台地へと分布域が移っていき、7世紀初めに赤坂台古墳群を形成し、7世紀半ばに造られた童王2号墳で終焉を迎えます。



大庭無名墳

荒川扇状地や赤坂台地に古墳が造られていた頃、中央では仏教が受容されており、飛鳥文化・白鳳文化が花開いていました。ちょうど、古墳から寺院への転換期となる時期です。そして7世後半、天狗沢の地に朝鮮半島からもたらされた最新技術によって、**天狗沢瓦窯跡**が造られました。当時は瓦葺きの建物は寺院か役所に限られていたため、天狗沢瓦窯跡で造られた瓦の供給先が判明すれば、付近に豪族の私寺があるのか、古代巨摩郡の役所があるのかが明らかとなります。しかし、現在でも供給先が見つかっておらず、大きな謎となっています。



天狗沢瓦窯跡

平安時代は甲斐国で作られた土師器である**甲斐型土器**の全盛時代です。この土器は、ヘラなどで暗文（うすすらとした文様）を施した赤褐色の土師器です。甲斐国に属していた市内の遺跡はもちろんのこと、相模国や駿河国をはじめとした近隣諸国でも出土しています。また、平城京でも甲斐型土器が出土しており、目に見えて他地域との交流が拡大していることが伺えます。仏教も徐々に民衆に浸透し、**松ノ尾遺跡**の住居跡からは**小型金銅仏（銅造仏形坐像）**が2体出土しています。

1-3. 中世（12世紀末頃から16世紀中頃）

鎌倉時代、島上条周辺は京都市西京区にある**松尾大社の荘園・志麻荘**があった地域です。中下条の**松尾神社**は、その名称から松尾大社の分社と考えられており、周辺の小字に松ノ尾の名称が残っています。

室町時代に入ると、茅ヶ岳南麓の志田では**鑄物師**が活動をはじめます。諏訪市の諏訪神社上社別当神宮寺（現 法華寺）五重塔鉄露盤に志田鑄物師の名があり、志田鑄物師を語る上で欠かせない資料となっています。また、その作風から**久遠寺**（南巨摩郡身延町）や**広厳院**（笛吹市）の鐘も志田鑄物師が作ったと考えられています。文安5年（1448）に鑄造された**向嶽寺**（甲州市）の鐘には「宇津屋満吉」という志田に隣接する宇津谷の職人の名が見え、作風と時期によって**志田鑄物師**と**宇津谷鑄物師**の2系統が存在したと考えられています。しかし、両集団とも中世後期になると忽然と姿を消してしまいます。

永正18年（1521）武田信虎によって甲斐国が統一され、市域も武田氏の支配下に置かれます。武田晴信（信玄）に代替わり後、永禄3年（1560）までに戦国時代の治水施策の代表例とされる**竜王信玄堤（竜王之川除）**が築かれました。この堤防が築かれたことによって、釜無川の流路の一つがせき止められました。築堤当時の竜王信玄堤の姿は不明ですが、江戸時代初期に描かれた絵図の写しなどから考察すると、現在の信玄橋付近までだろうと考えら



信玄堤絵図（保坂家文書）

第1章 甲斐市の概要

れています。しかし、築堤時期や工事内容に関わる一次史料が見つかっていないため、どのような工事が行われたのかははっきりしていません。なお、信玄堤という名称は戦国時代にはなく、江戸時代に釜無川周辺の堤防群を指す呼称として使用されていました。

また、近年は毎年のように全国各地で水害が多発している状況から、竜王信玄堤下流などに設けられていた不連続堤である霞堤（雁行堤）の工法に注目が集まり、流域治水[※]が議論されています。

※流域全体で水害を軽減させる治水対策（国土交通省ウェブサイト「流域治水プロジェクト」から引用）

1-4. 近世（16世紀後半から19世紀中頃）

武田氏が滅ぶと豊臣大名が甲斐国を支配し、やがて江戸幕府が甲府城を拠点に甲斐国を領有します。近世前期までは甲府藩や谷村藩などが置かれていましたが、その後甲斐国は幕領となります。そのうち、市城の一部は御三卿の一橋領として、宇津谷村に一時期陣屋がおかれていたといえます。

次に、近世の村について述べます。考古学的に中世後期から集村化の傾向が見られることが知られており、近世になると集落立地が戦前までの旧村の位置と重なります。そのため、狭く入り組んだ道が多い旧村は、近世村落の名残を良好に留めているといえます。特に山岳地は、宅地開発の手が入りにくいこともあってか、市内の旧村の中でも良好に旧態を留めています。

旧村内や甲州道中などの街道沿いには、人々の信仰や交流を物語る石造物が多く残されています。道祖神をはじめ、秋葉山灯籠、石尊、蜷山などの石造物は、市域に普遍的にみられます。中には「ねずみよけ」の文字と猫を陰刻した石造物、出羽三山（山形県）を記した石造物、三峯神社（埼玉県）、金刀比羅宮（香川県）など、現在の市域では珍しいと感じる信仰に伴う石造物も点在します。

祭礼に関しては、甲府道祖神祭がたびたび禁止された影響からか、街道筋の地域では小正月行事が行われないという特徴があります。その一方で、街道から離れた場所では、どんど焼きをはじめとした小正月行事が現在でも行われており、市内でも文化伝承に差異が生じていることも特徴です。また、この頃の市域の特色ある産業として、甲州煙草（竜王煙草）や山岳地の榎^榎があげられます。



ねずみよけ石造物

1-5. 近現代（19世紀後半から現在）

明治時代に入ると、本市篠原出身とされる山梨大武^{やまがたいたけ}が勤王家として評価されはじめます。大武に関する著作も出版され、大正10年（1921）には出生地とされる篠原に山縣神社が創建されました。戦前は武田信玄とならぶ山梨県の2大英雄として捉えられていたと思われ、小学校講堂の古写真には「忠孝」の額の両脇に、信玄と大武の画像が掲げられている写真も存在します。また、国定教科書から山梨大武の名前が削除されることになった際、松島村出身の歌人であり国家主義

者の三井甲之が「山県大武抹殺事件」と称して、大きく抗議を行いました。

第二次大戦中は現在の県立農林高等学校付近に、山梨在郷軍人航空研究会によって玉幡飛行場が造られ、その後陸軍の飛行場となりました。飛行場を造る際に赤坂台地のロームを使用したという伝承があり、現在の県道甲斐中央線は飛行場建設のために造られた道といわれています。また、大久保には防空壕がつくられ、玉幡飛行場の精密機械を運び込んだとの伝承もあるため、市内には戦争遺跡も存在しています。



山県大武 肖像

戦後、皇国史観が薄まったことによって、山県大武の存在は徐々に忘れ去られていきました。昭和の終わり頃、自治会と行政が主導となって大武学問祭りが催されました。『柳子新論』に代表される多くの著書があり様々な学問を学んだ大武の事績から「学問の神」として再評価され、現在に至っています。時代によって評価が異なることも、山県大武の特徴といえます。

また、古くから甲府盆地に住む人々を悩ませていた日本住血吸虫病（地方病）が、明治17年（1884）東山梨郡春日居村（現 笛吹市）からの訴えで、県病院が初めて医学的調査を行いました。地方病がいつから存在するのかわかりませんが、江戸時代初期に書かれた『甲陽軍鑑』に、小幡豊後守の病状が地方病を彷彿とさせる記述あることが知られています。この病気は、寄生虫が引き起こす病気で、甲府盆地一帯、広島県福山市の片山地区、九州の筑後川流域など、ごく限られた地域のみが存在していたため、地方病と呼ばれていました。特に甲府盆地は日本国内最大の流行地で、本市でもほぼ全域で多くの罹患者を出していました。明治17年の調査依頼から、多くの研究者による調査研究や官民一体となった予防の結果、115年後の平成8年（1996）、山梨県が地方病の終息宣言を発表しました。

2. 産業と交通の歴史

2-1. 古代（4世紀から12世紀中頃）

荒川扇状地の御岳田遺跡・末法遺跡からは、水晶製丸玉未製品と水晶原石、緑色凝灰岩製の管玉未製品や製作時に生じたチップが出土しています。注目点は完成された製品ではなく、未製品ということです。加工途中の石材が出土しているということは、付近に玉造に関わる人々（職人）が住んでいたことが想起でき、甲斐市最古の産業は現代でいうところの宝飾加工にあたる可能性があります。また、近年の研究で、山梨県産の水晶が県外の遺跡で出土していることが解明されはじめており、古代の水晶流通についても注目されています。なお、現在までに古墳時代の玉類の未製品が出土しているのは、県内では甲斐市以外にありません。

切子玉とトンボ玉
(大庭遺跡の大庭無名墓)

平安時代、茅ヶ岳南麓の丘陵地のほとんどが、甲斐の御牧の一つである穂坂牧（今牧場）の推

第1章 甲斐市の概要

定地に該当します。穂坂牧で生産された馬は毎年 30 頭前後が都まで引かれていき、都では鞍馬にも良馬として登場しています。また、穂坂牧は歌枕にもなっていることから、京都に住む人々が穂坂牧を名馬の産地として認識していたことを示しています。都に馬を進上する際に通ったルートは明らかになっていませんが、天平 10 年 (738) の「駿河国正税帳」には、甲斐国から都に馬を進上する人と甲斐国へ帰国する防人らが、駿河国を通過している記録があります。この史料から、8 世紀前半の段階では、東海道を経て都に向かっていった可能性が想定されています。

2-2. 中世 (12 世紀末頃から 16 世紀中頃)

中世になると茅ヶ岳南麓エリア、塩川沿いに立地する志田・宇津谷の鑄物師が登場することは、先ほど述べたとおりです。現在、宇津谷字金剛地には轡をご神体とした金山神社が鎮座し、鍛冶職人の子孫とされる人々が祭祀(金剛地金山神社祭典)を行っています。しかし、具体的な鑄物師の活動実態は不明なままです。なお、穂坂路や逸見路は中世には利用されていたと考えられていますが、その証左は見つかっていません。



金剛地金山神社祭典

この頃、山岳信仰と密教が融合した修験道は金峰山でも行われていました。伝承によれば、吉野金峯山から蔵王権現を勧請したことが金峰山修験の始まりとされています。中世には、金峰山や金桜神社への参詣路である御嶽道があったと想定されており、稜線上の道である現在の上道の起点に、鎌倉時代の特徴を持つ石鳥居が建っていたと考えられます。この鳥居は金峰山へ向かう最初の鳥居 (一の鳥居) とされ、現在は「旧金桜神社石鳥居」として、敷島総合運動公園内に移築復元されています。

2-3. 近世 (16 世紀後半から 19 世紀中頃)

甲府城築城に際して山岳地エリアに住む榎(林業従事者)が御用柚として活躍しました。いわゆる北山筋十二ヶ村に住む人々です。古文書を紐解くと、豊臣秀吉の小田原攻めや朝鮮出兵、関ヶ原の戦い、佐渡金山や木曾などでの材木伐採活動などが記され、諸役免許の由緒として伝承されていることがわかります。しかし、現状では甲府城築城工事への動員と上記の伝承以外、榎の具体的な活動実態についてはほとんどわかっていません。

江戸時代を通して、甲斐国は煙草の名産地でした。本市周辺で作られていた龍王煙草は、江戸時代前期頃には『本朝食鑑』や『和漢三才図会』に甲州煙草の名産地として記されており、甲府から江戸への手土産として、甲州煙草が名産化していった時期です。その後、江戸時代中期に書かれた『裏見寒話』には「国中第一」、江戸時代後期に書かれた『甲斐国志』には「甲州煙草第一品」などと記され、江戸時代を通して



龍王煙草

(出典：甲州文庫アーカイブ)

煙草が名産だったことがわかります。さらに、江戸時代後期から明治初年にかけて急速に生産が発展していき、『明治七年府県物産表』では、煙草生産量のうち竜王を含む中巨摩郡は58.2%を占めていることから、本市がかつて県内屈指の煙草の産地であったことを裏付けることができます。また、甲州煙草は江戸や大阪でも流通しており、**甲州道中や富士川舟運**によって江戸や大阪に送られていたこともわかっています。

山岳信仰の道として、起源は中世に遡ると考えられている**御嶽道**は、修行のために峰々を渡らせる稜線上の道から、江戸時代には里を通る道へと変化していったようです。この頃、主な参詣路として人々が利用したのは、沢筋を歩く「**外道（下道）**」と呼ばれる道で、歌川広重もこの道を通じて**金桜神社**へと参詣したことがわかっています。

その他、江戸時代の終わり頃に、丘陵地では斜面を利用して日用雑器や水甕を生産し、税として納めたことも判明しています。その時の窯跡は、**諏訪大神社登り窯跡**として現在も残っています。その後、斜面を利用した窯業は、**近現代の瓦生産業**へと受け継がれていきます。ただ、粘土の採取地はわかりません。

2-4. 近現代（19世紀後半から現在）

前代まで盛んであった煙草生産は、より商品価値の高い**養蚕**に取って代わられることになりました。養蚕業は殖産興業の影響もあり、全県で盛んであったイメージがあるかもしれませんが、近世を通じて甲府盆地での養蚕業は県東部地域に限られていました。戦前・戦後になると山梨県は全国有数の養蚕県として知られていたようですが、本市域での養蚕業の始まりは詳らかではありません。

しかし、「江戸時代からわずかに行われていたが、明治末期頃から盛んになっていった」という記述が『敷島町誌』にみられます。明治時代の亀沢村の古文書には、養蚕に関する記述が見られることから、市域では明治頃から養蚕が盛んになっていったと思われます。養蚕業が機械化され、中巨摩郡と北巨摩郡の一部計18か村の養蚕農家が結集し、昭和24年(1949)に竜王駅前に「**模範社**」が設立されました。その後、県内最大の製糸工場へと成長しましたが、昭和37年(1962)の生糸の貿易自由化に伴い養蚕は衰退し、昭和61年(1986)、静かに幕を閉じました。

荒川扇状地は、大消費地甲府に近い地の利を活かし、**一ノ堰（上桑堰）**などを中心に**水車精穀業**が盛栄し、明治中期から昭和初期にかけては、当時の甲府米穀市場出荷量の約7割が、この地域から出荷されていたといわれています。特に水車が多かった一ノ堰が川干しなどによって精穀が止まると、甲府市場の米価は値上がりしたという話が『敷島



模範社
『竜王事典2』から転載



現在の一ノ堰の風景

第1章 甲斐市の概要

町誌』に載っています。大正7年（1918）の米騒動の際には、甲府市の若尾邸を焼き打ちした暴徒が、島上条にも押し寄せるとの風聞もあったほどで、当時の島上条周辺の盛況ぶりが伺えます。しかし、甲府米穀市場が昭和17年（1942）頃に自然消滅に近い形でなくなると、次第に水車も姿を消していったそうです。現在はその名残が一部残るのみで、当時の様子を知る人もほとんどおりません。

明治36年（1903）12月に中央線が韭崎まで開通すると、同じ年に竜王駅が設置されました。塩崎駅は駅設置嘆願運動の結果、昭和26年（1951）に設置されています。開通当時の東京から甲府までの所要時間は8時間で、昭和6年に電化されると、所要時間は4時間に大幅短縮されました。また、中央線が電化された頃、^{山梨}戸田街道に沿う形で甲府・青柳（富士川町）間に山梨交通電車線が敷設され、市内には榎、玉幡、競馬場入口（のちに飛行場入口から農林高校前と改称）の3駅が設置されました。「ボロ電」と呼ばれ親しまれた本路線は、昭和37年（1962）に廃線となりましたが、^{山梨}廃軌道と称される当時の軌道跡を利用した県道5号線や、わずかに残る駅の区画跡に、かつての路線を感じることができます。

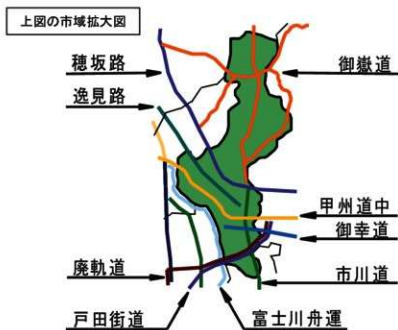
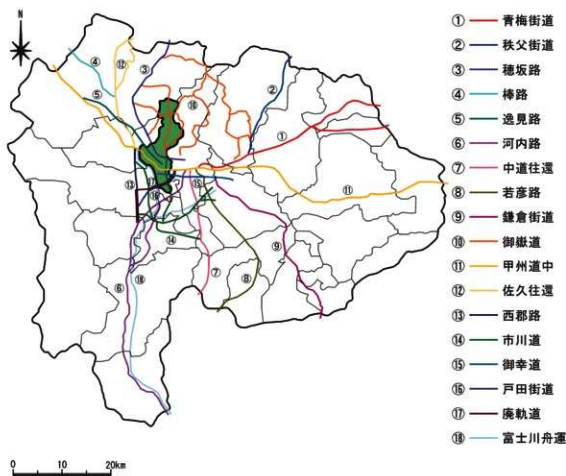


図 19 山梨県内及び甲斐市内を通る歴史の道（概要図）
 (『山梨県歴史の道ガイドブック』を参考に作成)

第1章 甲斐市の概要

第4節 歴史文化資産関連施設

本章第3節でみた考古資料、及び第2章でみる市内の歴史文化資産の一部は、表7に示した歴史文化資産関連施設に保管しています。施設にはこれまでの埋蔵文化財調査で出土した土器などの大量の遺物、調査で作成した図面類、収集や寄付された民具・古文書、調査のために必要な専門書などは、それぞれ分散して各施設に保管してあります。展示施設である双葉歴史民俗資料館は建設から50年以上が経過し、現在の耐震基準を満たしておらず、施設の性格上職員は常駐しておりません。そのため、見学を希望する場合は事前予約が必要です。

表7 歴史文化資産関連施設

施設	用途
 敷島文化財整理室	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財整理分析調査 ・出土遺物保管 ・発掘調査図面保管 ・発掘調査道具保管 ・民俗資料保管
 双葉歴史民俗資料館	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗資料展示・保管 ・古文書展示・保管 ・出土遺物展示・保管 ・専門書（発掘調査報告書等）保管 ・古文書調査 ※1階の一部は消防団詰所 ※2階の一部は教育委員会倉庫
羅漢寺保管庫	・仏像155体（県指定）保管
旧敷島町学校給食センター	・民俗資料保管 ・出土遺物保管 ※場所は他課と共有
竜王南小学校資料室	・民俗資料保管
双葉支所2階倉庫	・出土遺物保管 ・調査報告書保管
双葉集出荷場	・民俗資料保管 ・古文書保管
赤坂台総合公園展望塔1階	・出土遺物展示 ・歴史資料展示
自然休養村管理センター	・旧竜王歴史民俗資料館 展示物一式 ※一部利用
竜王図書館閉架	・古文書保管
生涯学習文化課	・古文書保管 ・出土遺物（金属製品）保管

第2章 甲斐市の歴史文化資産の概要

第1節 指定等文化財の一覧

本市の指定文化財および国登録文化財件数は107件です。内訳は、国指定が3件、県指定が24件、市指定が76件、国登録有形文化財が4件となります。うち、常設展示や保管のために市外の博物館に貸し出し・寄託している文化財は3件です。

表8 指定等文化財の件数 ※令和4年(2022)8月現在

類 型		国指定	県指定	市指定	国登録	合計	
有形文化財	建造物	1	6	9	4	20	
	美術 工芸品	絵画	0	0	3	0	3
		彫刻	0	3	9	0	12
		工芸品	1	0	2	0	3
		書籍・典籍	0	4	0	0	4
		古文書	0	0	2	0	2
		考古資料	0	3	2	0	5
		歴史資料	0	1	7	0	8
無形文化財		0	0	0	0	0	
民俗文化財	有形民俗文化財	0	2	5	0	7	
	無形民俗文化財	0	0	5	0	5	
記念物	遺跡(史跡)	0	2	16	0	18	
	名勝地(名勝)	1	0	3	0	4	
	動物、植物、地質鉱物 (天然記念物)	0	3	13	0	16	
文化的景観		0	-	-	-	0	
伝統的建造物群		0	-	-	-	0	
文化財の保存技術		0	-	-	-	0	
合計		3	24	76	4	107	

※ライチョウ(国・天然記念物)、カモシカ(同)、甲斐犬(同)、ヤマネ(同)は地域を定めない指定文化財のため、一覧からは除外した。

第2章 甲斐市の歴史文化資産の概要

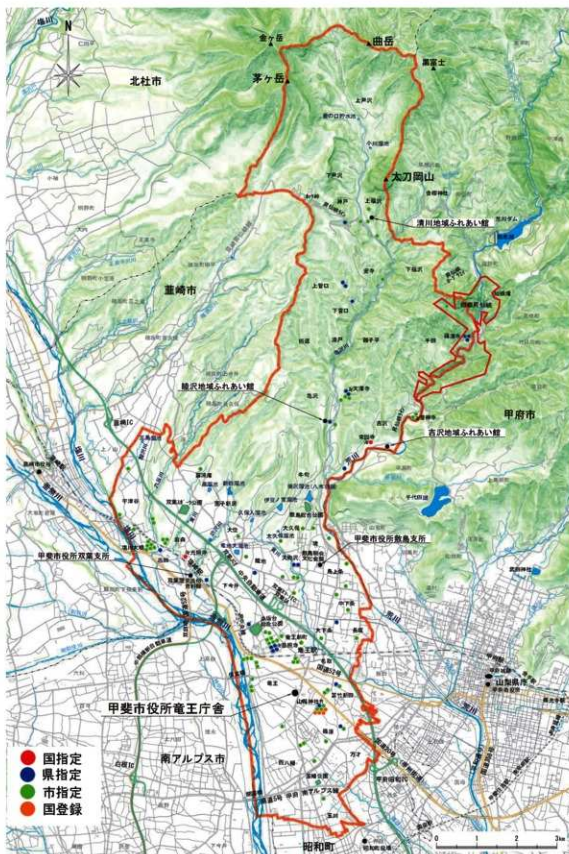


図 20 指定等文化財の分布

第2節 歴史文化資産の概要

1. 指定等文化財

1-1. 有形文化財

①建造物

中近世の社寺建築を中心に16件が指定されています。代表的な社寺建築として、光照寺薬師堂(国指定)や慈照寺法堂(県指定)、松尾神社本殿(市指定)があげられます。いずれも戦国から安土桃山時代に建築されたと考えられ、木造の建造物として市内でも古い部類に帰属します。石造の建造物では、鎌倉時代の特色を持つ旧金桜神社石鳥居(県指定)や慈徳院五輪塔(市指定)、室町時代の応永33年(1426)銘のある天沢寺六地藏幢(県指定)や、室町時代の数少ない単制幢である正授院石幢(市指定)などがあります。



光照寺薬師堂(国指定)

②美術工芸品

絵画は3件で、いずれも近世のものであります。そのうち、慈照寺の絹本着色仏涅槃図(市指定)は、涅槃図の墨書や軸木に寛文8年(1668)、嘉永5年(1852)、昭和3年(1928)の3度の修理年代が記されており、修補を行いながら現在まで大切に伝えられてきたことがよくわかる資料です。

彫刻は9件のうち、平安時代の特徴を持つ安楽寺の木造阿彌陀如来坐像(市指定)が最も古く、5件が中世の仏像です。中世の仏像のうち、羅漢寺の木造阿彌陀如来坐像(県指定)は応永30年(1423)に造立されたことが墨書から判明しており、木造五百羅漢像(県指定・154体)は一部に墨書や彩色の痕跡がみられます。なお、羅漢寺の県指定の仏像は日本遺産の構成文化財にもなっています。

工芸品は鎌倉時代の特色を持つといわれる常説寺の白奥(国指定・日本遺産構成文化財)を代表に、慈照寺の梵鐘(市指定)、妙善寺本堂厨子(市指定)の3件が指定されています。

書跡等は6件で、童王信玄塚に関する古文書を有する保坂家文書(県指定)のほか、山岳地の集落において持ち回りで保管されていた旧巨摩郡北山筋山中十二箇村共有文書(県指定)、明和事件(1766)で処刑された山県大式に関連する山県大式自筆著書並墨書(県指定)が伝えられています。

考古資料は歴史時代の遺物を中心に5件あり、白鳳期の瓦陶兼業窯である天沼沢瓦窯跡出土品(県指定)や、地方への仏教文化の伝播を伝える松ノ尾遺跡出土の銅造仏形坐像(県指定)や、永祿4年(1561)銘のある塔之越経塚出土経筒(県指定)が代表的なものです。

歴史資料は山岳地の袖が繁栄を祈念した八王子神祈願図絵馬(県指定)、童王信玄塚や旧童王河原宿の成立時期の根拠資料となっている旧童王河原宿石橋(市指定)。同じく童王信玄塚の江戸時代の様子を知ることができる信玄塚絵図(市指定)など、8件を指定しています。

常説寺 白奥
(国指定・日本遺産構成文化財)

第2章 甲斐市の歴史文化資産の概要

1-2. 民俗文化財

①有形民俗文化財

山岳地は江戸時代の郷倉である上菅口の郷倉・下菅口の郷倉（いずれも県指定）や、中近世の六地蔵庫や板碑が残り、様々な信仰が同一の場所で見ることができる上福沢の道祖神場（市指定）、常照院庚申塔（市指定）など、近世の民俗資料を中心に7件を指定しています。

②無形民俗文化財

江戸時代の天明の大飢饉の時、貧困と悪疫を恐れた村民が近隣の神楽師を招いて行ったことが起源という大久保の神楽（市指定）や、下福沢青年会によって、今も集落出身の若者によって傳承されている小正月行事の下福沢の道祖神祭り（市指定）のほか、鍛冶職人の末裔という小林姓の一族が、鞠まじりをご神体とした金山神社に、一族の繁栄を願い米粉で男女のシンボルを奉納する金剛地金山神社祭典（市指定）が代表的な文化財です。



大久保の神楽（市指定）

1-3. 記念物

①遺跡（史跡）

遺跡は18件が指定されています。そのうち5件は古墳で、赤坂台古墳群の最高所に位置する中鉢塚古墳（県指定）、荒川扇状地上にある大塚古墳（市指定）など、全て後期古墳です。また、生産遺跡である古代の瓦陶兼業窯の天狗沢瓦窯跡（県指定）、近世後期の窯跡である諏訪大神社境内の登り窯跡（市指定）のほか、江戸時代の用水隧道開削碑（市指定）、山県大貳の墓（市指定）などがあります。

②名勝地（名勝）

甲府・甲斐両市にまたがる御嶽昇仙峡（国指定・特別名勝）を筆頭に4件が指定されています。そのうち2件は江戸時代の庭園で、作庭時の古文書が残る慈照寺庭園（市指定）と、妙善寺庭園（市指定）があります。

③動物・植物・地質鉱物（天然記念物）

天然記念物が16件指定されています。内訳は植物が13件、地質鉱物が3件です。種に小さな穴があいている竜地の揚子梅（県指定）や、接木の痕跡がある羅漢寺跡のカキ（市指定）、約15万年以上前の噴火活動によって形成されたホッチ峠の饅頭石（市指定）、竜王の地名の由来となったという竜王水（市指定）などがあります。



御嶽昇仙峡
（国指定・日本遺産構成文化財）

2. 国登録文化財

近代和風建築として、いずれも山縣神社に所在する建造物が4件登録されています。写真の拝殿は石畳の床があり、本殿と同様、神明造を基調とした建物です。



山縣神社拝殿（国登録）

3. 埋蔵文化財

表9に示したとおり、市内には220カ所の周知の埋蔵文化財包蔵地が登録されています。文化財保護法では、周知の埋蔵文化財包蔵地内で土木工事を伴う開発行為を行う場合には、事前に届出を行うよう定めています。やむを得ず遺跡を現状のまま保存できない場合には、開発行為の前に発掘調査を行い、遺跡の記録保存を行うこととしています。

遺跡の種類は散布地以外では墳墓が最も多く、次いで集落跡となっています。本市を代表する遺跡として、金の尾遺跡があげられます。この遺跡は縄文時代から中世までの複合遺跡で、特に弥生時代の遺構と遺物が著名です。また、天狗沢瓦窯跡も遺跡の一部や出土品の一部が山梨県指定文化財となっており、金の尾遺跡と同様、本市を代表する遺跡です。

表9 周知の埋蔵文化財包蔵地 種別一覧

遺跡の種類	散布地	集落跡	城館跡	社寺跡	墳墓	祭祀遺跡	生産遺跡	その他	不明	合計
計	126	20	3	12	42	1	3	12	1	220

※遺跡数の重複を避けるため、遺跡の種類を複数持つ遺跡は、代表的な種類1つに限定して表9に反映した



金の尾遺跡出土 壺棺
(市指定有形文化財)



松ノ尾遺跡 発掘調査の様子

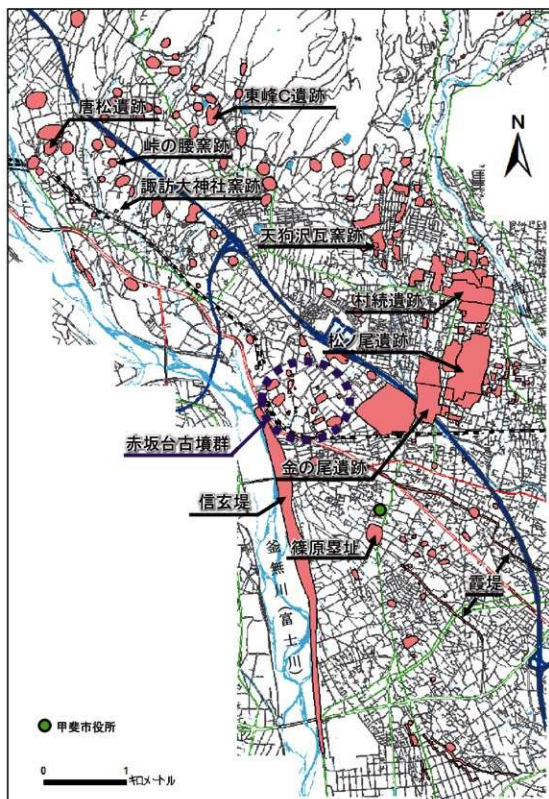


図 21 市中部・南部の遺跡地図

4. 日本遺産

日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて、文化や伝統に基づく「ストーリー」を文化庁が認定する制度です。ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の歴史文化資産を、地域が主体となり国内外に情報を発信し、地域の活性化を図ることを目的としています。甲府市と甲斐市で申請したストーリー「甲州の匠の源流・御嶽昇仙峽～水晶の鼓動が導いた信仰と技、そして先進技術へ～」が、令和2年6月19日に日本遺産に認定されました。

表 10-1 市内の日本遺産構成文化財

タイトル	甲州の匠の源流・御嶽昇仙峽～水晶の鼓動が導いた信仰と技、そして先進技術へ～
認定市町村	甲府市・甲斐市
ストーリーの概要	昇仙峽一帯の山地は、水の塊と信じられていた水晶を産出する水源信仰の地であり、地域を流れる荒川上流を訪ねると、悠久の時をかけた浸食により形成された大小の滝や巨石、奇岩に驚かされます。水が作った芸術品ともいえるこの渓谷美は、江戸時代末期に行われた新道開削により奇跡的に出現したのですが、地域の人々の熱意により日本有数の景勝地として磨きあげられてきました。そして、昇仙峽一帯で産出された豊富な水晶とその加工技術は、匠の技として日本一のジュエリー産業の基盤となり、更には人工水晶製造技術へと繋がってスマートフォンなどの電子機器に使用されるなど、過去から現代に至る私たちの生活を支えているのです。

※日本遺産申請資料から引用・転載

表 10-2 市内の日本遺産構成文化財（表中の番号は次頁の図 22 と連動）

番号	文化財の名称	ストーリー中の位置づけ
①	御嶽昇仙峽（国指定・特別名勝）	巨岩や新巖、奇石群を擁し、希少な造形美を形成する日本有数の渓谷。
⑧	旧金櫻神社石鳥居（県指定・建造物） ※指定上の名称は旧金櫻神社石鳥居	昭和59年（1984）の調査によって発見された金櫻神社の一の鳥居で、鎌倉時代のものである。現在は、駐車場を確保できる甲斐市の総合公園内に、金峰山方向に遥拝できるかたちで移設建立されている。
⑨	御嶽古道（亀沢、吉沢、塚原の3筋）の石造物群（未指定・史跡）	金峰山への参拝の道は、江戸時代に「御嶽九筋」と呼ばれる複数の御嶽道（古道）が整備され、亀沢、吉沢、塚原の3筋は御嶽信仰における主要なルートであった。それぞれの道筋には、金峰山五丈岩や金櫻神社へと、古の人々の折りを繋げた石造物群を今も観ることができる。
⑩	御嶽古道（未指定・史跡）	当時の甲斐国と信濃国を結ぶ幹線道路である穂坂路に接道していたのが亀沢、吉沢、塚原の3筋であり、御嶽信仰における主要なルートであった。江戸時代の浮世絵師歌川広重も御嶽古道を歩いて金櫻神社へ参詣し、その折に古道の奇石や景色を描いている。広重が絵にした風景を、この場所でも今も観ることができる。
⑪	旧羅漢寺の遺構（未指定・史跡）	羅漢寺は大永年間（1521-1527）に創建されたとされ、開基当時は、羅漢寺山の中腹にあったが慶安4年（1651）に火災で焼失し、その後、新道開削により木造羅漢像とともに現在の場所に再建された。旧羅漢寺には、当時の石組みやテラスの遺構が残られる。
⑫	木造五百羅漢像（県指定・彫刻）	修験道場として開基された、その名も羅漢寺に伝わる羅漢像。寺は、昇仙峽を象徴する覚門峰を抱く山に建立され、山の名も羅漢寺山という。
⑬	木造阿弥陀如来坐像（県指定・彫刻）	修験道場として開基された羅漢寺に伝わる阿弥陀如来。
⑳	白奥（国指定・工芸品）	「承久の乱」により順徳天皇が佐渡に流されていた時期に、越後寺泊から金櫻神社へ勅使を遣わせた折に奉納品を載せた奥。

※日本遺産申請資料から引用・転載・一部加筆

第2章 甲斐市の歴史文化資産の概要



第3節 未指定文化財

町史誌中の歴史文化に関する記述の抽出と、現地調査によって未指定文化財の把握調査を行いました。現地調査は旧村範囲に該当する地域を中心に徒歩で調査を行い、目視で確認できる範囲で未指定文化財の把握を行いました。その結果、未指定文化財総数は、令和4年(2022)3月末時点で2,124件を把握しました。市域別にみると、山岳地(市北部)が635件、丘陵地(市中部)が588件、平地(市中部)が356件、平地(市南部)が545件です。

表 11 未指定文化財件数一覧(令和4年3月末現在)

種類・分類		山岳地 (市北部)	丘陵地 (市中部)	平地 (市中部)	平地 (市南部)	合計	
有形文化財	建造物	213	183	110	204	710	
	美術工芸品	絵画	0	0	0	1	1
		彫刻	216	97	71	75	459
		工芸品	0	0	0	0	0
		書跡等	0	0	0	9	9
		考古資料※	0	0	0	0	0
		歴史資料	66	74	43	94	277
民俗文化財	有形民俗文化財	96	71	45	81	293	
	無形民俗文化財	2	4	2	8	16	
記念物	遺跡(史跡)	19	134	71	65	289	
	名勝地(名勝)	5	1	0	1	7	
	動物、植物、地質鉱物 (天然記念物)	0	6	2	1	9	
その他	生業	3	1	1	1	6	
	昔話	15	17	11	5	48	
合計		635	588	356	545	2,124	

※発掘調査で出土した土器などの考古資料は膨大な数にのぼるため、未指定文化財の把握調査からは除外した

第2章 甲斐市の歴史文化資産の概要

1. 有形文化財

①建造物

把握した建造物710件のうち、ほとんどは石造物で、六地藏幢や無縫塔などがこれに該当します。石造物以外には、神社仏閣の木造建造物や旧家の母屋などがありますが、特徴的な建造物として、過去の産業で使用した旧稚蚕飼育所、現在も使用されている水路網があります。



旧稚蚕飼育所内部

②美術工芸品

彫刻は旧村の道祖神場に江戸時代に設置された如意輪観音や子安地藏のほか、双体地藏などがこれにあたります。歴史資料は、中世の板碑や廻国順礼供養塔などが、旧村や道沿いの道祖神場に設けられており、中には若狭国（現在の福井県西部）や播磨国（現在の兵庫県南西部）からの巡礼者が建てた供養塔も存在します。

2. 民俗文化財

①有形民俗文化財

江戸時代の人々の信仰に関する歴史文化資産を多く確認しました。庚申塔や道祖神といった信仰以外に、大山阿夫利神社（神奈川県伊勢原市）の石尊講に関するもの、秋葉山（静岡県浜松市）の秋葉講に関するものなど、江戸時代に関東一円で流行した信仰に関する歴史文化資産があります。また、わずかながら三峯神社（埼玉県秩父市）に関するものや、出羽三山（山形県）に関する歴史文化資産も存在します。

②無形民俗文化財

抽出した歴史文化資産は、町史（誌）に記載のある祭礼が中心ですが、現地調査で出会った住民から聞き取った結果、現在行われていない祭礼があることが判明しています。

3. 記念物

①遺跡

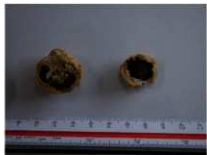
遺跡は周知の埋蔵文化財包蔵地のほか、過去の産業遺構である炭焼き窯跡や水車精穀所跡、水番所跡のほか、古道や廃寺などが主を占めており、本市の産業や信仰に関する特徴がよく現れています。

②名勝地

武田家に関するいわれを持つ信玄公山、山岳地の御領（壺）の棚田などがこれに該当し、特に棚田は本市の歴史文化を代表する景観の一つです。

③動物・植物・地質鉱物

植物では、島上条八幡神社の社叢や信玄堤の水害防備保安林、地質鉱物は黒富士火山によって生成された団子石（饅頭石）など、本市の自然環境を特徴づけるものが該当します。



団子石

4. その他

文化財の6類型にあてはまらずとも、本市の歴史文化資産の1つとして考えられるものを把握しました。

①生業

かつて行われていた煙草栽培や林業などのほか、現在でも行われている「やはたいもの栽培」が該当し、時代ごとの生業の変遷をうかがうことができます。

②昔話

地元につながる伝承や個人から聞き取った過去の市域の話を含めて「昔話」としました。雨乞いやその儀式に関わる話、湧水伝説など、水を得ることに苦労した地域ならではの昔話があることが判明しました。また、現在は過去のものとなっている日本住血吸虫病（地方病）に関する伝承や記録も、昔話に該当します。

第3章 甲斐市の歴史文化の特徴

甲斐市では、山岳地や丘陵地などで早くから人々の活動がはじまり、原始・古代においては拠点集落が形成され、他地域との交流を盛んに行っていました。中世になると京都松尾大社の荘園・志麻荘として開発が行われ、現在も利用されている水路が開削されたといわれています。近世では、穂坂路や逸見路といった近世以前に成立した道以外に、甲州道中や戸田街道、市川道などが登場し、道沿いには現在も残る短冊状の地割をみることができます。また、これまで水田をつくるのが難しかった地域に水路や溜池を設置したのもこの頃です。

歴史文化資産は、このような歴史の重層性の中で育まれてきました。甲斐市の歴史文化の特徴を地域環境で整理すると、①山岳地で育まれた歴史文化、②丘陵地で育まれた歴史文化、③平地で育まれた歴史文化、以上3つの特徴を見出すことができます。

1. 山岳地で育まれた歴史文化 ～山仕事と祈りの道～

黒富士火山などによってつくられた山岳地は、荒川や亀沢川によって深い谷がつくられています。川や谷沿いに点在するこの地域の集落は、かつては炭焼きや林業が盛んな地域でした。金峰山信仰に伴う御嶽道が幾筋も集落内を通っており、集落内に残る石造物などから、多くの人々がこの山中を行き交っていました。

◆木こりの活躍

市北部の山岳地は、中世から近世にかけて、「柚（そま）」と呼ばれる林業従事者が活躍していました。古文書によれば、彼らは朝鮮出兵や関ヶ原の戦いなど、日本史の中でもひととき大きな出来事にも、その技能を用いて関わっていたことがわかっています。柚以外にも、山岳地には現在も炭焼き窯跡が多数残っており、木との関係が深い地域特有の産業を担っていました。



神戸の集落（写真中央）

◆山への祈りと御嶽道

長野・山梨の県境に位置する金峰山五丈岩を本宮とする金峰山信仰は中世にさかのぼると言われ、現在残る御嶽道は江戸時代の姿と考えられています。市域の御嶽道は、修験道の行者が修行したルートに近い上道、江戸時代の主要ルートとなった外道、同じく亀沢川沿いの亀沢ルートがあります。道沿いには当時の人々が設けた石造物が点在しています。



御嶽道（上道）

◆現代に残る“むかしのくらし”

地形上、平坦な場所が少ない山岳地では、御領（ごりょう 靈）の棚田に代表される棚田の景観をはじめ、田畑をひな壇状にして作物を育てています。家屋も河岸段丘上や浅い谷の平坦地に集まっており、少ない平坦地を効率よく利用している旧村景観や地割も良好に残っています。また、昔ながらの祭礼などの民俗が市街地よりも色濃く残っています。



亀沢の集落景観

◆昇仙峡と“裏”昇仙峡

荒川の本流が昇仙峡にあたるため、『敷島町誌』では山を挟んだ反対側にある亀沢川沿いの地域を「裏昇仙峡」と呼称しています。昇仙峡と同様に花崗岩も見られますが、獅子滝付近では亀沢川の左岸は花崗岩、右岸は凝灰角礫岩という地質の違いを容易に観察することができます。地質だけでなく、植生も標高によって大きく変化します。



“裏”昇仙峡

2. 丘陵地で育まれた歴史文化 ～水が少ない土地で暮らす～

茅ヶ岳の南麓地域は緩やかな斜面の丘陵地です。縄文時代の集落跡である唐松遺跡、古代官営牧場である穂坂牧の推定地、斜面を利用した窯業、信州へ続く穂坂路・逸見路が通るなど、古くから人々の活動が見られます。その反面、火山灰質の土壤に立地しているため、水を得るには大変苦労した地域です。

◆山を越え、谷を越えた用水路

地質上、水が不足しがちな丘陵地では、遠く離れた河川から水を引いて利用しています。亀沢川から取水する大垓堰おほたいせき、北社市明野町小笠原の塩川から取水する桶無堰かづなしせきは、山や谷を越えて周辺の田畑を潤しています。どちらも江戸時代に開削された水路ですが、今も現役で使用されています。



沢を越える桶無堰

第3章 甲斐市の歴史文化の特徴

◆溜池で水不足に備える

前述の大壺堰、橋無堰によって引水された水は、それぞれ大久保溜池、龍地大溜井（池）へと到達します。それ以外にも、丘陵地では谷部をせき止めて溜池を設け、水不足に備えています。市内では山岳地にも2ヵ所の溜池がありますが、丘陵地の溜池は7ヵ所あります。また、溜池や水路の近くには水神や弁財天が祭られていることもあり、水に困ることがないように人々が祈りをささげていました。



龍地大溜井（池）

◆たばこから桑、そしてフルーツへ

水の恩恵を得ることが困難であった地域は、水田耕作ではなく畑作を中心に行っていました。江戸時代後期には煙草栽培や綿花、幕末から戦後にかけては桑畑、やがて果樹栽培へと土地利用が変化していきます。これは時代ごとの作物の商品価値の変化をあらわしています。



果樹栽培の様子

◆焼き物！？の里

丘陵地では傾斜地を利用して窯業が行われていました。天狗沢瓦窯跡では、古代に瓦と須恵器が焼かれ、近世後期には峠の腰窯跡や諏訪大神社窯跡で日用雑器などを生産し、近代になると徳坂路沿いの滝坂集落で棧瓦の生産が、平成の初め頃まで行われていました。



諏訪大神社窯跡

3. 平地で育まれた歴史文化 ～水辺で暮らすということ～

平地の川沿いで暮らしている人々は、川との付き合い方もそれぞれです。川に近い平地であるにも関わらず、先史から古代にかけての遺跡が数多く存在する市中部の平地（荒川扇状地）。中世に鋳物師が活躍した市中部の塩川沿いの平地（河原／氾濫原）。毎年のようにある水害の影響か、中世以前の遺跡が全く見つかっていない市南部の平地（釜無川扇状地）があります。この3つの平地は、水辺で暮らしているからこそ得られる恵みと被害。それらを全て飲み込んだ上で人々が暮らしている地域です。

◆古代から続く「住宅地」

荒川扇状地では、古くは縄文時代から人々が住み始めました。古代になると、古墳時代と平安時代に集落の発達等の一つの画期があり、多くの遺跡で人口の増加がみられます。松ノ尾遺跡では周辺遺跡からは出土しない帯金具や小型金銅仏が出土し、拠点集落と考えられています。なお、遺跡がある地域は現在も住宅地として利用されています。



松ノ尾遺跡出土 小型金銅仏

◆恵みの水と荒れ狂う水

水辺で暮らすことは、得られる水の恩恵と被る損害がどちらも大きくなります。扇状地では竜王信玄堤に代表される堤防群などを築き、水害に対する備えをするとともに、細かく張り巡らされた水路網により豊かな水田が造られました。また、水害のほかに、水田での農作業時などに罹患する地方病（日本住水吸虫病）による被害に苦慮しました。



竜王信玄堤

◆ナゾの金属加工職人

塩川沿いの志田・宇津谷では、中世に鑄物師くわぶつしが活躍します。河原で採取した砂鉄を原料に生産していたと思われませんが、忽然と姿を消してしまうため、詳しいことはわかっていません。しかし、宇津谷には鍛冶職人の末裔と呼ばれる一族が今も在住し、金山神社かみざかをご神体とし、祭礼を行っています。鑄物と鍛冶は製法が異なりますが、金属加工という面では共通点がみられます。



金山神社祭典

◆水車のあった風景

荒川扇状地にある一ノ堰いちのせき（上条堰かみじょうせき）などの水路沿いには、戦後までたくさんの水車が存在していました。甲府に近い地の利を活かし製穀業で栄え、今の市街地化された風景からは想像ができませんが、盛り場も存在したようです。水車小屋は姿を消しましたが、わずかに残る痕跡と遺物が、かつての生業を今に伝える地域です。



一ノ堰の分流地点



図 23 甲斐市の歴史文化の特徴 概念図

第4章 歴史文化資産の把握調査の現状と課題

第1節 既存の歴史文化資産の把握調査の概要

これまで本市で行われた文化財の把握調査※1は、合併前の町史誌等編纂に伴う調査を筆頭に各分野で実施されています（資料編 表 33・34 参照）。しかし、これまでに実施された歴史文化資産の調査実施状況（表 12）をみると、「△（一部調査）※2」「－（未調査）」が大部分を占めていることが見て取れるほか、市内全体を網羅した歴史文化資産の統一的な調査は未実施となっています。これは、各歴史文化資産の調査計画および、調査体制の整備が不十分であったことも影響しています。

※1 把握調査とは、研究者や調査研究組織（文化財保護部局含む）による学術的な調査、研究者以外が行った簡易的な調査を指す

※2 一部調査とは、大字など特定の地域における部分的な調査のことを示す

表 12 市域における歴史文化資産調査の実施状況

	有形文化財										無形文化財		民俗文化財		記念物		その他								
	建造物	美術工芸品					演劇・音楽	工業技術等	衣服等	衣食住	生業	信仰	年中行事等	民俗芸能等	遺跡	名勝地	動物・植物・地質・地産物・文化的景観	伝統的建造物群	埋蔵文化財	文化財の保存技術	生業（民俗以外）	書話	人物の事績	その他	
		絵画	彫刻	工芸品	書跡等	歴史資料																			
山岳地(北部)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
丘陵地(中部)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
平地(中部)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
平地(南部)	△	◎	◎	◎	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

【凡例】 ◎：悉皆調査 △：一部調査 -：未調査

第2節 把握調査の課題

これまでの歴史文化資産の把握は、指定等に係る性質の調査が主体となっていたため、対象分野及び地域が一部の歴史文化資産に偏ってきた傾向が見られます。表 12 中では、「△（一部調査）」が主を占めており、市全域で調査が行われていますが、研究者や調査研究組織などの専門家による把握調査が行われたものと、研究者以外が行った簡易的な調査が混在しているため、調査内容や調査記録に差が生じています。そのため、統一された調査基準による学術的な調査が必要です。

一部調査が行われた歴史文化資産の中には、社会情勢の変化によって危機に瀕している場合があります。例えば、古い建築様式で建てられた民家などの建造物、年中行事や民俗芸能等の無形民俗文化財、書跡等や歴史資料などの有形文化財などがあげられます。これは、人口減や当該集落からの住民の移転が主な理由として考えられますが、この問題は一部調査が行われた歴史文化

第4章 歴史文化の把握調査の現状と課題

資産だけでなく、未調査の歴史文化資産も同じ危機に瀕していることを示しており、早急な対応が必要です。

さらに、無形文化財、記念物（名勝地）、文化的景観、伝統的建造物群、文化財の保存技術、生業（民俗以外）等については調査履歴が全くなく、これら歴史文化資産の存在の有無から調べる必要があります。

加えて、指定等文化財以外の歴史文化資産はその数が膨大であることから、全てを把握するためにはかなりの労力と時間を要します。これらの課題を解決するためには、専門家に調査を頼り切るのではなく、文化財保護部局の人員を増員し、把握調査に係ることができる人材を登用し、長期的な視野から調査計画を立案する必要があります。そして、文化財保護部局の人員を増加したのちに、歴史文化に興味がある市民や、身近な歴史文化を調べてみたいと思っている市民を、教育普及事業や活用事業において発掘・育成し、市民・専門家・行政の三者で継続的な調査が行える体制を構築する必要があります。

また、これまで調査が進められてきた歴史文化資産においても、整備や活用に向けた調査・研究を継続し、更なる価値の明確化や活用方策の検討などを必要とします。

第3節 歴史文化資産の把握調査実施の方針

1. 歴史文化資産の把握調査の方針

これまでの調査で把握している歴史文化資産は、歴史的・学術的・芸術的な価値が定まっている指定等文化財と、本計画作成にあたり把握した未指定文化財があります。全ての歴史文化資産についての把握調査を行うことが望ましいですが、人員や時間、予算の面からも、全ての分野の把握調査を同時並行で行うことはできません。したがって、これまでほとんど調査の手が入っていない古い建築様式で建てられた民家などの建造物や無形文化財、歴史文化の滅失の危機に瀕している無形民俗文化財など緊急性の高いものを優先して把握調査を行うこととします。

具体的には、過疎化と自然減によって歴史文化資産が最も滅失の危機にある、市北部の山岳地域を優先的な調査対象とし、山岳地域の無形民俗文化財の聞き取り調査を行うほか、歴史資料等の有形文化財の滅失や散逸を防ぐための目録作成を行います。

また、歴史文化資産は地域に深く根差しているため、行政だけでなく地域住民などと連携し、調査の必要性や調査計画などを詳しく説明し、協力を得ることができる部分は地域住民の協力と理解を得た上で実施します。課題であげたとおり、文化財保護部局だけで調査を行うことは大変な時間と労力を費やすことになるため、歴史文化に興味を持つ市民を発掘し、共に調査を行うことができる人材を育成することを目指します。これは、調査の効率化はもちろんのことですが、歴史文化資産の次世代へ継承する人材の発掘・育成も兼ねています。

なお、調査を行うにあたっては、専門家からの意見や助言をもとに、統一された調査基準をもとに調査を行います。

2. 調査実施体制の強化

本市において歴史文化資産の保存・活用を主管するのは、甲斐市教育委員会教育部生涯学習文化課です。専門職員（2人）が主体となり、市内の指定等文化財を中心に歴史文化資産の把握、保存と活用に関わる業務を行っています。

調査を実施するにあたっては、専門家や歴史文化資産ごとに関係する庁内関係部局と連携を図りながら、市民や民間団体の協力を得て調査を行っています。今後さらに継続的な歴史文化資産の把握調査には、市民や民間団体との連携強化は不可欠と考えられ、行政内においても歴史文化資産の価値や魅力を市民等に正確に伝えるためにも、調査を行う部局の計画的な人員配置・人員確保が重要な課題となり、専門職員が通年調査・研究に携わることができる組織づくりが必要です。

併せて、市内の多様な歴史文化資産に対応するためにも、資料を一括して保管できる場所、調査研究・活用が一元的に行える拠点施設が将来的には必要となります。

第5章 歴史文化資産の防災・防犯

第1節 災害の歴史

1. 水害

本市は一級河川富士川水系の釜無川に近接し、過去に何度も水害に遭っています。国土地理院の「治水地形分類図」を閲覧すると、荒川扇状地・釜無川扇状地ともに旧河道が描かれており、市域のほとんどは河原に立地しているといっても過言ではありません。『山梨県史』を中心とした資料から、中世後期から近現代にいたるまでの釜無川と荒川に関する記述がある水害記録を紐解くと、資料編表35のとおり多くの水害記録が確認できます。時代が下るにつれて、残存する史料の絶対数が増加するため災害記録は増加する傾向にありますが、甲斐国では毎年のように被害の大小の差はあれども、水害に遭っていたことがわかります。

ただし、同表中の氾濫・洪水・出水・破堤・満水などの文言は、典拠史料に基づいたものであるため、被害の実態は明確ではないことに注意が必要です。



令和元年 台風19号最接近時の信玄堤

2. その他の災害等

近代までの地震や土砂災害などの自然災害に関する詳細な記録は、現在のところ把握できていません。しかし、市北部の山地を中心に、土石流や急傾斜地崩壊による土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域が指定されています。山梨県では、宝永地震（1707）や安政東海地震

（1854）の際に、土砂崩れによって県南部の富士川本流がせき止められ河川湖が出現・決壊した事例があります。市内の山地も地形的に類似しており、こういった災害発生も十分に考えられるため、今後も注意が必要です。

地震発生時の震度は、内閣府による南海トラフ巨大地震による深度分布では、市南部の震度は6強が想定され、それ以外は震度6弱が想定されています。過去の地震において、震源の方角が相模湾や駿河湾であろうと、震源から遠く離れた山梨県でも地盤の悪いところはくり返し被災しやすいことがわかっているため、市域でも十分な注意が必要です。

火災は、昭和18年（1943）の模範社全焼、昭和48年（1973）の昇仙峡の羅漢寺山での山林火災、平成31年（2019）の菖蒲澤地域での山林火災が知られています。ただ、宅地が大規模に延焼する火災の記録は見つかっておりません。

過去の災害記録を知ることが直ちに防災減災に直結するとは明言できません。しかし、過去の限られ



金の尾遺跡 噴砂と思われる部分

た記録から市域の災害史を知ることで、自分たちの住む土地が持つ“災害リスク”を認識することは、将来の減災につながると考えられます。

第2節 歴史文化資産の防災・防犯に関する現状

1. 風水害

平成29年7月九州北部豪雨、平成30年7月豪雨（西日本豪雨）、令和元年佐賀豪雨、令和2年7月豪雨（別称：熊本豪雨）、令和3年8月の大雨など、毎年のように各地で豪雨被害が発生しています。本市は第3章 甲斐市の歴史文化の特徴で触れたとおり、市中部や南部の平地は河川の影響を受けやすい地域です。そのため、水害が発生した場合、市南部地域を例にあげると、3.0mから5.0m未満の洪水浸水想定区域がほとんどで、市南部に所在する指定等文化財や歴史文化資産は水没の可能性があります（図24）。また、大雨をもたらす被害の多くは強風を伴うことも多く、建造物などの歴史文化資産への倒木被害や破損・倒壊の危険もあり、実際に台風や春先の強風によって、歴史文化資産が破損した例があります。

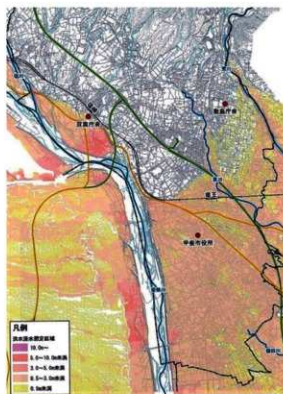


図24 洪水浸水想定区域
〔『甲斐市国土強靱化地域計画』から転載〕

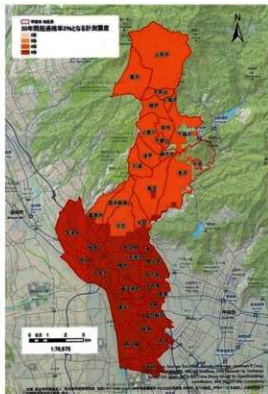


図25 確率的地震動予想地図
〔『甲斐市国土強靱化地域計画』から転載〕

2. 地震

山梨県内に被害を及ぼす地震は、主に相模・駿河・南海トラフ沿いで発生する海溝型巨大地震と、陸域の浅い場所で発生する内陸型地震があります。主要な活断層は、糸魚川―静岡構造線と、甲府盆地南縁に延びる曾根丘陵断層帯です。確率論的地震動予測地図(図25)では、市内全域で震度6弱以上の揺れが想定されることから、建造物などの歴史文化資産が地震被害に遭う可能性があります。また、山梨県が公開している『東海地震による液状化危険度マップ(平成25年3月)』(図26)を閲覧すると、本市の平地は「液状化可の能力が極めて低い」場所がほとんどですが、一部「可能性がある」「可能性が高い」地域もあり、指定等文化財の所在地がその地域に該当するものも存在します。

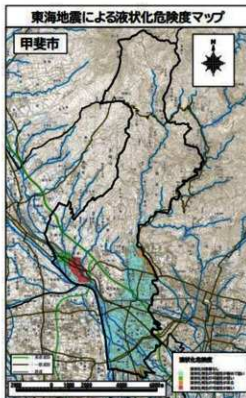


図26 液状化危険度マップ(甲斐市)
(山梨県ウェブサイトから転載)

3. 土砂災害

土石流による土砂災害警戒区域(図27)、急傾斜地の崩壊による土砂災害警戒区域(図28)が示すとおり、市中部以北の地域で被害が想定されています。警戒区域と集落域が重なっていることから、集落域に所在する歴史文化資産に対する直接被害が想定されること、土砂災害によって道路が寸断され、被災連絡の後の現地確認にかなりの時間を要することが考えられます。



図27 土石流による土砂災害警戒区域
(『甲斐市国土強靱化地域計画』から転載)



図28 急傾斜地の崩壊による
土砂災害警戒区域
(『甲斐市国土強靱化地域計画』から転載)

4. 火災

本市の火災発生件数は、おおむね 15 件／年程度で推移しています。現在、本市では文化財防火デー以外に歴史文化資産の防災訓練は行っておらず、住民が「地域の文化財は、まずは自分たちで守る」という防災意識を高める取り組みが必要です。

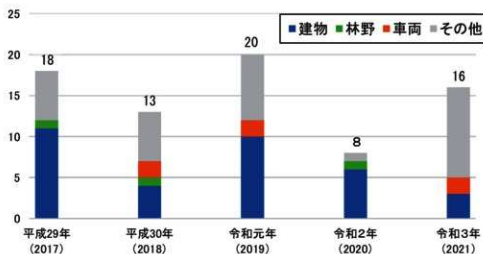


図 29 火災発生件数の推移

(甲府地区広域行政事務組合消防本部ウェブサイト「火災情報」、峡北広域行政事務組合消防本部『消防年報』を参照し作成)

5. 防犯

空き家、無住寺院、常駐の宮司がない神社の増加等によって、日常の防犯が行き届かず、歴史文化資産の盗難やき損などの恐れが生じています。現在、山梨県文化財保護指導委員による定期的な指定等文化財の巡視以外、防犯のための巡視活動は公的に行っていません。したがって、歴史文化資産に対する日々の防犯対策ができておらず、どのように防犯対策の取組を進めるか、地域住民・専門家・行政を含めた議論が必要です。

第3節 歴史文化資産の防災・防犯に関する課題

以上述べた現状から課題を整理すると、防災・防犯に共通する課題は、「歴史文化資産の現状や所在場所を把握した上で、各種ハザードマップと照合し、歴史文化資産が抱えている災害リスクを把握すること」です。それと同時並行で所有者（管理者）・地域住民・行政が有事の際にどのような行動・対策をとるべきかを関係各所と議論し、初動体制から復旧対応を含めた基本的な方針を示す必要があります。

なお、本来であれば未指定文化財を含めた歴史文化資産の位置を各種ハザードマップと照合することが望ましいのですが、現状では未指定文化財の把握は完了していません。したがって、まずは指定等文化財の災害発生時の基本方針を示すこととします。

第5章 歴史文化資産の防災・防犯

第4節 歴史文化資産の防災・防犯に関する方針

本市では「甲斐市地域防災計画」、「甲斐市国土強靱化地域計画」を策定しています。両計画の方針、指定等文化財の歴史文化資産に関連する記述を本計画に反映させるとともに、第3節で示した課題を踏まえて歴史文化資産の防災・防犯に関する方針をたてました。

①歴史文化資産データベースの作成

現況で把握ができていない歴史文化資産のデータベースを作成すると同時に、地図上に位置を示すことで、「どこに何があるのか」を示します。位置を示し、歴史文化資産データベースと誰もが容易に照合できるようにして有事に備えるとともに、迅速な初動体制がとれるようにします。また、現地確認の利便性を計るため、紙媒体での台帳整備を行います。まず、指定等文化財のデータベースを作成したのち、現状で把握ができていない未指定文化財のデータベースを作成、随時更新していきます。本方針が防災・防犯に関する方針の根幹となります。

②三者の情報共有

現況の歴史文化資産の状態などを、所有者（管理者）・地域住民・行政で情報を共有する場を提案し、自治会や消防団などの自主防災活動と連携した取り組みの推進を図ります。

③災害史や地形ごとの災害リスクの普及啓発

発掘調査を行った場所では、土の堆積状況や細かな地形の起伏を把握しています。文化財担当者が持つそのような情報をもとに、職員や市民向けに自分たちの住んでいる土地の成り立ちや災害リスクを説明することで、防災・減災の知識の共有を図ります。

④大雨・台風被害への対策

災害リスクの高い場所にある指定等文化財のうち、保管場所を移せるものは、所有者や管理者と協議の上、災害リスクの少ない場所に移動させ、保管するようにします。

⑤地震対策

前節であげたとおり、市南部の震度は6強、それ以外は震度6弱が想定されていることから、国指定文化財（建造物）については耐震診断の受診を促し、早急に耐震化が必要なものについては、支援を含めた対策を、所有者（管理者）と共に検討します。様々な要因によって耐震化ができないものについては、避難経路図や緊急時連絡網を作成します。

⑥火災対策

指定文化財（建造物）については、消防法に基づく自動火災報知設備の設置・整備を進め、経費支援を継続します。また、地域住民の協力のもと、文化財防火デーなどの定期的な消防訓練を実施するなど、地域の自主防災意識の向上を図ります。

また、文化庁により定められた「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」、

「国宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」及び、「世界遺産・国宝等における防火対策5か年計画」に基づき、文化財や文化財収蔵施設の点検を行い、今後の防火対策に取り組みます。

⑦盗難・損傷等

行政および所有者だけでなく地域住民が協力して、緊急時の連絡体制を整え、対応方法を確認するなど、防犯体制を構築する必要があります。また、日常的な見回りの実施など、歴史文化資産の変化や異常にすぐに気付く体制を整えます。

⑧災害発生時の応急措置、復旧対応の検討

災害が発生してしまった場合の対応方法を、大規模災害後の復旧対応を経験した自治体の手法を参考に、初動体制から復旧対応を含めた基本的な方針を示します。

第5節 歴史文化資産の防災・防犯に関する措置

方針でもあげたとおり、最初に取り組むべきことは、平時から市内の歴史文化資産の把握に取り組むことです。第4節の冒頭でも述べたとおり、市内各所に所在する歴史文化資産の把握こそが、防災・防犯対応の第一歩となります。所在把握が有事に際しての初動の遅延や、その後の復旧対応に差が生じることは、これまでの被災自治体の文化財担当者の経験談からも明らかです。

次に、各歴史文化資産が抱える災害等のリスクを可視化するために、各種ハザードマップと、これまでに把握した歴史文化資産の位置図を重ね、歴史文化資産ハザードマップを作成します。これにより、歴史文化資産ごとの災害・犯罪リスクを可視化し、災害や犯罪への対策の基礎資料とします。加えて、発掘調査等で知りえた微地形や土層堆積状況をもとに、地域の成り立ちや考えられる災害リスクを、文化財担当者の視点で普及啓発を行います。それらの知識を、歴史文化資産の所有者（管理者）、地域住民などと共有し、地域の防災・防犯意識の向上と、さらなる防災・防犯知識の習得につなげます。その際に重要なポイントは、住民が“行政に言われたから行う”という意識ではなく、住民自らが“地域の文化財は地域住民みんなで守らなければならない”という当事者としての意識を持ってもらえるような普及啓発活動を随時行います。

また、各種災害等に応じたマニュアルを作成・公表するとともに、被災時における所有者（管理者）や地域住民、所轄の警察署や消防署等の関係機関と連携した取組を推進するための体制を整備します。

併せて、従来の文化財巡視活動や文化財防火デーに伴う防火訓練、指定文化財修理や防災保守点検のための支援なども、引き続き取り組みます。

なお、具体的な措置内容については、第6章に記載します。

第6章 歴史文化資産の保存と活用に関する基本理念・基本方針と措置

第1節 保存・活用に向けた基本理念

これまでの取組は指定等文化財の保存・活用に関わるものが主でした。序章でも述べたとおり、歴史文化資産を取り巻く環境は、社会情勢に伴い大きく変化しています。そのような社会情勢の中で本市の指定等文化財を含めた歴史文化資産を未来へ継承していくためには、市民一人ひとりが歴史文化資産に興味や関心を持ち、現在の歴史文化をつむいでいる当事者として、未来に継承しようとする心づくりや人づくりが重要となります。

また、本市は山梨県で人口が増加している数少ない自治体であることから、甲斐市の住環境は良いとの認識を県内外の人々が感じて、本市に住居を定めていると考えられます。そこで、新しく本市に引っ越してきた人々が“住んでいる場所に誇りや愛着を持つ”ようにするためには、まずは身近な歴史文化を知ってもらう機会を設けることが第一歩だと考えます。加えて、以前から住んでいる人々にも、甲斐市文化協会や公民館活動などの生涯学習・文化活動の推進を通して地元の歴史文化を改めて知ってもらい、『第2次創甲斐教育推進大綱』の示す基本理念「甲斐市で育ち、甲斐市を育てる人づくり」の素地とします。

そこで、今後の本市における歴史文化を活かしたまちづくりでは、『第2次甲斐市総合計画』『第2次甲斐市まち・ひと・しごと創生 総合戦略』『第2次創甲斐教育推進大綱』の方針に沿った、以下の基本理念を掲げます。

【基本理念】

ふるさとの歴史文化を未来につなぐ
心づくりと人づくり

「心づくり」とは、ふるさとの歴史文化について学ぶことで、地域への誇りと愛着を持ち、将来、地域に参画・貢献していこうとする心持のことを示します。「人づくり」とは、歴史文化を次代に伝えるための人材育成はもちろんのこと、それらを次代に伝えることに共感し、共に活動をしていく“仲間”をつくることを示します。つまり、歴史文化を次代につなげるための下地作りと、協力者や共感者を増やすことが本計画の主要テーマとなります。

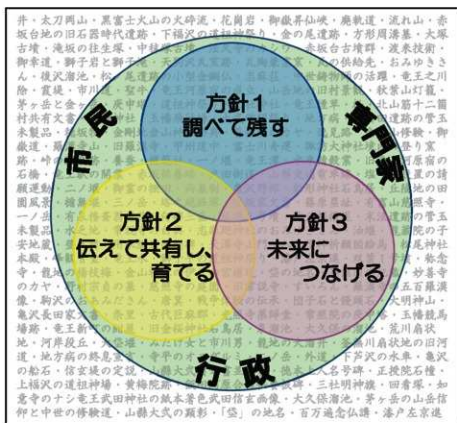


図 30 市内歴史文化資産と基本方針の関連図

基本理念「ふるさとの歴史文化を未来につなぐ 心づくりと人づくり」を実行していくためには、図 30 に示したとおり、「方針1 調べて残す」、「方針2 伝えて共有し、育てる」、「方針3 未来につなげる」の3つの方針に基づいて行う必要があります。また、記録や記憶が薄れかかっている歴史文化資産を未来に残すためには、市民・専門家（文化財保護審議会委員等）・行政の三者が協力し、確実に保存・伝承していく必要があります。

第2節 歴史文化資産の保存・活用の現状と課題

1. 現状

未指定文化財については、必要に応じて調査を行い、記録や目録作成を行っています。調査の結果、特に重要と判断されたものについては、市文化財保護審議会で文化財指定の必要性について審議し、市教育委員会が指定を行っています。なお、県指定文化財や国指定等文化財とするための手続きは、『山梨県文化財保護要覧』に記載があるとおりです⁽¹⁾。

また、指定等文化財を維持・保存するため、指定等区分（国・県・市）に応じた保存修理事業を行っています。代表的なものに有形文化財（建造物）の防災保守点検事業や、無形民俗文化財の伝承及び保存維持管理事業があります。これらは基本的に所有者や管理者が行いますが、指定等区分や事業内容に応じた補助制度を活用して行っているものがほとんどです。ただし、補助制度については活用できるものとそうでないものがあるため、指定等文化財に関する事業であれば全

第6章 歴史文化資産の保存と活用に関する基本理念・基本方針と措置

て補助制度が活用できるというわけではありません。

防災に関しては、指定等文化財に対して甲府地区広域行政事務組合消防本部及び峡北広域行政事務組合消防本部が立入検査を実施しています。主に有形文化財の建造物と、その中に安置されている美術工芸品に対して、適切な防火体制が整備されているか等の確認をしています。また、国指定重要文化財の光照寺薬師堂においては、毎年文化財防火デーの前後に消防本部が主催となり、消防団や地元住民が参加して放水訓練等が行われています。

活用は、歴史文化資産の価値や魅力を多くの人々に伝え、広く社会に理解をしてもらうために、さまざまな取り組みを行っています。歴史文化資産のある場所（遺跡等）での説明や、テーマごとに外部講師を招いての歴史講座、学校や自治会等からの依頼によって講師派遣を行っています。中でも講師派遣が最も多く、小学生から一般の方向けの「信玄堤」解説、各自治会の「地元の歴史の話」など、要望に応じたテーマで通年行っています。

他に、市ホームページへの掲載や指定等文化財説明板設置はもちろんですが、適宜文化財パンフレットや歴史文化資産に関する年報、埋蔵文化財発掘調査報告書の作成を行っています。

(1) 『山梨県文化財保護要覧』(令和4年1月) p 3～6



光照寺 文化財防火デー
消防団による水利・器具使用説明



歴史講座（信玄堤）

2. 課題

本市では、歴史文化資産の保存・活用を行っているものの、すべての歴史文化資産について保存・活用が実行できている状態ではありません。そのため、基本理念「ふるさとの歴史文化を未来につなぐ 心づくりと人づくり」を達成するためには多くの課題があります。以上のことから、基本理念を達成するための課題として、(1)「方針1：調べて残す」に関する課題、(2)「方針2：伝えて共有し、育てる」に関する課題、(3)「方針3：未来につなげる」に関する課題の3つに整理し、以下に列挙します。

(1)「方針1：調べて残す」に関する課題

①調査研究に関する課題

- ・これまで調査対象となっていた歴史文化資産が特定の分野に偏っており、古い建築様式で建てられた民家などの建造物、無形文化財や有形民俗文化財などの文化財の把握調査ができていない
- ・統一された調査基準による調査が行われておらず、調査内容にばらつきが生じている
- ・図書館や公民館などの関連部局と連携した歴史文化資産の調査が行われていない

②保存・維持管理・伝承に関する課題

- ・指定等文化財の所在及び状態確認を定期的に行われていない
- ・歴史文化資産データベースが未構築であるため、どこにどのような歴史文化資産が存在するのかが不明瞭である
- ・人口減などの社会情勢の変化により、歴史文化資産が散逸や滅失の危機に瀕している
- ・人口減や高齢化などにより、歴史文化資産の後継者が不足している
- ・合併以前の旧町史誌の一部は刊行から50年以上経過しており、歴史文化に関する情報が現在とは大きく乖離している

(2)「方針2：伝えて共有し、育てる」に関する課題

①情報発信に関する課題

- ・市ウェブサイトや既存の歴史文化資産冊子の公開情報が、指定等文化財に偏っている
- ・指定等文化財を通覧できる冊子などが未作成である

②活用に関する課題

- ・文化財係単独の歴史講座等の活用事業が主であり、図書館・公民館講座や庁内他部局等との連携が不足している
- ・歴史講座や教育普及活動の対象が限定的又は恒常化しているため、歴史文化資産に興味を持つ人々の裾野が広がりにくい

③人材育成に関する課題

- ・地域の歴史文化資産を市民と共に調査する体制が未確立である
- ・児童生徒や子育て世代など、将来は地域の歴史文化資産を次世代に伝えてほしい世代に対しての人材の確保と育成方法が未確立である

(3)「方針3：未来につなげる」に関する課題

①体制整備に関する課題

- ・文化財担当課の専門職員が少なく、発掘調査等で長期間調査に従事している期間は、歴史文化資産の保存・活用に対して対応が遅れる。又は対応ができない

第6章 歴史文化資産の保存と活用に関する基本理念・基本方針と措置

- ・現在、庁内において専門職として採用された職員（管理職を含む）は、考古学専攻3名、文献史学専攻1名である。したがって、年齢や専攻なども考慮した計画的な専門職員採用が必要である
- ・市民、歴史文化資産所有者（管理者）、専門家、行政の連携が不足しているため、どのような体制を整備すれば歴史文化資産の保護に繋がるのかわからない
- ・庁内の歴史文化資産への理解が十分ではない

②防災・防犯に関する課題

- ・歴史文化資産が立地する場所の災害リスクの把握ができていない
- ・災害発生時の対応がマニュアル化されていないため、初動対応に遅れが生じる
- ・歴史文化資産の定期的な巡視は、国・県指定文化財でしか行われていないため、市指定文化財等でも定期的な巡視が必要

③拠点施設に関する課題

- ・歴史文化資産の調査研究、保存管理、教育普及、活用が一か所で行える拠点施設がない

拠点施設について

これまでの埋蔵文化財調査で出土した土器などの大量の遺物、調査で作成した図面類、収集や寄付された民具・古文書、調査のために必要な専門書などは、それぞれ分散して各施設に保管してあります（第1章第4節参照）。展示施設である双葉歴史民俗資料館は建設から50年以上が経過し、現在の耐震基準を満たしておらず、施設の性格上職員は常駐しておりません。また、調査研究する敷島文化財整理室は保管庫も兼ねているため年々手狭となり、かつ庁舎から離れた場所にあることから、職員が調査研究に携わる時間が限られています。

このように、本市は調査研究・保存管理・教育普及・活用ごとに独立して運営している状況となっているため、「調査結果をもとに展示・活用を行いたい」と思った時にすぐに使用できる場所がなく、「民具や土器の保管場所が手狭」なため、別の市所有施設にさらに分散して保管するなど、調査研究・保存管理・教育普及・活用に一貫性がありません。結果的に市民は地元の歴史文化資産のごく一部に触れるだけの機会となっています。

そこで、これらを一つの場所で連携して行える拠点施設を整備し、本市の歴史文化資産を一元的に管理する施設の検討が最大の課題と捉えています。調査研究はもちろんのこと、歴史文化資産の適切な保管場所としての機能、展示や学習が行える機能を拠点施設に設け、「調査」、「保存管理」、「教育普及」、「活用」の全てが一か所で行うことができれば、現状よりも市民が歴史文化資産に触れる機会が増えることは確実です。歴史文化に触れる人の数を増やすことで、それらを未来に伝えようとする市民を増やし、人材を育成します。やがて、甲斐市で学び育つ子どもや大人が、甲斐市を『ふるさと』として育てていく『人づくり』の場になることを想定しています。

第3節 歴史文化資産の保存・活用の基本方針

上記の課題を解決し、基本理念「ふるさとの歴史文化を未来につなぐ 心づくりと人づくり」を実現するために以下の基本方針を定めます。方針は相互に連動しているもので、優先順位を示すものではありません。

方針1：調べて残す（調査研究・保存・維持管理・伝承）

これまで様々な調査が行われていますが、それらは甲斐市のほんの一握りの事象を扱っただけに過ぎません。また、価値づけが明確でない未指定文化財も多数存在することから、市民・専門家・行政などがスクラムを組み、計画的な調査で市の歴史文化を調査研究していきます。

1-1 歴史文化を未来に残すための計画的・継続的な調査研究

一部調査や未調査となっている建造物（主に建築物）や無形文化財、有形民俗文化財などの把握調査を行います。把握調査を統一された調査基準で、偏りなく、計画的・継続的に行うことは、歴史文化資産を未来へつなげるための基礎資料収集となります。歴史文化資産の把握は、今後の対応方法や指定等文化財の新規指定（登録）を含め、全ての方針の根幹となる部分です。なお、調査にあたっては、連携が可能な分野であれば図書館や公民館などの関連部局と連携し、把握調査を効率的に行います。

1-2 保存・維持管理・伝承の仕組みや支援方法を整える

方針1-1で把握した歴史文化資産をデータベース化し、全ての指定等文化財の所在及び状態確認ができる体制をつくり、確実に次代に伝えられる体制を構築します。また、人口減などの社会情勢の変化によって歴史文化資産は後継者不足、散逸等の危機に瀕しているため、市民（所有者等含む）・専門家・行政の三者で話し合い、保存・維持管理・伝承のための手立てや支援方法を整えます。加えて、現在までに把握できた歴史文化資産の情報を反映した『甲斐市史』の編纂を検討します。

方針2：伝えて共有し、育てる（情報発信・活用・人材育成）

ふるさとに誇りと愛着を持てるような情報を発信し、そのような情報に触れる機会を多く設けることで、市の歴史文化資産を幅広い世代へと伝えます。また、「地元の歴史文化を次代に残したい」と考える市民を増やすことで、歴史文化を次代に伝える人材を育成します。

2-1 様々な手法で甲斐市の歴史文化を情報発信する

市ウェブサイト等でこれまで行ってきた指定等文化財に関する情報発信のほか、様々な歴史文化資産があることを発信します。併せて、指定等文化財が通覧できる冊子等の作成を行い、最新情報を発信します。

2-2 関連部局と連携した歴史文化資産の活用

図書館・公民館や他部局と連携した活用事業を行います。また、これまで歴史文化にあまり興味がなかった世代に対しても、歴史文化に関心を持ってもらえるような時代別、テーマ別の教育普及活動を行います。

2-3 歴史文化を次世代につなぐ人づくりの方法を整える

歴史文化に触れるだけでなく、「自ら調査を行いたい」という、歴史文化資産に深い関心を持った人材を講座やワークショップを通じて発掘・育成し、専門家や行政と共に調査が行える人材を育てます。また、歴史文化資産を活かしたふるさと学習などを通じて、ジュニアリーダーなどの若い世代が歴史文化と接する機会を多くつくることで、歴史文化を次世代につないでくれる人材を育成します。

方針3：未来につなげる（体制整備、防災・防犯への備え、拠点施設の整備）

現在、方針1・2を計画的に実行するためのマンパワーが不足しています。そこで、計画的な専門職員採用や、方針2によって発掘した育成した人材と共に調査・活用などができる体制を整備し、防災・防犯への備えも行います。また、これまでは各所で行ってきた調査研究・保存管理・教育普及・活用が、一か所で行える拠点施設の整備を関係各所と共に検討します。

3-1 歴史文化資産保護の体制整備

現在の体制では、本計画を実行するには人員が不足しているため、計画的な専門職員採用などを行い、歴史文化資産を未来につなげるため主軸となる市の歴史文化資産保護体制を整備します。同時に、市民・歴史文化資産所有者（管理者）・専門家・行政が連携した歴史文化資産保護の体制確立に向けた検討会を開催します。

3-2 防災・防犯への備え

歴史文化資産の災害リスクを把握した上で、有事の際の初動体制、被災時のマニュアル等を文化庁のガイドラインや甲斐市地域防災計画等に沿って作成し、市民と共に歴史文化資産を災害等から守る体制をつくります。また、防犯においては、市指定文化財の定期的で持続可能な巡視体制の検討と整備を市民と共にを行います。

3-3 歴史文化資産拠点施設の整備の検討

調査研究・保存管理・教育普及・活用など、歴史文化資産に関することが一か所で行える拠点施設の整備を、庁内関係各所と共に検討します。

第4節 歴史文化資産の保存・活用に関する措置

第3節までに述べました保存・活用に関する課題と基本方針をもとに、計画期間中は基本理念である「ふるさとの歴史文化を未来につなぐ 心づくりと人づくり」の実現に向けた措置（事業）に取り組みます。

本計画の計画期間は、序章第4節で述べたとおり、令和5年度（2023）から令和12年度（2030）の8年間です。表13～20は今後取り組むべき措置一覧で、措置ごとに前期（令和5年度から令和7年度までの3年間）、中期（令和8年度から令和9年度までの2年間）、後期（令和10年度から令和12年度までの3年間）の事業計画期間を設定しました。

措置を行うための財源は、市費・県費のほか、文化庁の各種補助金や地方創生推進交付金等の国費を積極的に活用する予定です。しかし、本市の厳しい財政状況の中、新たな予算措置を講じて新規事業を実施することは非常に難しい状況です。そこで、措置の事業計画期間のうち短期計画期間は、新たな予算措置の必要がない、本計画認定前から断続的に調査を実施している措置から優先的に取り組むこととします。中期・長期の計画期間については、財政状況を見極めつつ、市関連部局等との十分な調整のもとに実施することとします。

取組主体のうち、「行政」は本市の文化財部局と関連部局、山梨県、近隣自治体等も含めた広域行政に区分します。「市民」は本市に居住している方や在勤者を示し、文化財所有者（管理者）や自治会、歴史文化資産に興味がある個人や団体も含まれます。「専門家」は市文化財保護審議会委員や研究機関等に籍を置く研究者、樹木医など、学術的な専門知識を有する方を指します。

第6章 歴史文化資産の保存と活用に関する基本理念・基本方針と措置

(1) 方針1：調べて残す（調査研究・保存・維持管理・伝承）

①方針1-1：歴史文化を未来に残すための計画的・継続的な調査研究

市内の歴史文化資産を適切に守るための基礎調査となります。得られた調査情報をもとに、様々な措置を実施することになるため、「心づくり」「人づくり」を行うために最も重要な、本計画の根幹をなす措置です。

表 13 方針1-1の措置

番号	事業名	事業内容	財源	取組主体	事業計画期間		
					前期	中期	後期
1	歴史文化資産把握調査の継続	本計画作成にあたり行った把握調査の追加調査や、調査ができなかった歴史文化資産の把握調査を継続し、歴史文化資産のデータベース構築のための基礎資料とする。	市費	行政（文） 市民			
2	市内埋蔵文化財調査	市内に所在する埋蔵文化財の調査を実施、情報の把握と整理に努める。	国補 県補 市費	行政（文）			
3	地域資料収集の関連部局との連携	散逸すると収集が困難となる郷土に関する様々な資料収集を、図書館や公民館などと連携して取り組む。収集資料はデータベース化を行う。	市費	行政（文） 行政（関） 市民			
4	文化財保護法令に基づく指定等の推進	法令に基づく指定や登録制度を活かした保護や指定基準の見直しを、文化財保護審議委員と共に適切に推進する。	市費	行政（文） 専門家			

※取組主体は、最上段が主として取り組む主体。以下は協力して取り組む主体。

行政（文）は文化財部局、行政（関）は庁内関連部局・山梨県・近隣市町村を示します。

市民は住民・歴史文化資産所有者（管理者）、本計画の協議会委員を含み、専門家は市文化財保護審議委員などを示します。

②方針1-2：保存・維持管理・伝承の仕組みや支援方法を整える

データベース作成や指定等文化財保存事業のほか、市民や庁内関係部局と連携し、歴史文化資産を適切に守るための措置です。

表 14 方針1-2の措置

番号	事業名	事業内容	財源	取組主体	事業計画期間		
					前期	中期	後期
5	指定等文化財の状況確認調査	指定等文化財の状況確認を行い、状態や今後の修理等の予定を指定文化財台帳に記録する。また、次世代への継承に向けた課題等を整理する。	市費	行政（文） 専門家 市民			
6	歴史文化資産データベースの作成・更新	方針1-1で行った歴史文化資産把握調査の調査情報を、類型ごとに整理した台帳及び位置図を作成し、定期的に更新する。	市費	行政（文）			
7	指定等文化財保存事業	指定等文化財の修理などを支援し、適切な保護を図り、将来に継承する。	国補 県補 市費	行政（文） 行政（関） 市民			

第6章 歴史文化資産の保存と活用に関する基本理念・基本方針と措置

番号	事業名	事業内容	財源	取組主体	事業計画期間		
					前期	中期	後期
8	散逸等の危機に瀕している歴史文化資産の保護体制の構築	人口減などの社会情勢の変化によって散逸等の危機に瀕している歴史文化資産をどのように次世代に伝えるか、その保護体制を市民と共に検討し、構築する。	市費	行政（文） 行政（関） 専門家			
9	歴史文化資産の保存・伝承を行う団体への後継者育成支援体制を検討し、構築する	指定等文化財継承の後継者育成方法を市民（所有者等含む）・専門家・行政の三者で検討会を開催し、後継者育成支援体制を構築する。	市費	行政（文） 行政（関） 市民 専門家			
10	将来の『甲斐市史』編纂に向けた検討会の開催	合併以前の旧町史誌の一部は刊行から50年以上経過しており、歴史文化に関する情報が現在とは大きく乖離している。方針1-1で把握した最新の歴史文化資産情報をデータベース化した上で、将来の市史編纂に向けた検討会を開催する。	市費	行政（文） 専門家 行政（関）			

※取組主体は、最上段が主として取り組む主体。以下は協力して取り組む主体。

行政（文）は文化財部局、行政（関）は庁内関連部局・山梨県・近隣市町村を示します。

市民は住民・歴史文化資産所有者（管理者）・本計画の協議会委員を含み、専門家は市文化財保護審議委員などを示します。

（2）方針2：伝えて共有し、育てる（情報発信・活用・人材育成）

①方針2-1：様々な手法、場所で甲斐市の歴史文化を情報発信する

「心づくり」「人づくり」のため、歴史文化資産の公開・活用や歴史文化資産ハンドブックの作成など、様々な手法で市民が歴史文化に触れる機会を創出します。

表 15 方針2-1の措置

番号	事業名	事業内容	財源	取組主体	事業計画期間		
					前期	中期	後期
11	地域計画の周知・広報事業	地域計画の周知・広報を推進し、計画に対する市民の理解を深め活動主体間の連携を推進する。	市費	行政（文）			
12	歴史文化資産の情報発信と市ウェブサイト掲載内容の充実	情報発信の手法、市ウェブサイトの構成・内容を見直しほか、適宜説明板や案内板の設置をする。	国補 県補 市費	行政（文）			
13	歴史文化資産ハンドブック（冊子等）の作成	歴史文化資産の内容や魅力を解説したハンドブック（冊子）を作成し、講座テキストとしての活用をはじめ、見学者向けのガイドブックとしても使用する。	国補 市費	行政（文） 専門家			

※取組主体は、最上段が主として取り組む主体。以下は協力して取り組む主体。

行政（文）は文化財部局、行政（関）は庁内関連部局・山梨県・近隣市町村を示します。

市民は住民・歴史文化資産所有者（管理者）・本計画の協議会委員を含み、専門家は市文化財保護審議委員などを示します。

第6章 歴史文化資産の保存と活用に関する基本理念・基本方針と措置

②方針2-2：関連部局と連携した歴史文化の活用

図書館・公民館や他部局と連携した活用事業を行います。

表 16 方針2-2の措置

番号	事業名	事業内容	財源	取組主体	事業計画期間		
					前期	中期	後期
14	歴史文化講座の開講	歴史講座を歴史文化講座と改称し、継続的に市民等が時代別・テーマ別の歴史文化に触れる機会を創出する。	市費	行政(文)			
15	歴史文化資産学習の関連部局との連携	公民館・図書館などと連携し、時代別・テーマ別の歴史文化の学習機会を現在よりも多く創出する。	市費	行政(関) 行政(文)			
16	歴史文化資産を活かしたふると学習	児童生徒・教職員や自治会等への出前授業や出前講座を実施し、幅広い年代が歴史文化に触れる機会を設ける。	市費	行政(文) 行政(関)			
17	ジュニアリーダー、シニアリーダーとの連携	ジュニアリーダー及びシニアリーダーが、歴史文化に触れる体験会や研修を行い連携を深める。	市費	行政(文) 行政(関)			

※取組主体は、最上段が主として取り組む主体。以下は協力して取り組む主体。

行政(文)は文化財部局、行政(関)は庁内関連部局・山梨県・近隣市町村を示します。

市民は住民・歴史文化資産所有者(管理者)・本計画の協議会委員を含み、専門家は市文化財保護審議委員などを示します。

③方針2-3：調査研究や活用を共に行える人材の育成方法を整える

多岐にわたる歴史文化資産の調査を、行政と共に行うことができる人材の発掘・育成する仕組みを整えます。

表 17 方針2-3の措置

番号	事業名	事業内容	財源	取組主体	事業計画期間		
					前期	中期	後期
18	歴史文化資産の調査を行える人材の発掘・育成	歴史文化講座やワークショップなどを利用し、歴史文化資産の調査に深い関心のある人材を発掘し、専門知識を有する人材を育成する。	市費	行政(文) 専門家			
19	歴史文化資産の案内や説明ができる人材の育成	一定レベルの専門知識を有する人材のなかで、次世代に地域の歴史を語り継ぐことができる人材を育成する。	市費	行政(文)			
20	歴史文化に興味関心のある若年世代の発掘・育成	方針2-2で連携したジュニアリーダー等を軸に、歴史文化に興味関心のある若年世代の発掘を行う。その中で、より深く歴史文化に興味関心がある人達に対しては、次世代に歴史文化を語り継ぐことができるような人材として育成する。	市費	行政(文) 行政(関) 専門家			

※取組主体は、最上段が主として取り組む主体。以下は協力して取り組む主体。

行政(文)は文化財部局、行政(関)は庁内関連部局・山梨県・近隣市町村を示します。

市民は住民・歴史文化資産所有者(管理者)・本計画の協議会委員を含み、専門家は市文化財保護審議委員などを示します。

(3) 方針3：未来につなげる（体制整備、防災・防犯への備え、拠点施設の整備）

①方針3-1：歴史文化資産保護の体制整備

歴史文化資産を未来につなげるため、専門職員の増員や文化財保護審議会委員の定数増員を推進し、市民と共に保存・活用が行える体制整備を行います。

表 18 方針3-1の措置

番号	事業名	事業内容	財源	取組主体	事業計画期間		
					前期	中期	後期
21	専門職員の計画的な増員	考古学専攻以外に、民俗学・文献史学などの専門職員の計画的な採用を行い、保存・活用体制の増強を行う。	市費	行政（関） 行政（文）			
22	文化財保護審議会委員定数の増員	委員の専門分野外の事柄も扱うことが増えたため、条例を改正して定数を増員し、すぐに相談できる体制を整える。	市費	行政（文） 行政（関）			
23	市民と協働で行う歴史文化資産の保護体制の検討	市民・所有者等・行政・専門家が連携した、持続可能な歴史文化資産保護体制の検討会を開催する。	市費	市民 行政（文） 専門家			
24	市職員への歴史文化資産研修、庁内連携強化	市内にある歴史文化資産について庁内理解が不足しているため、職員への普及啓発活動を行い、全庁をあげての保存・活用体制への布石とする。	市費	行政（文）			

※取組主体は、最上段が主として取り組む主体。以下は協力して取り組む主体。

行政（文）は文化財部局、行政（関）は庁内関連部局・山梨県・近隣市町村を示します。

市民は住民・歴史文化資産所有者（管理者）・本計画の協議会委員を含み、専門家は文化財保護審議会委員などを示します。

②方針3-2：防災・防犯への備え

方針1-1で把握した歴史文化資産を、どのような方法で災害に備えるのか。すでに行っている防災・防犯措置以外に、守り、伝えるために必要な手立てを推進します。

表 19 方針3-2の措置

番号	事業名	事業内容	財源	取組主体	事業計画期間		
					前期	中期	後期
25	歴史文化資産ハザードマップの作成	市ハザードマップと歴史文化資産の位置図を重ね、歴史文化資産ハザードマップを作成し、自治会や消防署と共有する。	市費	行政（文）			
26	防災・防犯の体制及びマニュアルの整備	災害等から歴史文化資産を守るための体制維持・整備と、図や表と連携した防災・防犯マニュアルを整備する。	国補 県補 市費	行政（文） 行政（関） 市民 専門家			
27	市民参加による防災訓練の実施	文化財防火デーの防災訓練等を今後も継続して実施し、防災意識の啓発を図る。	市費	行政（文） 行政（関） 市民			
28	歴史文化資産パトロール体制の構築	指定等文化財以外にも、定期的な巡視を行うためのパトロール体制を検討し、構築する。	市費	行政（文） 市民			

※取組主体は、最上段が主として取り組む主体。以下は協力して取り組む主体。

行政（文）は文化財部局、行政（関）は庁内関連部局・山梨県・近隣市町村を示します。

市民は住民・歴史文化資産所有者（管理者）・本計画の協議会委員を含み、専門家は文化財保護審議会委員などを示します。

第6章 歴史文化資産の保存と活用に関する基本理念・基本方針と措置

③方針3-3：歴史文化資産拠点施設の整備の検討

調査・保存・活用が一元的に行える歴史文化資産拠点施設の整備を、庁内関連部局と共に検討します。

表 20 方針3-3の措置

番号	事業名	事業内容	財源	取組主体	事業計画期間		
					前期	中期	後期
29	歴史文化資産拠点施設の整備	調査研究・保存管理・教育普及の全てが一元的に行える拠点施設の整備を検討する	国補 市費	行政（文） 行政（関）			

※取組主体は、最上段が主として取り組む主体。以下は協力して取り組む主体。

行政（文）は文化財部局、行政（関）は庁内関連部局・山梨県・近隣市町村を示します。

市民は住民・歴史文化資産所有者（管理者）・本計画の協議会委員を含み、専門家は市文化財保護審議委員などを示します。

第7章 歴史文化資産の保存・活用の推進体制

第1節 推進体制

本市において歴史文化資産の保存・活用を主管するのは甲斐市教育委員会 生涯学習文化課です。そのうち、文化財係員は4人で構成されており、内訳は事務職1人、専門職2人、会計年度任用職員1人です。専門職は考古学専攻ですが、埋蔵文化財をはじめ、有形文化財、無形文化財、民俗文化財など、職務上すべての歴史文化資産を扱っています。また、文化財保護法第190条に基づき、甲斐市文化財保護審議会を設置し、文化財の適切な保存・維持管理・調査が行われているか等、種々の歴史文化資産に対する助言をいただいています。ほかに、庁内関連部局や関連機関とも必要に応じて調整・相談・協力を行い、文化財保護行政にあたっています。今後は図31に示したとおり、甲斐市文化財保存活用地域計画協議会を中心に、市民・専門家・行政の連携を強化し、歴史文化資産の保存・活用を推進していきます。

表21 歴史文化資産の保存活用に関する本市の推進体制(1/2)

甲 斐 市	※令和4年8月時点
教育委員会教育部 生涯学習文化課	
課長：1人（学芸員資格を有する（歴史学専攻））	
◎文化財係	
業務内容：歴史文化資産に関する業務全般	
係 員：4人（うち学芸員資格を有し、文化財を専門とする正規職員2人（考古学専攻））	
生涯学習係	
業務内容：社会教育振興、生涯学習事業、公民館事業など	
係 員：28名（再任用職員、会計年度任用職員を含む）	
庁内関連部局	
・総合戦略部 経営戦略課：総合計画、総合戦略、広聴広報など	
・生活環境部 市民活動支援課：自治会活動など	
・同 上 環境課：環境基本計画、自然・鳥獣保護など	
・福祉部 長寿推進課：社会福祉協議会など	
・産業振興部 商工観光課：日本遺産、観光振興など	
・同 上 農林振興課：中山間地域の振興施策、ため池など	
・都市建設部 建設課：河川、水路の維持管理など	
・同 上 都市計画課：景観計画、都市計画マスタープランなど	
・防災危機管理監 防災危機管理課：防災・防犯、地域防災計画、国土強靱化地域計画など	
・教育委員会教育部 教育総務課：創甲斐教育（教育振興基本計画）など	
・教育委員会教育部 学校教育課：教育研究など	
・教育委員会教育部 図書館：図書館資料の選定と管理、郷土資料収集など	

第7章 歴史文化資産の保存・活用の推進体制

表 21 歴史文化資産の保存活用に関する本市の推進体制 (2/2)

甲斐市文化財保護審議会
審議事項：甲斐市の文化財の調査、保存および活用に関する重要事項
会長：坂本 美夫（有形文化財・考古資料・史跡／元山梨県埋蔵文化財センター）
職務代理者：新津 健（有形文化財・歴史資料・名勝／元山梨県埋蔵文化財センター）
委員：鈴木麻里子（有形文化財・彫刻・工芸／元恵林寺宝物館学芸員）※令和3年度まで
畑 大介（有形文化財・歴史資料・文化財保存修復／山梨文化財研究所）
蘓原 桂（天然記念物／山梨県植物研究会）
丸尾 依子（民俗文化財／山梨県立博物館学芸員）※令和4年度から
甲斐市文化財保存活用地域計画協議会
※序章 表2を参照
関連機関
○文化庁、山梨県、身仙峡地域活性化推進協議会（日本遺産）、隣接自治体（甲府市、韮崎市、南ア ルプス市、北杜市、中巨摩郡昭和町）
○甲府地区広域行政事務組合消防本部、峡北広域行政事務組合
○山梨県立博物館、山梨県立考古博物館、山梨県埋蔵文化財センター
○山梨郷土研究会、山梨県考古学協会
○甲斐市商工会、NPO 法人つなぐ
○甲斐市自治会連合会、各自治会いきいきサロン

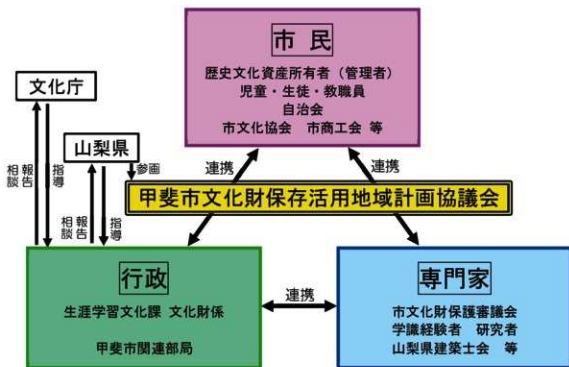


図 31 歴史文化資産の保存・活用推進体制

第2節 市民・専門家・行政の役割

本計画の推進及び実現には、図31であげた市民・専門家・行政の連携が非常に重要です。その連携の要となる組織が甲斐市市文化財保存活用地域計画協議会です。それぞれが下記に記した役割を認識しながら一体となって、歴史文化資産の保存・活用を推進します。

表22 各主体の役割

区 分	役 割
市民	誰もが過去から現在、未来へと歴史文化をつないでいる主体者であることを認識し、自らが住む地域の歴史文化資産を適切に守っていく。
専門家	各分野の専門知識を根拠に、適切に歴史文化資産の保存・活用ができていないか等の助言や指導を行うと共に、行政が行う調査・研究と連携しながら実施する。
行政	本計画の取組について、市民・専門家や関連部局との連携・調整を行い、保存・活用を推し進める。

第3節 計画の進捗管理と自己評価の方法

歴史文化資産の適切な保存・活用は、一時的な事業としてではなく、未来につなげるという性格上、継続的に取り組む必要があります。事業の進捗管理はチェックシートなどを作成し、現状確認、課題等を把握した上で、定期的に課内及び市文化財保護審議会で評価し、結果を広く公開するものとします。同時に、市民（所有者、管理者等）とも定期的な連絡をとり、市民・専門家・行政の3者によって保存・活用が図られていることを共通認識するようにします。

自己評価の方法は、目標数値を示す方法が最も一般的な方法です。しかし、歴史文化資産に関する事業で目標数値を示すことは、必ずしも社会的な成果について評価しきれものではありません。そこで、数値目標を示すことができる教育普及事業などについては数値で達成目標を示し、数値目標を示すことが難しい保存維持管理事業などは、計画期間に応じた目標設定を行い、適切な保存維持管理ができているかを定期的に確認することとします。また、計画期間の変更の必要が生じた場合は、課内及び市文化財保護審議会などと協議の上、適切な対応に努めることとします。

資料編

表 23 歴史年表 (1/2) ※時期区分は『山梨県史』等を参考に区分しています

年代	時期	時代	甲斐市の出来事	山梨県の出来事	日本史の出来事
約数千万年前	後期白亜紀		現在の界仙峡地域の四十帯が形成される		
約数千万年前	中期更新世		黒富士火山、茅ヶ岳火山が活動する		
約35000年前	原始	旧石器		一杯窪遺跡(都賀市)の県内最古の石器	この頃、後期旧石器文化始まる
約30000年前					
約20000年前			唐松遺跡、赤坂台ソフノパーク内遺跡の石器		柚良・丹沢火山灰(AT)が降下
約14,000年前		縄文			縄石器(繪石刃)文化が日本列島に広がる
約13000年前					縄文時代が始まる
約8000年前			石原田遺跡のミニチュア土器		
約4000年前					気温上昇がピークに達する(縄文海進)
約5000年前			唐松遺跡、東峰C遺跡で集落が営まれる	釈迦堂遺跡(宮吹市・甲州市)、梅之本遺跡(北杜市)	三内丸山遺跡(青森県)
約4000年前			金の尾遺跡で集落が営まれる	金生遺跡(北杜市)	加曾利貝塚(千葉県)
約3000年前					鬼ヶ岡遺跡・星川遺跡(青森県)
約2300年前	弥生		宮ノ前遺跡(宮崎市)で稲作が行われ始める(県内最古)	北部九州で水稲稲作が本格化(福岡県板付遺跡)	
約2100年前				吉野ヶ原遺跡(佐賀県)、水田稲作が東北地方に伝わる	
1～2世紀頃				湖沼集落や高地性集落がつけられる	
3世紀前半		金の尾遺跡に集落と墓域が営まれる	上の平遺跡(甲州市)で方形周溝墓群が造られる	239 卑弥呼が魏に遣使	
3世紀後半	古代	古墳	松ノ尾遺跡の大型赤形壘が墓に埋められる		曹孟古墳をはじめとする前方後円墳が出現
4世紀			この頃、御前田遺跡や末法遺跡で玉類が製作される	甲斐駒子塚古墳(甲州市)が造られる	中頃、大和朝廷の統一
5世紀				縄塚古墳(宮吹市)が造られる	近畿・中国地方で群集墳が造営されはじめる
6世紀前半		飛鳥 (古墳時代終末期を含む)		横塚・板井横石塚古墳群(甲州市)が造られる	
後半				万寿寺古墳(甲州市)が造られる	538 仏教伝来(一説552)
7世紀前半			大塚古墳や溝坂の柱生塚(赤坂台古墳群)がつけられる	加牟那塚古墳(甲州市)	587 蘇我馬子が物部守屋を滅ぼす
					593 聖徳太子が摂政を務める
後半			中鉢塚古墳(赤坂台古墳群)がつけられる		645 大化の改新
			天狗沢瓦窯跡が操業	672 甲斐の勇者、壬申の乱で活躍	672 壬申の乱
				この頃、県最古の寺・寺本薬師が建立(宮吹市)	
8世紀前半	奈良			701 大宝律令・710 平城京に遷都	
後半			731 甲斐国が神馬を献上	741 園分寺建立の詔	
			この頃、甲斐園分寺が建立される	752 東大寺大仏開眼供養	
9世紀前半	平安			794 桓武天皇、平安京遷都	
		松ノ尾遺跡で大規模な平安集落が営まれる(～12世紀)	この頃、御牧に牧監がおかれる	805 最澄が天台宗を開く 806 空海が真言宗を開く	
後半		825 おみゆきさんが始まったとされる		842 承和の宴	
			864 富士山、貞観の大噴火	866 応天門の宴	
				894 遣唐使を廃止	
10世紀前半				901 菅原道真、九州に左遷される	
後半			この頃、ほぼ毎年御牧の馬を都へ納める	地方の反乱と武士の成長	
		990 権徳牧が馬30疋を献上する		摂関政治がはじまる	
11世紀前半				1016 藤原道長、摂政となる 1017 岡、太政大臣となる	
後半			1030 甲斐守護頼朝ら、平忠常の討討を命じられる	1028 下総で平忠常の乱が起こる	
12世紀前半			1052 藤原頼通、平等院をつくる		
後半			1086 白河上皇、院政をはじめる		
		1130 源清光、父義清と共に市川荘に配流	この頃、平氏が台頭する		
			1167 平清盛が太政大臣に任命される		

表 23 歴史年表 (2/2)

※時期区分は『山梨県史』等を参考に区分しています

年代	時期	時代	甲斐市の出来事	山梨県の出来事	日本史の出来事
12世紀後半	中世	鎌倉	1196 松尾大社の源頼朝書状に「志麻庄」の名称が登場する	1180 武田信重ら、富士川の戦いで平氏を破る	1185 源頼朝の戦いで平氏滅亡
			1192 源頼朝、征夷大将軍に任命される		1192 源頼朝、征夷大将軍に任命される
13世紀前半		鎌倉	この頃、田金保神社石鳥居が造られる	1221 承久の乱に伴い武田信光らが参陣する	1221 承久の乱
			14~16世紀頃に於いて志田・宇津谷の領物師職人が活躍する	1274 日蓮、身延の草庵に入る(久遠寺のはじまり)	1232 北条泰時が御成敗式目を制定
後半		鎌倉			1274 文永の役(元寇)
					1281 弘安の役(元寇)
14世紀前半		鎌倉		1330 慧林寺(甲州市)が夢窓国師によって開山	1333 鎌倉幕府滅亡/1334 鎌武の中興
					1338 足利尊氏、室町幕府を開く
後半		鎌倉		1381 高師寺、清沢城(南アルプス市)で討死	1349 観応の擾乱はじまる(〜1352)
			1397 船形神社の石鳥居が造られる		1392 南北朝の合一
15世紀前半	鎌倉	1423 羅漢寺の阿弥陀如来坐像墨書銘	1415 清白寺仏殿(国定・甲州市)が造られる	1402 足利義満、勘合貿易を開始	
後半	鎌倉	1489 慈照寺開山		1467 応仁の乱起こる	
		1491 長光寺月待供養板碑	1494 武田信虎誕生		
16世紀前半	鎌倉	1526 רת田河原合戦供養板碑 この頃、光照寺圓堂が造られる	1521 רת田河原の戦い、武田信玄誕生	1543 豊後侯家 1549 キリスト教伝来	
		1560頃 信玄塚竣工、竜王河原成立 塔之越経塚の経筒に永禄4年(1561)銘	1547 武田信玄、甲州法度之次第を制定	1573 室町幕府滅ぶ	
16世紀後半	鎌倉	1572 武田家から上条塚の移葬が命じられる	1573 信玄死去	1573 室町幕府滅ぶ	
		安土桃山	1582 武田家滅亡 この頃、甲府城が築城される	1590 豊臣秀吉の天下統一	
17世紀前半	近世	江戸	1601頃 甲州道中が成立		1600 關ヶ原の戦い 1603 徳川家康、江戸幕府を開く
				1638 富士川三河原が警う	1637 鳥羽の乱
後半		江戸	1666 野村宗貞が壱輪塚の工事に着手	1661 徳川綱豊(後の6代将軍家宣)が甲府城主となる	
				1665 徳島兵左衛門が壱輪塚の工事に着手	1687 5代将軍綱吉、生類憐みの令
18世紀前半		江戸	1701 竜王新町が竜王村から独立	1704 綱吉、将軍綱吉の養子となり後に将軍となる。同年、御沢吉保が甲府城主となる	1716 8代将軍吉宗、享保の改革はじめる
			1725 山梨大仏誕生		
後半		江戸	1767 山梨大仏、死別となる(明和事件)		1758 宝暦事件/1767 明和事件
				1796 甲府学問所(後の教養館)が設けられる	
19世紀前半		江戸	1824 信玄塚給園(市指定)が描かれる	1814 『甲斐国志』完成	1825 外国船打私令
			1832 龍地大塚井(池)が完成する	1830 郡内の一揆が国中にも波及、各地で打ちこわし	1841 天保の改革はじまる
後半	近現代	明治	この頃、山梨大仏の事績が評価されはじめる	1871 甲府県を山梨県に改める	1867 大政奉還/1868 明治維新
			1896 竜王神神社付近の堤防が破壊する	1872 小切騒動/1874 藤村東照廟令となる	1889 大日本帝國憲法発布/1894 日清戦争
20世紀前半		明治/大正	1921 山縣神社建立	1918 米騒動で若農家が暴動に遭う	1904 日露戦争/1923関東大震災
			1930 山梨交通電車線(通称水口電)開通	1945 甲府空襲	1931 満州事変/1941 ポツダム宣言受託
後半		昭和	1954 教員会成立/1955 双葉町成立	1958 新管子トンネル開通	1964 東京オリンピック
			1956 竜王町成立		
21世紀前半		平成	1987 設立から約60年、機動社解散	1996 地方自治体合併	1989 昭和天皇崩御し平成号となる
			2004 甲斐市の誕生		2011 東日本大震災
令和		令和		2015 大村智教模がノーベル賞受賞	2019.5 今上天下が上皇となり令和元年始まる
					2021東京オリンピック2020開催

表 24 国指定文化財一覧表

番号	種 別	名 称	時代	所在大字	指定年月日
1	記念物	特別名勝 御嶽昇仙峡 みけのぼりせんげん	—	吉沢・千田	昭和28年3月31日
2	有形文化財	建造物 光照寺薬師堂 附 厨子 くわくしょうやくしどう つけ くりや	室町	岩森	昭和46年6月22日
3	有形文化財	美術工芸品(工芸品) 白 興(常説寺) しろ きょう	鎌倉	吉沢	昭和24年5月30日

表 25 県指定文化財一覧表

番号	種 別	名 称	時代	所在大字	指定年月日
4	有形文化財	建造物 慈照寺山門 じしょうじやまもん	江戸	竜王	昭和33年6月19日
5	有形文化財	建造物 船形神社の石鳥居 ふねがたじんじゃのいしとりやい	室町	志田	昭和34年2月9日
6	有形文化財	建造物 慈照寺法堂 じしょうじほつどう	安土桃山	竜王	昭和40年5月13日
7	有形文化財	建造物 天沢寺六地藏纏 てんたくじやくじざうまむす	室町	亀沢	昭和46年4月8日
8	有形文化財	建造物 旧金桜神社石鳥居 附 ふるきんざくらじんじゃのいしとりやい つけ 旧材一括 ふるきざいいつくくわつ	鎌倉	牛匂	昭和61年9月17日
9	有形文化財	建造物 天澤寺山門 てんたくじやまもん	江戸	亀沢	平成30年3月1日
10	有形文化財	美術工芸品(彫刻) 木造阿弥陀如来坐像(羅漢寺) きぞうあまただにょらいざざう	室町	吉沢	昭和59年11月8日
11	有形文化財	美術工芸品(彫刻) 木造五百羅漢像(羅漢寺) きぞうごひやくごらんざう	室町	吉沢	昭和59年11月8日
12	有形文化財	美術工芸品 (彫刻) 木造釈迦如来 及 両脇侍坐像(慈照寺) きぞうしやくかにょらい 及び りょうわきざいざう	室町	竜王	平成28年2月22日
13	有形文化財	美術工芸品(書跡等) 慈照寺文書 じしょうじぶんしょ	室町～戦国	竜王	昭和44年11月20日
14	有形文化財	美術工芸品(書跡等) 保坂家文書 ほさかぢかぶんしょ	戦国～安土桃山	(県立博物館)	昭和44年11月20日
15	有形文化財	美術工芸品 (書跡等) 旧巨摩郡北山筋山中十二箇村 共有文書・箱・袱紗 ふるきまぐんきたまのけりやまにゅうじふにせむらむら きょうゆうぶんしょ・はこ・ふくさ	安土桃山～江戸	(島上条)	平成12年3月2日
16	有形文化財	美術工芸品(歴史資料) 八王子神祈願図絵馬 はちおうじしんかねんずまゑ	安土桃山	(県立博物館)	令和2年3月9日
17	有形文化財	美術工芸品(書跡等) 山嶽大武自筆著書 並 墨書(山嶽神社) やまがけおおくまのひらききりしやまのたけのこ	江戸	篠原	昭和44年11月20日
18	有形文化財	美術工芸品(考古資料) 天狗沢瓦窯跡出土品 てんぐさわゐらかまの跡のちでつひん	白鳳	下今井ほか	平成1年4月19日
19	有形文化財	美術工芸品(考古資料) 銅造仏形坐像(松ノ尾遺跡) どうぞうぶねがたざざう	平安	(篠原)	平成8年5月2日
20	有形文化財	美術工芸品(考古資料) 塔之越経塚出土、経筒・銭貨等 たけのこしりやまのつたがけのぼりづかちでつづつせんかぜら	戦国	(篠原)	平成14年7月4日
21	民俗文化財	有形民俗文化財 上菅口の郷倉 かみすがのちの郷倉	江戸	上菅口	昭和38年9月9日
22	民俗文化財	有形民俗文化財 下菅口の郷倉 しもすがのちの郷倉	江戸	下菅口	昭和38年9月9日
23	記念物	遺跡 天狗沢瓦窯跡 てんぐさわゐらかまの跡	白鳳	天狗沢	平成1年7月19日
24	記念物	遺跡 中鉢塚古墳 なかつばつづか	古墳	竜王・下今井	平成8年11月7日
25	記念物	植物 上菅口のネズ かみすがのちのねす	—	上菅口	昭和38年9月9日
26	記念物	植物 竜地の揚子梅 りゅうちのようしうめ	—	龍地	昭和38年9月9日
27	記念物	植物 法久寺のコブガイヤ はふくじのこぶがいや	—	篠原	昭和58年12月7日

※所在大字名の () 内は保管場所を示す

表 26 市指定文化財一覧表 (1/3)

番号	種 別	名 称	時代	所在大字	指定年月日
28	有形文化財 建造物	まつおじんじほんでん 松尾神社本殿	安土桃山	中下条	昭和45年10月1日
29	有形文化財 建造物	みねのねのどう 峰観音堂	室町	牛匂	昭和45年10月1日
30	有形文化財 建造物	じょうていごりやう 慈徳院五輪塔	鎌倉	島上条	昭和48年4月1日
31	有形文化財 建造物	しょうじょういせき 正授院石幢	室町	中下条	昭和48年4月1日
32	有形文化財 建造物	あししほんでんじほんでん 三社神社石鳥居	安土桃山	竜王	昭和52年6月25日
33	有形文化財 建造物	たてこし てんじんほんでん つけだ 袴腰 天神本殿 附 棟札2枚(金剛寺)	江戸	篠原	平成2年12月5日
34	有形文化財 建造物	あししほんでんじほんでん つけだ 三社神社本殿 附 棟札6枚	江戸	竜王	平成16年7月12日
35	有形文化財 建造物	しんめいごりやうじほんでん つけだ 神明神社本殿 附 棟札2枚	江戸	富竹新田	平成16年7月12日
36	有形文化財 建造物	しちくわんいせき 七観音石幢(安楽寺)*	室町	竜王	平成16年7月12日
37	有形文化財 美術工芸品(絵画)	けんぼくしやくしやくいせつほんず つけだ 絹本着色仏涅槃図 附 軸木・箱(慈照寺)	江戸	竜王	昭和52年6月25日
38	有形文化財 美術工芸品(絵画)	しんぼくしやくしやくいせつほんず 紙本着色武田信玄画像(竜王武田神社)	江戸	竜王	平成2年12月5日
39	有形文化財 美術工芸品(絵画)	けんぼくしやくしやくいせつほんず 絹本着色仏涅槃図(称念寺)	江戸	竜王新町	平成16年7月12日
40	有形文化財 美術工芸品(彫刻)	せきぞうちかすぢせきぞうほんず 石造り安地蔵菩薩立像	江戸	西八幡	昭和52年6月25日
41	有形文化財 美術工芸品(彫刻)	もくぞうりやくしやくいせつほんず 木造摩利支天像・愛染明王像(天澤寺)	江戸	亀沢	昭和59年3月16日
42	有形文化財 美術工芸品(彫刻)	もくぞうしちくわんいせき 木造十一面観音坐像(本興寺)	室町(南北朝)	長塚	昭和63年3月4日
43	有形文化財 美術工芸品(彫刻)	たけだふねぞう 武田不動尊	室町～江戸初頃	龍地	平成10年2月27日
44	有形文化財 美術工芸品(彫刻)	りやくしやくいせつほんず 龍藏院宇安地藏	安土桃山	龍地	平成10年2月27日
45	有形文化財 美術工芸品(彫刻)	もくぞうあふぢにょらいざう 木造阿弥陀如来坐像(安楽寺)	平安	竜王	平成16年7月12日
46	有形文化財 美術工芸品(彫刻)	もくぞうちかすぢせきぞうほんず 木造地藏菩薩半跏像(金剛寺)	鎌倉	篠原	平成16年7月12日
47	有形文化財 美術工芸品(彫刻)	もくぞうしやくしやくいせつほんず 木造釈迦如来坐像及び五百羅漢像 附 五百羅漢勅化帳・山門建立勅化帳(慈照寺)	室町～江戸	竜王	平成16年7月12日
48	有形文化財 美術工芸品(彫刻)	せきぞうちかすぢせきぞうほんず 石造六地藏尊(称念寺)*	江戸か	竜王新町	平成16年7月12日
49	有形文化財 美術工芸品(工芸品)	ぼんず 梵 鐘(慈照寺)	江戸	竜王	昭和52年6月25日
50	有形文化財 美術工芸品(工芸品)	みよぞう 妙善寺本堂厨子	戦国～安土桃山	宇津谷	昭和61年11月26日
51	有形文化財 美術工芸品(古文書)	てんてくじもんじ 天沢寺文書	安土桃山～江戸	亀沢	昭和45年10月1日
52	有形文化財 美術工芸品(古文書)	なかとまのくわんもんじ 中島家旧蔵文書	戦国～安土桃山	篠原	昭和58年5月6日
53	有形文化財 美術工芸品(考古資料)	じゆんいんたいひ 往生院板碑(妙善寺)	戦国	宇津谷	平成10年2月27日
54	有形文化財 美術工芸品(考古資料)	かみ ねのすぢ 金の尾道跡出土弥生土器壺棺	弥生	(下今井)	平成22年2月1日
55	有形文化財 美術工芸品(歴史資料)	いづみかわらけ 飯田河原合戦供養板碑(八幡神社)	戦国	島上条	昭和45年10月1日

※所在大字圏の()内は保管場所を示す

*印は、甲斐市独自分類の石造物であったものを再分類した

表 26 市指定文化財一覧表 (2/3)

番号	種 別	名 称	時代	所在大字	指定年月日
56	有形文化財	美術工芸品(歴史資料) 旧 竜王河原宿石橋	戦国	竜王	昭和58年5月6日
57	有形文化財	美術工芸品(歴史資料) 亀沢地藏板碑		室町 亀沢	昭和59年3月16日
58	有形文化財	美術工芸品(歴史資料) 信玄塚 絵図	江戸	(県立博物館)	平成2年12月5日
59	有形文化財	美術工芸品(歴史資料) 長光寺月待供養板碑		室町 牛匂	平成3年4月25日
60	有形文化財	美術工芸品(歴史資料) 諏訪神社樓札	鎌倉・戦国	宇津谷	平成10年2月27日
61	有形文化財	美術工芸品(歴史資料) 三社明神旗	江戸	竜王	平成18年4月18日
62	民俗文化財	無形民俗文化財 大久保の神楽	江戸	大久保	昭和49年5月1日
63	民俗文化財	無形民俗文化財 下福沢の道祖神祭	江戸か	下福沢	昭和49年5月1日
64	民俗文化財	無形民俗文化財 竜王新町の庚申待 附 絹本著色書面金剛画像1幅	江戸か	竜王新町	昭和58年5月6日
65	民俗文化財	無形民俗文化財 伊豆ノ宮大権現湯立祭	江戸か	大袋	平成14年10月2日
66	民俗文化財	無形民俗文化財 金剛地金山神社祭典	江戸	宇津谷	平成14年10月2日
67	民俗文化財	有形民俗文化財 赤坂供養塔	明治	竜王新町	昭和52年6月25日
68	民俗文化財	有形民俗文化財 上福沢の道祖神場	室町・江戸	上福沢	昭和63年3月4日
69	民俗文化財	有形民俗文化財 常照院庚申塔	江戸	西八幡	平成2年12月5日
70	民俗文化財	有形民俗文化財 ぐり抜き石井戸(称念寺)	江戸か	竜王新町	平成9年9月13日
71	民俗文化財	有形民俗文化財 諏訪神社石椽	平安か	宇津谷	平成10年2月27日
72	記念物	遺跡 安倍加賀守の墓(妙善寺)	戦国	宇津谷	昭和41年5月17日
73	記念物	遺跡 勝山の古戦場	戦国	宇津谷	昭和41年5月17日
74	記念物	遺跡 滝坂の往生塚	古墳	龍地	昭和41年5月17日
75	記念物	遺跡 大塚古墳	古墳	境	昭和45年10月1日
76	記念物	遺跡 一橋陣屋跡	江戸	宇津谷	昭和50年10月7日
77	記念物	遺跡 両墓制跡(法泉寺)	江戸～明治	菖蒲澤	昭和50年10月7日
78	記念物	遺跡 山県大武の墓(山縣神社)	江戸	篠原	昭和52年6月25日
79	記念物	遺跡 用水隧道開削碑	江戸	竜王	昭和52年6月25日
80	記念物	遺跡 狐塚2号墳	古墳	竜王	昭和58年5月6日
81	記念物	遺跡 野村宗貞の墓(法喜院)	江戸	宇津谷	昭和59年2月27日
82	記念物	遺跡 回看塚	大正	宇津谷	昭和61年11月26日
83	記念物	遺跡 狐塚1号墳	古墳	竜王	平成2年12月5日
84	記念物	遺跡 社水神社宮(神明神社)	江戸	富竹新田	平成9年9月13日
85	記念物	遺跡 黄梅院跡	江戸か	龍地	平成10年2月27日
86	記念物	遺跡 有泉 椿斎翁墓及び 句碑三基(法喜院ほか)	江戸	宇津谷	平成14年10月2日

※所在大字内の () 内は保管場所を示す

表 26 市指定文化財一覧表 (3/3)

番号	種	別	名	称	時代	所在大字	指定年月日
87	記念物	遺跡	す お だいにんじゆかいだい 神保 郡東と 諏訪大神社境内の登り窯跡		江戸	宇津谷	平成14年10月2日
88	記念物	名勝地	し し いけがき せ し だき 獅子岩及び獅子滝		—	下福沢	昭和48年4月1日
89	記念物	名勝地	かめがわ ぶかいし 亀沢の船石		—	亀沢	昭和48年4月1日
90	記念物	名勝地	じしやう じていめん 慈照寺庭園		江戸	竜王	昭和58年5月6日
91	記念物	名勝地	みよげん じていめん 妙善寺庭園		江戸	宇津谷	昭和61年11月26日
92	記念物	植物	てらにらみ 寺平のオニグルミ		—	吉沢	昭和49年5月1日
93	記念物	植物	かみや ほ た 上八幡のヒイラギ		—	西八幡	昭和58年5月6日
94	記念物	植物	ほうきやうじ 法久寺のカシワ		—	篠原	昭和58年5月6日
95	記念物	植物	みよげん じ かい 妙善寺の榎		—	宇津谷	昭和59年2月27日
96	記念物	植物	ryuzaikaiin ねくろこ 龍蔵院の無患子		—	龍地	昭和59年2月27日
97	記念物	植物	ふせがいし 普濟院のカヤ		—	吉沢	昭和62年6月16日
98	記念物	植物	るかん じあま 羅漢寺跡のカキ		—	吉沢	昭和62年6月16日
99	記念物	植物	にさい じ 如意寺のナシ		—	上福沢	昭和63年3月4日
100	記念物	植物	にしや ほ た 西八幡のカエデ		—	西八幡	平成9年9月13日
101	記念物	植物	にしや ほ た 西八幡のカキ		—	西八幡	平成22年2月1日
102	記念物	地質鉱物	たげ まんごうし ホツチ峠の饅頭石		—	神戸	昭和45年10月1日
103	記念物	地質鉱物	ryuzaikaiin 竜王水(慈照寺)		—	竜王	平成2年12月5日

表 27 国登録文化財一覧表

番号	種	別	名	称	時代	所在大字	登録年月日
104	有形文化財	建造物	やまがたにん じやほんでん 山縣神社本殿		大正	篠原	平成28年8月1日
105	有形文化財	建造物	やまがたにん じやほいでん 山縣神社拝殿		大正	篠原	平成28年8月1日
106	有形文化財	建造物	やまがたにん じやほりやうず 山縣神社手水屋		大正	篠原	平成28年8月1日
107	有形文化財	建造物	やまがたにん じやほりやうず 山縣神社鳥居		大正	篠原	平成28年8月1日

表 28 山岳地 未指定文化財一覧表 (1/6)

番号	名称	類型	種類	大字
1	中村堰	有形文化財	建造物	亀沢
2	上/田堰	有形文化財	建造物	亀沢
3	石祠(船形神社)	有形文化財	建造物	亀沢
4	船形神社石鳥居	有形文化財	建造物	亀沢
5	船形神社隨身(神門)	有形文化財	建造物	亀沢
6	船形神社拝殿	有形文化財	建造物	亀沢
7	船形神社本殿	有形文化財	建造物	亀沢
8	万霊塔	有形文化財	建造物	亀沢
9	石祠	有形文化財	建造物	亀沢
10	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	亀沢
11	石祠	有形文化財	建造物	亀沢
12	石祠	有形文化財	建造物	亀沢
13	木造社(石棟あ)	有形文化財	建造物	亀沢
14	灯籠(天澤寺)	有形文化財	建造物	亀沢
15	灯籠(天澤寺)	有形文化財	建造物	亀沢
16	木造社(天澤寺)	有形文化財	建造物	亀沢
17	六地藏龕(天澤寺)	有形文化財	建造物	亀沢
18	蒙酒塔(天澤寺)	有形文化財	建造物	亀沢
19	万霊塔(天澤寺)	有形文化財	建造物	亀沢
20	御願(壺)	有形文化財	建造物	亀沢
21	五輪塔残欠(吉祥院)	有形文化財	建造物	亀沢
22	石祠(吉祥院)	有形文化財	建造物	亀沢
23	石祠(吉祥院)	有形文化財	建造物	亀沢
24	天神石祠(吉祥院)	有形文化財	建造物	亀沢
25	万霊塔(吉祥院)	有形文化財	建造物	亀沢
26	万霊塔(吉祥院)	有形文化財	建造物	亀沢
27	常夜燈(吉祥院)	有形文化財	建造物	亀沢
28	五輪塔残欠(吉祥院)	有形文化財	建造物	亀沢
29	六地藏龕	有形文化財	建造物	亀沢
30	井戸跡	有形文化財	建造物	亀沢
31	石祠	有形文化財	建造物	亀沢
32	石祠	有形文化財	建造物	亀沢
33	金板神社札入り石祠	有形文化財	建造物	亀沢
34	天神宮	有形文化財	建造物	亀沢
35	巖中の石祠	有形文化財	建造物	亀沢
36	中村の権置飼育所跡	有形文化財	建造物	亀沢
37	円柱石	有形文化財	建造物	亀沢
38	石祠	有形文化財	建造物	亀沢
39	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	亀沢
40	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
41	石仏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
42	石仏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
43	子孫の供養のための地蔵(天澤寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
44	地蔵(逆縁供養か・天澤寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
45	双体地蔵多敷(天澤寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
46	地蔵(天澤寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
47	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
48	馬頭観音(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
49	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
50	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
51	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
52	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
53	半跏思惟像(弥勒)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢

番号	名称	類型	種類	大字
54	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
55	快速像(吉祥院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
56	石仏(吉祥院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
57	石仏(吉祥院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
58	石仏(吉祥院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
59	石仏(吉祥院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
60	石仏(吉祥院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
61	石仏(吉祥院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
62	石仏(吉祥院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
63	地蔵(吉祥院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
64	吉祥院境内の石造物群	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
65	地蔵(吉祥院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
66	三体地蔵(吉祥院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
67	並立六地藏(吉祥院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
68	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
69	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
70	馬頭観音(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
71	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
72	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
73	並立六地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
74	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
75	双体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
76	双体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
77	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
78	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
79	御大典記念碑	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	亀沢
80	長田智康曲輪徳之碑	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
81	懸標	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
82	陀石(天澤寺)	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
83	蒙の形跡(蒙酒塔跡(天澤寺))	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
84	顕彰碑	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
85	供養碑(吉祥院)	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
86	供養碑(吉祥院)	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
87	供養碑(吉祥院)	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
88	供養碑(吉祥院)	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
89	懸標(吉祥院)	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
90	念仏供養塔	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
91	石観音供養塔	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
92	四国八十八箇所供養塔	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
93	懸標	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
94	亀沢長田家文書	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
95	歌碑	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
96	供養塔基壇観音	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
97	観音講供養塔	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	亀沢
98	九石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
99	秋葉山常夜燈	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
100	秋葉山常夜燈	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
101	九石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
102	秋葉山石尊常夜燈(天澤寺)	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
103	九石道祖神(天澤寺)	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
104	秋葉山常夜燈(吉祥院)	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
105	九石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
106	書面金剛(文字)	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢

表 28 山岳地 未指定文化財一覧表 (2/6)

番号	名称	類型	種類	大字
107	金足羅山灯籠	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
108	水神の碑	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
109	秋葉山常夜燈	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
110	大下の墓地	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
111	吉祥院北の墓地	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
112	中村北の墓地	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
113	中村南の墓地	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
114	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
115	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
116	牛頭観音(文字)	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
117	常夜燈(石尊・金足羅・秋葉)	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
118	青面金剛	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
119	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
120	船形神社の紙園祭	民俗文化財	有形民俗文化財	亀沢
121	御座道のうち亀沢ルート	記念物	遺跡	亀沢など
122	朝日山 安昌院(廃寺)	記念物	遺跡	亀沢
123	芝田遺跡	記念物	遺跡	亀沢
124	匠宮遺跡	記念物	遺跡	亀沢
125	昇昇仙峡	記念物	名勝地	亀沢など
126	棚田の景観	記念物	名勝地	亀沢など
127	亀沢稲農社	その他	生産	亀沢
128	亀沢宮地、長田神社、長田国蔵	その他	昔話	亀沢
129	亀沢船形神社にまつわる伝説	その他	昔話	亀沢
130	御岳道立木争論	その他	昔話	亀沢
131	山論と入会地	その他	昔話	亀沢など
132	亀沢のぶしや壺	その他	昔話	亀沢
133	亀沢男と市川女	その他	昔話	亀沢など
134	亀沢野郎	その他	昔話	亀沢
135	亀沢の家の門とえんどう	その他	昔話	亀沢
136	石祠	有形文化財	建造物	打返
137	石祠	有形文化財	建造物	打返
138	石祠	有形文化財	建造物	打返
139	石祠残欠	有形文化財	建造物	打返
140	石祠残欠	有形文化財	建造物	打返
141	灯籠(三界万霊)	有形文化財	建造物	打返
142	六地藏礎	有形文化財	建造物	打返
143	灯籠	有形文化財	建造物	打返
144	春日神社本殿	有形文化財	建造物	打返
145	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	打返
146	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	打返
147	聖観音カ	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	打返
148	石仏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	打返
149	双体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	打返
150	願国供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	打返
151	願国供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	打返
152	願国供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	打返
153	石白カ	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	打返
154	供養碑(岩船地蔵)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	打返
155	供養碑(弘法大師)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	打返
156	板碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	打返
157	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	打返
158	寺跡地	記念物	遺跡	打返
159	磯ころがし	その他	昔話	打返
160	瀬戸堰	有形文化財	建造物	津戸

番号	名称	類型	種類	大字
161	常夜燈	有形文化財	建造物	津戸
162	灯籠残欠	有形文化財	建造物	津戸
163	諏訪神社本殿	有形文化財	建造物	津戸
164	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	津戸
165	不動不動尊(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	津戸
166	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	津戸
167	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	津戸
168	不動明王	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	津戸
169	馬頭観音(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	津戸
170	不動明王	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	津戸
171	馬頭観音(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	津戸
172	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	津戸
173	秋葉山の札	民俗文化財	有形民俗文化財	津戸
174	津戸の墓地	民俗文化財	有形民俗文化財	津戸
175	鑑形大神	民俗文化財	有形民俗文化財	津戸
176	石祠(諏訪神社)	有形文化財	建造物	下管口
177	石祠(諏訪神社)	有形文化財	建造物	下管口
178	石祠(諏訪神社)	有形文化財	建造物	下管口
179	石祠(諏訪神社)	有形文化財	建造物	下管口
180	石祠(諏訪神社)	有形文化財	建造物	下管口
181	石祠(諏訪神社)	有形文化財	建造物	下管口
182	岩屋	有形文化財	建造物	下管口
183	六地藏礎	有形文化財	建造物	下管口
184	灯籠	有形文化財	建造物	下管口
185	石祠(諏訪・金山神社)	有形文化財	建造物	下管口
186	石祠(諏訪・金山神社)	有形文化財	建造物	下管口
187	石祠(諏訪・金山神社)	有形文化財	建造物	下管口
188	諏訪大神の碑(諏訪・金山神社)	有形文化財	建造物	下管口
189	拝殿(諏訪・金山神社)	有形文化財	建造物	下管口
190	常夜燈	有形文化財	建造物	下管口
191	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下管口
192	如意輪観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下管口
193	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下管口
194	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下管口
195	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下管口
196	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下管口
197	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下管口
198	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下管口
199	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下管口
200	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下管口
201	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下管口
202	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下管口
203	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下管口
204	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下管口
205	石道祖神(諏訪神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	下管口
206	鑑形大神(諏訪神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	下管口
207	石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	下管口
208	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	下管口
209	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	下管口
210	青面金剛	民俗文化財	有形民俗文化財	下管口
211	石尊大権現	民俗文化財	有形民俗文化財	下管口
212	くじき石神水榭	民俗文化財	有形民俗文化財	下管口
213	くじき石神水榭	民俗文化財	有形民俗文化財	下管口
214	虎杖き道跡	記念物	遺跡	下管口

表 28 山岳地 未指定文化財一覧表 (3/6)

番号	名称	類型	種類	大字
215	鍛冶屋	その他	昔話	下管口
216	岩屋	有形文化財	建造物	上管口
217	常夜燈	有形文化財	建造物	上管口
218	共用井戸	有形文化財	建造物	上管口
219	万葉塔 <small>カ</small> (広済寺)	有形文化財	建造物	上管口
220	石祠(広済寺)	有形文化財	建造物	上管口
221	六地藏繪(広済寺)	有形文化財	建造物	上管口
222	六地藏繪(広済寺)	有形文化財	建造物	上管口
223	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上管口
224	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上管口
225	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上管口
226	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上管口
227	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上管口
228	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上管口
229	双体地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上管口
230	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上管口
231	弘法大師像 <small>カ</small>	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上管口
232	馬頭観音(広済寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上管口
233	如意輪観音(広済寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上管口
234	聖観音 <small>カ</small> (広済寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上管口
235	三体地藏(広済寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上管口
236	馬頭観音 <small>カ</small> (広済寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上管口
237	地藏(広済寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上管口
238	馬頭観音(広済寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上管口
239	供養塔	有形文化財	美術工芸品(建築資料)	上管口
240	赤石塔(西宮郡西宮町(広済寺))	有形文化財	美術工芸品(建築資料)	上管口
241	遙礼塔(広済寺)	有形文化財	美術工芸品(建築資料)	上管口
242	丸石道祖神 <small>カ</small>	民俗文化財	有形民俗文化財	上管口
243	秋葉山の礼	民俗文化財	有形民俗文化財	上管口
244	青面金剛	民俗文化財	有形民俗文化財	上管口
245	水神の禰	民俗文化財	有形民俗文化財	上管口
246	青面金剛(広済寺)	民俗文化財	有形民俗文化財	上管口
247	万葉塔	有形文化財	建造物	安寺
248	万葉塔	有形文化財	建造物	安寺
249	灯籠	有形文化財	建造物	安寺
250	鳥居	有形文化財	建造物	安寺
251	石祠基	有形文化財	建造物	安寺
252	石祠	有形文化財	建造物	安寺
253	石祠基	有形文化財	建造物	安寺
254	石祠(三峯神社 <small>カ</small>)	有形文化財	建造物	安寺
255	石祠基	有形文化財	建造物	安寺
256	石祠(水神 <small>カ</small>)	有形文化財	建造物	安寺
257	地藏 <small>カ</small>	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	安寺
258	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	安寺
259	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	安寺
260	馬頭観音(十一面)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	安寺
261	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	安寺
262	地藏 <small>カ</small>	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	安寺
263	供養碑	有形文化財	美術工芸品(建築資料)	安寺
264	石神(富士仙元大菩薩)	有形文化財	美術工芸品(建築資料)	安寺
265	願日塔	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	安寺
266	安寺の墓地	民俗文化財	有形民俗文化財	安寺
267	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	安寺

番号	名称	類型	種類	大字
268	秋葉山常夜燈	民俗文化財	有形民俗文化財	安寺
269	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	安寺
270	青面金剛	民俗文化財	有形民俗文化財	安寺
271	石碑(那賀都神社 <small>カ</small>)	民俗文化財	有形民俗文化財	安寺
272	那賀都神社石碑	民俗文化財	有形民俗文化財	安寺
273	戸谷平	記念物	名勝地	安寺
274	信玄公山	記念物	名勝地	安寺
275	安寺のこと(関き取り)	その他	昔話	安寺
276	獅子平塚	有形文化財	建造物	獅子平
277	石祠	有形文化財	建造物	獅子平
278	万葉塔 <small>カ</small>	有形文化財	建造物	獅子平
279	無縁塔	有形文化財	建造物	獅子平
280	熊野神社本殿	有形文化財	建造物	獅子平
281	青面金剛	民俗文化財	有形民俗文化財	獅子平
282	獅子平の墓地	民俗文化財	有形民俗文化財	獅子平
283	秋葉山灯籠	民俗文化財	有形民俗文化財	獅子平
284	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	獅子平
285	下福沢堰	有形文化財	建造物	下福沢
286	灯籠	有形文化財	建造物	下福沢
287	前屋神明神社拜殿	有形文化財	建造物	下福沢
288	前屋神明神社本殿	有形文化財	建造物	下福沢
289	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	下福沢
290	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	下福沢
291	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	下福沢
292	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	下福沢
293	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	下福沢
294	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	下福沢
295	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	下福沢
296	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	下福沢
297	共用井戸	有形文化財	建造物	下福沢
298	石尊・秋葉・金見羅常夜燈	有形文化財	建造物	下福沢
299	前屋入口の供養塔	有形文化財	建造物	下福沢
300	石祠	有形文化財	建造物	下福沢
301	石祠	有形文化財	建造物	下福沢
302	石柱基	有形文化財	建造物	下福沢
303	御神燈	有形文化財	建造物	下福沢
304	御神燈	有形文化財	建造物	下福沢
305	御神燈残欠	有形文化財	建造物	下福沢
306	石祠(双峯院)	有形文化財	建造物	下福沢
307	石祠(双峯院)	有形文化財	建造物	下福沢
308	無縁塔(双峯院)	有形文化財	建造物	下福沢
309	無縁塔(双峯院)	有形文化財	建造物	下福沢
310	六地藏繪(双峯院)	有形文化財	建造物	下福沢
311	常夜燈(双峯院)	有形文化財	建造物	下福沢
312	五輪塔残欠(双峯院)	有形文化財	建造物	下福沢
313	五輪塔残欠(双峯院)	有形文化財	建造物	下福沢
314	笠塔婆(双峯院)	有形文化財	建造物	下福沢
315	笠塔婆(双峯院)	有形文化財	建造物	下福沢
316	万葉塔(双峯院)	有形文化財	建造物	下福沢
317	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
318	地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
319	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
320	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢

表 28 山岳地 未指定文化財一覧表 (4/6)

番号	名称	類型	種別	大字
321	地蔵か	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
322	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
323	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
324	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
325	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
326	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
327	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
328	馬頭観音(十一面)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
329	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
330	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
331	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
332	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
333	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
334	地蔵(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
335	地蔵(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
336	並立六地蔵(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
337	並立六地蔵(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
338	並立六地蔵(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
339	並立六地蔵(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
340	並立六地蔵(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
341	並立六地蔵(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
342	並立六地蔵(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
343	並立六地蔵(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
344	並立六地蔵(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
345	馬頭観音(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
346	馬頭観音か(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
347	地蔵(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
348	壊れた石仏(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下福沢
349	月待供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	下福沢
350	判読不可石造物	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	下福沢
351	供養碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	下福沢
352	観音講供養塔(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	下福沢
353	観音講供養塔(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	下福沢
354	歌碑か(双峯院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	下福沢
355	秋葉山・金比羅山・石尊山御神居	民俗文化財	有形民俗文化財	下福沢
356	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	下福沢
357	秋葉山札入	民俗文化財	有形民俗文化財	下福沢
358	水神の碑	民俗文化財	有形民俗文化財	下福沢
359	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	下福沢
360	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	下福沢
361	前香の墓地	民俗文化財	有形民俗文化財	下福沢
362	水神の碑	民俗文化財	有形民俗文化財	下福沢
363	水神の碑	民俗文化財	有形民俗文化財	下福沢
364	前庭の石尊	民俗文化財	有形民俗文化財	下福沢
365	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	下福沢
366	青面金剛(双峯院)	民俗文化財	有形民俗文化財	下福沢
367	六地蔵の祭り	民俗文化財	無形民俗文化財	下福沢
368	雨乞いの儀式(関き取り)	その他	言語	下福沢
369	六地藏繪	有形文化財	建造物	上福沢
370	万善塔	有形文化財	建造物	上福沢
371	石祠(如意寺跡)	有形文化財	建造物	上福沢
372	石祠(如意寺跡)	有形文化財	建造物	上福沢
373	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	上福沢

番号	名称	類型	種別	大字
374	石祠(船荷)	有形文化財	建造物	上福沢
375	石祠	有形文化財	建造物	上福沢
376	石祠	有形文化財	建造物	上福沢
377	石祠	有形文化財	建造物	上福沢
378	石祠	有形文化財	建造物	上福沢
379	石祠	有形文化財	建造物	上福沢
380	石祠	有形文化財	建造物	上福沢
381	石祠	有形文化財	建造物	上福沢
382	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上福沢
383	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上福沢
384	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上福沢
385	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上福沢
386	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上福沢
387	馬頭観音(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上福沢
388	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上福沢
389	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上福沢
390	石仏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上福沢
391	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上福沢
392	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上福沢
393	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上福沢
394	並立六地蔵(如意寺跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上福沢
395	並立六地蔵(如意寺跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上福沢
396	並立六地蔵(如意寺跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上福沢
397	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	上福沢
398	廻廊供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	上福沢
399	念佛供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	上福沢
400	地蔵板碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	上福沢
401	大乗寺典拠兼碑(如意寺跡)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	上福沢
402	青面金剛	民俗文化財	有形民俗文化財	上福沢
403	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	上福沢
404	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	上福沢
405	秋葉山納札塔	民俗文化財	有形民俗文化財	上福沢
406	石祠道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	上福沢
407	上福沢の墓地	民俗文化財	有形民俗文化財	上福沢
408	榎木平遺跡	記念物	遺跡	上福沢
409	上福沢遺跡	記念物	遺跡	上福沢
410	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	神戸
411	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	神戸
412	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	神戸
413	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	神戸
414	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	神戸
415	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	神戸
416	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	神戸
417	無縁塔	有形文化財	建造物	神戸
418	石祠	有形文化財	建造物	神戸
419	石祠	有形文化財	建造物	神戸
420	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	神戸
421	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	神戸
422	宝篋印塔	有形文化財	建造物	神戸
423	石祠	有形文化財	建造物	神戸
424	六地藏繪	有形文化財	建造物	神戸
425	八雲神社西照鳥居(八雲神社)	有形文化財	建造物	神戸
426	八雲神社拝殿	有形文化財	建造物	神戸

表 28 山岳地 未指定文化財一覧表 (5/6)

番号	名称	類型	種類	大字
427	八雲神社本殿	有形文化財	建造物	神戸
428	石祠(八雲神社)	有形文化財	建造物	神戸
429	石祠(八雲神社)	有形文化財	建造物	神戸
430	石祠(八雲神社)	有形文化財	建造物	神戸
431	灯籠(八雲神社)	有形文化財	建造物	神戸
432	灯籠(八雲神社)	有形文化財	建造物	神戸
433	カマド状組石(八雲神社)	有形文化財	建造物	神戸
434	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
435	四地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
436	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
437	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
438	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
439	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
440	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
441	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
442	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
443	竝立六地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
444	竝立六地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
445	竝立六地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
446	竝立六地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
447	竝立六地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
448	竝立六地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
449	不動明王	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
450	如坐坐像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
451	如坐坐像(木造)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
452	石仏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
453	石観音供養塔	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
454	供養塔	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
455	圓筒供養塔	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
456	観水碑	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	神戸
457	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	神戸
458	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	神戸
459	秋葉(三尺坊)灯籠	民俗文化財	有形民俗文化財	神戸
460	双体道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	神戸
461	石祠(道祖神 ^a)	民俗文化財	有形民俗文化財	神戸
462	神戸の墓地	民俗文化財	有形民俗文化財	神戸
463	下芦沢堰	有形文化財	建造物	下芦沢など
464	上福区堰	有形文化財	建造物	下芦沢など
465	低区配水池	有形文化財	建造物	下芦沢
466	無縁塔(宝勝寺)	有形文化財	建造物	下芦沢
467	万重塔(宝勝寺)	有形文化財	建造物	下芦沢
468	六地蔵(宝勝寺)	有形文化財	建造物	下芦沢
469	神社(源方大明神)	有形文化財	建造物	下芦沢
470	木造の社	有形文化財	建造物	下芦沢
471	水車小屋	有形文化財	建造物	下芦沢
472	馬頭観音(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
473	馬頭観音(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
474	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
475	馬頭観音(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
476	観世音菩薩(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
477	十一面観音(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
478	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
479	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢

番号	名称	類型	種類	大字
480	地蔵多敷(宝勝寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
481	双体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
482	双体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
483	馬頭観音(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
484	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
485	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
486	観世音菩薩(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
487	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
488	地蔵地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
489	墓石多敷(宝勝寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
490	石観音供養	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	下芦沢
491	青面金剛 ^a	民俗文化財	有形民俗文化財	下芦沢
492	石祠道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	下芦沢
493	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	下芦沢
494	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	下芦沢
495	念三夜塔	民俗文化財	有形民俗文化財	下芦沢
496	下芦沢の墓地	民俗文化財	有形民俗文化財	下芦沢
497	炭焼痕跡	記念物	遺跡	下芦沢
498	水路	記念物	遺跡	下芦沢
499	平見城跡(堀と金子堀)	記念物	遺跡	下芦沢
500	下芦沢共同の炭焼きかまど	その他	生業	下芦沢
501	茅ヶ岳の山男	その他	昔話	下芦沢など
502	上芦沢堰	有形文化財	建造物	上芦沢など
503	釜の口貯水池	有形文化財	建造物	上芦沢
504	小川園池	有形文化財	建造物	上芦沢
505	小川堰	有形文化財	建造物	上芦沢など
506	神戸堰	有形文化財	建造物	上芦沢など
507	平見城跡(泉跡)	記念物	遺跡	上芦沢
508	平見城跡穴及び子持穴	記念物	名勝地	上芦沢
509	番屋	その他	生業	上芦沢など
510	太刀岡山と城山	その他	昔話	上芦沢
511	上組平塚	有形文化財	建造物	吉沢
512	無縁塔(太宰寺)	有形文化財	建造物	吉沢
513	無縁塔(太宰寺)	有形文化財	建造物	吉沢
514	万重塔(太宰寺)	有形文化財	建造物	吉沢
515	近戸神社石鳥居	有形文化財	建造物	吉沢
516	近戸神社拝殿	有形文化財	建造物	吉沢
517	近戸神社本殿	有形文化財	建造物	吉沢
518	石祠(常設寺)	有形文化財	建造物	吉沢
519	石祠(近戸神社)	有形文化財	建造物	吉沢
520	石祠(近戸神社)	有形文化財	建造物	吉沢
521	石祠(近戸神社)	有形文化財	建造物	吉沢
522	石祠(近戸神社)	有形文化財	建造物	吉沢
523	灯籠(近戸神社)	有形文化財	建造物	吉沢
524	石祠(近戸神社)	有形文化財	建造物	吉沢
525	石祠(近戸神社)	有形文化財	建造物	吉沢
526	石祠(近戸神社)	有形文化財	建造物	吉沢
527	石祠(近戸神社)	有形文化財	建造物	吉沢
528	石祠(近戸神社)	有形文化財	建造物	吉沢
529	無縁塔	有形文化財	建造物	吉沢
530	無縁塔	有形文化財	建造物	吉沢
531	無縁塔	有形文化財	建造物	吉沢
532	石祠	有形文化財	建造物	吉沢

表 28 山岳地 未指定文化財一覧表 (6/6)

番号	名称	類型	種類	大字
533	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	吉沢
534	忠霊塔(普禅院)	有形文化財	建造物	吉沢
535	六地藏(普禅院)	有形文化財	建造物	吉沢
536	万重塔(普禅院)	有形文化財	建造物	吉沢
537	天神宮石祠(普禅院)	有形文化財	建造物	吉沢
538	近戸神社明神鳥居(黒)	有形文化財	建造物	吉沢
539	慰霊碑	有形文化財	建造物	吉沢
540	馬頭観音(太宰寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
541	地藏(太宰寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
542	如意輪観音か(太宰寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
543	馬頭観音(太宰寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
544	並立六地藏(太宰寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
545	馬頭観音(太宰寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
546	並立六地藏(太宰寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
547	地藏(太宰寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
548	並立六地藏(太宰寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
549	地藏(常説寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
550	馬頭観音(近戸神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
551	馬頭観音(近戸神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
552	馬頭観音(近戸神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
553	馬頭観音(近戸神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
554	馬頭観音(近戸神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
555	馬頭観音(近戸神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
556	馬頭観音(近戸神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
557	馬頭観音か	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
558	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
559	馬頭観音(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
560	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
561	地藏か	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
562	如意輪観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
563	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
564	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
565	馬頭観音(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
566	地藏など多数(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
567	石仏(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
568	地藏(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
569	並立六地藏(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
570	聖観音か(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
571	馬頭観音(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
572	並立七地藏(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
573	石仏(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
574	地藏(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
575	石仏(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
576	石仏(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
577	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
578	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
579	願国供養塔か(太宰寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
580	懸標(太宰寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
581	日蓮記念碑(常説寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
582	日蓮遠忌塔(常説寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
583	日蓮遠忌塔(常説寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
584	懸標か(常説寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
585	出羽三山供養碑	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢

番号	名称	類型	種類	大字
586	念仏供養塔(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
587	念仏供養碑(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
588	懸標(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
589	懸標(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
590	念仏供養塔(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
591	願国願礼供養塔(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
592	願国願礼供養塔(普禅院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	吉沢
593	庚申塔	民俗文化財	民俗文化財	吉沢
594	庚申塔(太宰寺)	民俗文化財	民俗文化財	吉沢
595	観音講供養塔か(太宰寺)	民俗文化財	民俗文化財	吉沢
596	庚申塔(太宰寺)	民俗文化財	民俗文化財	吉沢
597	丸石道祖神	民俗文化財	民俗文化財	吉沢
598	丸石道祖神か(近戸神社)	民俗文化財	民俗文化財	吉沢
599	甲子塔	民俗文化財	民俗文化財	吉沢
600	蒙影山	民俗文化財	民俗文化財	吉沢
601	常夜燈(金屋敷・秋葉か)	民俗文化財	民俗文化財	吉沢
602	丸石道祖神	民俗文化財	民俗文化財	吉沢
603	青面金剛(普禅院)	民俗文化財	民俗文化財	吉沢
604	寺平の御舞	民俗文化財	無形民俗文化財	吉沢
605	吉沢の堤防	記念物	遺跡	吉沢
606	御旗道のうち外道(下道)	記念物	遺跡	吉沢
607	御旗道のうち上道	記念物	遺跡	吉沢
608	吉沢A遺跡	記念物	遺跡	吉沢
609	吉沢B遺跡	記念物	遺跡	吉沢
610	寺平遺跡	記念物	遺跡	吉沢
611	常説寺跡	記念物	遺跡	吉沢
612	赤沢村古本村の町界標の跡	その他	言語	吉沢
613	常夜燈	有形文化財	建造物	千田
614	無縁塔	有形文化財	建造物	千田
615	千田の観音堂	有形文化財	建造物	千田
616	石祠(観音堂)	有形文化財	建造物	千田
617	六地藏(観音堂)	有形文化財	建造物	千田
618	万重塔(観音堂)	有形文化財	建造物	千田
619	近戸大明神鳥居	有形文化財	建造物	千田
620	近戸大明神拜殿	有形文化財	建造物	千田
621	石祠(近戸大明神本殿)	有形文化財	建造物	千田
622	石祠(近戸大明神)	有形文化財	建造物	千田
623	カマド状組石(近戸大明神)	有形文化財	建造物	千田
624	地蔵多数	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	千田
625	並立七地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	千田
626	如意輪観音(観音堂)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	千田
627	観音講御旗道(文字・観音堂)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	千田
628	地蔵か(観音堂)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	千田
629	地藏(観音堂)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	千田
630	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	千田
631	道標	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	千田
632	懸標多数	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	千田
633	和歌奉納額(近戸大明神)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	千田
634	丸石道祖神	民俗文化財	民俗文化財	千田
635	青面金剛(観音堂)	民俗文化財	民俗文化財	千田

表 29 丘陵地 未指定文化財一覧表 (1/6)

番号	名称	類型	種類	大字
1	三島御池	有形文化財	建造物	宇津谷
2	橋無堰	有形文化財	建造物	宇津谷など
3	石祠(伊勢神明社)	有形文化財	建造物	宇津谷
4	石祠(伊勢神明社)	有形文化財	建造物	宇津谷
5	石祠(伊勢神明社)	有形文化財	建造物	宇津谷
6	石祠(伊勢神明社)	有形文化財	建造物	宇津谷
7	石祠(伊勢神明社)	有形文化財	建造物	宇津谷
8	石祠(伊勢神明社)	有形文化財	建造物	宇津谷
9	石祠(伊勢神明社)	有形文化財	建造物	宇津谷
10	石祠(伊勢神明社)	有形文化財	建造物	宇津谷
11	木造社(伊勢神明社)	有形文化財	建造物	宇津谷
12	旧家の長屋門	有形文化財	建造物	宇津谷
13	簡木旧宅	有形文化財	建造物	宇津谷
14	石祠(八幡諏訪神社)	有形文化財	建造物	宇津谷
15	石祠(八幡諏訪神社)	有形文化財	建造物	宇津谷
16	石祠(八幡諏訪神社)	有形文化財	建造物	宇津谷
17	石祠(八幡諏訪神社)	有形文化財	建造物	宇津谷
18	石祠(八幡諏訪神社)	有形文化財	建造物	宇津谷
19	石祠(八幡諏訪神社)	有形文化財	建造物	宇津谷
20	石祠(八幡諏訪神社)	有形文化財	建造物	宇津谷
21	石祠(八幡諏訪神社)	有形文化財	建造物	宇津谷
22	石祠(八幡諏訪神社)	有形文化財	建造物	宇津谷
23	五輪塔(簡本稲荷)	有形文化財	建造物	宇津谷
24	五輪塔(簡本稲荷)	有形文化財	建造物	宇津谷
25	五輪塔(簡本稲荷)	有形文化財	建造物	宇津谷
26	五輪塔(簡本稲荷)	有形文化財	建造物	宇津谷
27	無縁塔(簡本稲荷)	有形文化財	建造物	宇津谷
28	石祠(簡本稲荷)	有形文化財	建造物	宇津谷
29	石祠(簡本稲荷)	有形文化財	建造物	宇津谷
30	稲荷社(簡本稲荷)	有形文化財	建造物	宇津谷
31	稲荷社(簡本稲荷)	有形文化財	建造物	宇津谷
32	五輪塔残欠(金剛寺)	有形文化財	建造物	宇津谷
33	石祠(金剛寺)	有形文化財	建造物	宇津谷
34	石祠(金剛寺)	有形文化財	建造物	宇津谷
35	灯籠(金剛寺)	有形文化財	建造物	宇津谷
36	石祠(金剛寺)	有形文化財	建造物	宇津谷
37	石祠(金剛寺)	有形文化財	建造物	宇津谷
38	灯籠(金剛寺)	有形文化財	建造物	宇津谷
39	石祠(金剛寺)	有形文化財	建造物	宇津谷
40	石祠(金剛寺)	有形文化財	建造物	宇津谷
41	石造物(水神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
42	阿弥如来坐像(法蔵)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
43	馬頭観音(八幡諏訪神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
44	馬頭観音(八幡諏訪神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
45	馬頭観音(八幡諏訪神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
46	馬頭観音(八幡諏訪神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
47	馬頭観音(八幡諏訪神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
48	馬頭観音(八幡諏訪神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
49	馬頭観音(八幡諏訪神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
50	馬頭観音(八幡諏訪神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
51	馬頭観音(八幡諏訪神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
52	馬頭観音(八幡諏訪神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
53	馬頭観音(八幡諏訪神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷

番号	名称	類型	種類	大字
54	石仏(金剛寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
55	米沢の馬頭観音(法蔵)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
56	味噌雪地藏(金剛寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
57	船乗地蔵(金剛寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
58	記念碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	宇津谷
59	道標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	宇津谷
60	道標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	宇津谷
61	題目塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	宇津谷
62	日蓮蓮忌塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	宇津谷
63	墓標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	宇津谷
64	道標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	宇津谷
65	板碑(金剛寺)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	宇津谷
66	道標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	宇津谷
67	水源内の道標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	宇津谷
68	道標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	宇津谷
69	道標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	宇津谷
70	二十三夜母(伊勢神明社)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
71	丸石積(遺祖神々)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
72	石平ふよけ(伊勢神明社)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
73	籠彫山(伊勢神明社)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
74	甲子(伊勢神明社)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
75	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
76	石祠(道祖神(八幡諏訪神社))	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
77	狹葉山石祠(八幡諏訪神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
78	石母山石祠(八幡諏訪神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
79	石母山石祠(八幡諏訪神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
80	石母山石祠(八幡諏訪神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
81	狹葉寺尊夜行(金剛寺)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
82	石祠(杖藜)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
83	石尊山石祠(金剛寺)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
84	金毘羅石祠(金剛寺)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
85	二十三夜塔	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
86	二十三夜塔	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
87	石祠道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
88	笠石の小正月行事(巳とんど)	民俗文化財	無形民俗文化財	宇津谷
89	百万遍講	民俗文化財	無形民俗文化財	宇津谷など
90	米沢の水源地	記念物	遺跡	宇津谷
91	瀬田伝承地	記念物	遺跡	宇津谷
92	光徳山 久岩寺(廃寺)	記念物	遺跡	宇津谷
93	養徳山 善養院(廃寺)	記念物	遺跡	宇津谷
94	笠石の黒松塔	記念物	遺跡	宇津谷
95	三島遺跡	記念物	遺跡	宇津谷
96	駒沢遺跡	記念物	遺跡	宇津谷
97	天神反遺跡	記念物	遺跡	宇津谷
98	八ツ倉遺跡	記念物	遺跡	宇津谷
99	唐土遺跡	記念物	遺跡	宇津谷
100	清水堀遺跡	記念物	遺跡	宇津谷
101	狐石A遺跡	記念物	遺跡	宇津谷
102	狐石B遺跡	記念物	遺跡	宇津谷
103	米沢遺跡	記念物	遺跡	宇津谷
104	狐石C遺跡	記念物	遺跡	宇津谷
105	宇津糠A遺跡	記念物	遺跡	宇津谷
106	宇津糠B遺跡	記念物	遺跡	宇津谷

表 29 丘陵地 未指定文化財一覧表 (2/6)

番号	名称	類型	種類	大字
107	山ノ神遺跡	記念物	遺跡	宇津谷
108	峠の榎A遺跡	記念物	遺跡	宇津谷
109	峠の榎B遺跡	記念物	遺跡	宇津谷
110	藤原A遺跡	記念物	遺跡	宇津谷
111	藤山城跡	記念物	遺跡	宇津谷
112	峠の榎宮跡	記念物	遺跡	宇津谷
113	諏訪大神社宮跡	記念物	遺跡	宇津谷
114	駒石	記念物	名勝地	宇津谷
115	馬蹄石	記念物	地質鉱物	宇津谷
116	笠石(自然石)	記念物	地質鉱物	宇津谷
117	お阿弥陀さん	その他	昔話	宇津谷
118	八ツ倉重兵衛	その他	昔話	宇津谷
119	唐松長者	その他	昔話	宇津谷
120	熊池の話	その他	昔話	宇津谷
121	古神塚	その他	昔話	宇津谷
122	石祠	有形文化財	建造物	高瀬澤
123	石祠	有形文化財	建造物	高瀬澤
124	石祠	有形文化財	建造物	高瀬澤
125	石祠(八幡宮)	有形文化財	建造物	高瀬澤
126	山神宮(八幡宮)	有形文化財	建造物	高瀬澤
127	山神宮(八幡宮)	有形文化財	建造物	高瀬澤
128	泉源池	有形文化財	建造物	高瀬澤
129	馬頭観音(文字・法泉寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	高瀬澤
130	馬頭観音(法泉寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	高瀬澤
131	馬頭観音(法泉寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	高瀬澤
132	並立六地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	高瀬澤
133	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	高瀬澤
134	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	高瀬澤
135	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	高瀬澤
136	馬頭観音(文字・八幡宮)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	高瀬澤
137	馬頭観音(八幡宮)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	高瀬澤
138	馬頭観音(八幡宮)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	高瀬澤
139	馬頭観音(八幡宮)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	高瀬澤
140	馬頭観音(八幡宮)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	高瀬澤
141	題目塔(法泉寺)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	高瀬澤
142	題目塔(法泉寺)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	高瀬澤
143	題目塔(法泉寺)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	高瀬澤
144	題目塔(法泉寺)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	高瀬澤
145	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	高瀬澤
146	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	高瀬澤
147	題目講	民俗文化財	無形民俗文化財	高瀬澤
148	下海清遺跡	記念物	遺跡	高瀬澤
149	辻合A遺跡	記念物	遺跡	高瀬澤
150	辻合B遺跡	記念物	遺跡	高瀬澤
151	浜井場A遺跡	記念物	遺跡	高瀬澤
152	浜井場B遺跡	記念物	遺跡	高瀬澤
153	小林遺跡	記念物	遺跡	高瀬澤
154	小林A遺跡	記念物	遺跡	高瀬澤
155	東峰A遺跡	記念物	遺跡	高瀬澤
156	東峰B遺跡	記念物	遺跡	高瀬澤
157	教院院(廃寺)	記念物	遺跡	高瀬澤
158	三光院(廃寺)	記念物	遺跡	高瀬澤
159	山泉県立並業試験場跡	記念物	遺跡	高瀬澤

番号	名称	類型	種類	大字
160	お茶好い婆さん	その他	昔話	高瀬澤
161	日影屋敷のお大尺	その他	昔話	高瀬澤
162	新田諏池	有形文化財	建造物	團子新居
163	丸石道祖神(新田地区)	民俗文化財	有形民俗文化財	團子新居
164	大沢山 行澤寺(廃寺)	記念物	遺跡	團子新居
165	正宝院(廃寺)	記念物	遺跡	團子新居
166	東峰C遺跡	記念物	遺跡	團子新居
167	大沢遺跡	記念物	遺跡	團子新居
168	堰上遺跡	記念物	遺跡	團子新居
169	曾利遺跡	記念物	遺跡	團子新居
170	中原遺跡	記念物	遺跡	團子新居
171	団子石(礎頭石)	記念物	地質鉱物	團子新居など
172	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	大空
173	宝篋印塔残欠	有形文化財	建造物	大空
174	金山神社拝殿	有形文化財	建造物	大空
175	金山神社本殿	有形文化財	建造物	大空
176	金山神社石鳥居	有形文化財	建造物	大空
177	石祠(金山神社)	有形文化財	建造物	大空
178	石祠(金山神社)	有形文化財	建造物	大空
179	石祠(伊豆の宮)	有形文化財	建造物	大空
180	石祠(伊豆の宮)	有形文化財	建造物	大空
181	石祠(伊豆の宮)	有形文化財	建造物	大空
182	石祠(伊豆の宮)	有形文化財	建造物	大空
183	石祠(伊豆の宮)	有形文化財	建造物	大空
184	石祠(伊豆の宮)	有形文化財	建造物	大空
185	石祠(伊豆の宮)	有形文化財	建造物	大空
186	灯籠(金山神社境内)	有形文化財	建造物	大空
187	灯籠(金山神社境内)	有形文化財	建造物	大空
188	石祠	有形文化財	建造物	大空
189	灯籠	有形文化財	建造物	大空
190	慰霊碑	有形文化財	建造物	大空
191	石書大乗妙典	有形文化財	建造物	大空
192	六地藏の龕部	有形文化財	建造物	大空
193	石橋の部材カ	有形文化財	建造物	大空
194	石橋の部材カ	有形文化財	建造物	大空
195	無縁塔	有形文化財	建造物	大空
196	石橋(長書)	有形文化財	建造物	大空
197	五輪塔	有形文化財	建造物	大空
198	石祠	有形文化財	建造物	大空
199	石祠	有形文化財	建造物	大空
200	石祠	有形文化財	建造物	大空
201	用途不明円柱(年号不明)	有形文化財	建造物	大空
202	五輪(残欠)	有形文化財	建造物	大空
203	無縁塔請花	有形文化財	建造物	大空
204	台座	有形文化財	建造物	大空
205	石祠	有形文化財	建造物	大空
206	石祠	有形文化財	建造物	大空
207	伊豆/宮瀧井	有形文化財	建造物	大空
208	久保入瀧井	有形文化財	建造物	大空
209	大空塚	有形文化財	建造物	大空など
210	下屋	有形文化財	建造物	大空など
211	疋代(金山神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大空
212	如意輪観音(金山神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大空

表 29 丘陵地 未指定文化財一覧表 (3/6)

番号	名称	類型	種類	大字
213	双体地蔵(金山神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大塚
214	馬頭観音(兼淫拝塔)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大塚
215	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大塚
216	子安地蔵(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大塚
217	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大塚
218	双体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大塚
219	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大塚
220	としさんの子安地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大塚
221	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大塚
222	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大塚
223	伊豆の宮瀧池建設記念碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大塚
224	久保入瀧池建設記念碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大塚
225	板碑(金山神社)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大塚
226	観音講供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大塚
227	観音講供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大塚
228	道標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大塚
229	念仏供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大塚
230	廻国供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大塚
231	廻国供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大塚
232	廻国供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大塚
233	観音講供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大塚
234	墓標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大塚
235	曾山の墓標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大塚
236	曾山の墓標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大塚
237	元標の碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大塚
238	石祠(水神ヶ)	民俗文化財	有形民俗文化財	大塚
239	木祠(水神ヶ)	民俗文化財	有形民俗文化財	大塚
240	秋葉山石祠	民俗文化財	有形民俗文化財	大塚
241	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	大塚
242	秋葉山常夜灯ヶ	民俗文化財	有形民俗文化財	大塚
243	水神	民俗文化財	有形民俗文化財	大塚
244	月待塔(二十二夜塔)	民俗文化財	有形民俗文化財	大塚
245	月待塔(二十二夜塔)	民俗文化財	有形民俗文化財	大塚
246	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	大塚
247	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	大塚
248	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	大塚
249	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	大塚
250	水呑所跡	記念物	遺跡	大塚
251	久保入遺跡	記念物	遺跡	大塚
252	日向遺跡	記念物	遺跡	大塚
253	堰西遺跡	記念物	遺跡	大塚
254	伊豆/宮遺跡	記念物	遺跡	大塚
255	中新井遺跡	記念物	遺跡	大塚
256	五輪塔残欠(龍藏院)	有形文化財	建造物	龍地
257	五輪塔残欠(龍藏院)	有形文化財	建造物	龍地
258	無縁塔(龍藏院)	有形文化財	建造物	龍地
259	万霊塔(龍藏院)	有形文化財	建造物	龍地
260	六地藏(龍藏院)	有形文化財	建造物	龍地
261	六地藏(龍藏院)	有形文化財	建造物	龍地
262	五輪塔残欠(黄梅院跡)	有形文化財	建造物	龍地
263	万霊塔(黄梅院跡)	有形文化財	建造物	龍地
264	無縁塔	有形文化財	建造物	龍地
265	六地藏残欠	有形文化財	建造物	龍地

番号	名称	類型	種類	大字
266	石輪残欠	有形文化財	建造物	龍地
267	石祠	有形文化財	建造物	龍地
268	石祠	有形文化財	建造物	龍地
269	五輪(残欠)	有形文化財	建造物	龍地
270	石座残欠	有形文化財	建造物	龍地
271	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	龍地
272	墓標ヶ	有形文化財	建造物	龍地
273	諏訪神社拝殿	有形文化財	建造物	龍地
274	諏訪神社本殿	有形文化財	建造物	龍地
275	石鳥居(諏訪神社)	有形文化財	建造物	龍地
276	石鳥居(諏訪神社)	有形文化財	建造物	龍地
277	石鳥居の旧額(諏訪神社)	有形文化財	建造物	龍地
278	灯籠(諏訪神社)	有形文化財	建造物	龍地
279	石樋ヶ(諏訪神社)	有形文化財	建造物	龍地
280	灯籠(諏訪神社)	有形文化財	建造物	龍地
281	灯籠(諏訪神社)	有形文化財	建造物	龍地
282	灯籠(諏訪神社)	有形文化財	建造物	龍地
283	灯籠(諏訪神社)	有形文化財	建造物	龍地
284	灯籠(諏訪神社)	有形文化財	建造物	龍地
285	灯籠(諏訪神社)	有形文化財	建造物	龍地
286	灯籠(諏訪神社)	有形文化財	建造物	龍地
287	隨身門(諏訪神社)	有形文化財	建造物	龍地
288	武田社(諏訪神社)	有形文化財	建造物	龍地
289	石柱(諏訪神社)	有形文化財	建造物	龍地
290	石祠	有形文化財	建造物	龍地
291	七社(権現)の石祠	有形文化財	建造物	龍地
292	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	龍地
293	万霊塔(龍泉院)	有形文化財	建造物	龍地
294	万霊塔ヶ(龍泉院)	有形文化財	建造物	龍地
295	六地藏輪残欠(龍泉院)	有形文化財	建造物	龍地
296	大塚敬山神社拝本殿	有形文化財	建造物	龍地
297	龍地大瀧井	有形文化財	建造物	龍地
298	並立六地藏(龍藏院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
299	並立六地藏(龍藏院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
300	並立六地藏(龍藏院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
301	並立六地藏(龍藏院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
302	並立六地藏(龍藏院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
303	三休地蔵(龍藏院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
304	石造物(龍藏院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
305	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
306	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
307	地蔵(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
308	地蔵(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
309	地蔵(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
310	地蔵(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
311	地蔵(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
312	地蔵(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
313	双休地蔵(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
314	石仏(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
315	馬頭観音(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
316	馬頭観音(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
317	馬頭観音(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
318	馬頭観音(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地

表 29 丘陵地 未指定文化財一覧表 (4/6)

番号	名称	類型	種類	大字
319	馬頭観音(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
320	馬頭観音(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
321	馬頭観音(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
322	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
323	並立六地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
324	石仏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	龍地
325	願国供養塔(龍藏院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
326	墓標(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
327	墓標(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
328	墓標(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
329	墓標(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
330	念仏供養塔(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
331	供養碑(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
332	供養碑(黄梅院跡)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
333	願国供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
334	墓標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
335	供養碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
336	題目塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
337	念仏供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
338	供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
339	墓標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
340	墓標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
341	墓標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
342	焼工碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
343	石蔵・身(諏訪神社)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
344	石蔵・蓋(諏訪神社)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
345	願国供養塔ほか(龍泉院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
346	妙典石字塔(龍泉院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	龍地
347	丸石道祖神(龍藏院)	民俗文化財	有形民俗文化財	龍地
348	青面金剛(龍藏院)	民俗文化財	有形民俗文化財	龍地
349	文字庚申塔(龍藏院)	民俗文化財	有形民俗文化財	龍地
350	水神(龍藏院)	民俗文化財	有形民俗文化財	龍地
351	秋葉山常夜燈(龍藏院)	民俗文化財	有形民俗文化財	龍地
352	石祠道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	龍地
353	秋葉山常夜灯	民俗文化財	有形民俗文化財	龍地
354	石祠(秋葉ヶ)	民俗文化財	有形民俗文化財	龍地
355	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	龍地
356	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	龍地
357	文字庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	龍地
358	秋葉山灯籠	民俗文化財	有形民俗文化財	龍地
359	薬神	民俗文化財	有形民俗文化財	龍地
360	大ぶくり様	民俗文化財	有形民俗文化財	龍地
361	妙秀寺のかさまつ稲荷	民俗文化財	有形民俗文化財	龍地
362	遊物沢遺跡	記念物	遺跡	龍地
363	北浦遺跡	記念物	遺跡	龍地
364	古氏神遺跡	記念物	遺跡	龍地
365	烏塚A遺跡	記念物	遺跡	龍地
366	烏塚B遺跡	記念物	遺跡	龍地
367	烏塚C遺跡	記念物	遺跡	龍地
368	双葉1号古墳	記念物	遺跡	龍地
369	往生塚古墳	記念物	遺跡	龍地
370	双葉二ツ塚1号古墳	記念物	遺跡	龍地
371	双葉二ツ塚2号古墳	記念物	遺跡	龍地

番号	名称	類型	種類	大字
372	二ツ塚遺跡	記念物	遺跡	龍地
373	長昌寺溜池跡	記念物	遺跡	龍地
374	空閑溜池跡	記念物	遺跡	龍地
375	徳飯路	記念物	遺跡	龍地など
376	逢見路	記念物	遺跡	龍地など
377	総開院(宗開院)(廃寺)	記念物	遺跡	龍地
378	延命山 黄梅院(廃寺)	記念物	遺跡	龍地
379	福聚山 慈眼院(廃寺)	記念物	遺跡	龍地
380	電源院(廃寺)	記念物	遺跡	龍地
381	御座石	記念物	地質鉱物	龍地
382	烏が池	その他	昔話	龍地
383	一つ屋の老姥	その他	昔話	龍地
384	樺栗囃子(下今井公民館)	有形文化財	建造物	下今井
385	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	下今井
386	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	下今井
387	下今井神明神社本殿	有形文化財	建造物	下今井
388	下今井雑瓦造りガード	有形文化財	建造物	下今井
389	道標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	下今井
390	孝女津津の碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	下今井
391	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	下今井
392	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	下今井
393	庚申塔家道標	民俗文化財	有形民俗文化財	下今井
394	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	下今井
395	二十三夜坊	民俗文化財	有形民俗文化財	下今井
396	石祠道祖神か	民俗文化財	有形民俗文化財	下今井
397	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	下今井
398	市子石遺跡	記念物	遺跡	下今井
399	水主遺跡	記念物	遺跡	下今井
400	双葉2号古墳	記念物	遺跡	下今井
401	双葉3号古墳	記念物	遺跡	下今井
402	塔/経塚塚	記念物	遺跡	下今井
403	福聚山 林泉寺(廃寺)	記念物	遺跡	下今井
404	馬栗石	記念物	地質鉱物	下今井
405	泣石	記念物	地質鉱物	下今井
406	味噌管地蔵(自性院)	その他	昔話	下今井
407	光照寺のお薬師さん	民俗文化財	有形民俗文化財	岩森
408	光照寺薬師堂祭り・灌仏会	民俗文化財	無形民俗文化財	岩森
409	石宮山 福藏院(廃寺)	記念物	遺跡	岩森
410	坊沢車遺跡	記念物	遺跡	岩森
411	西原遺跡	記念物	遺跡	岩森
412	藤塚B遺跡	記念物	遺跡	岩森
413	山の神遺跡	記念物	遺跡	岩森
414	双葉4号古墳	記念物	遺跡	岩森
415	光照寺跡	記念物	遺跡	岩森
416	お里山	その他	昔話	岩森
417	大久保の巨塚家銅育所	有形文化財	建造物	大久保
418	子神社本殿	有形文化財	建造物	大久保
419	子神社拝殿	有形文化財	建造物	大久保
420	子神社石鳥居	有形文化財	建造物	大久保
421	石祠(子神社境内)	有形文化財	建造物	大久保
422	石祠(子神社境内)	有形文化財	建造物	大久保
423	石祠(子神社境内)	有形文化財	建造物	大久保
424	石祠(子神社境内)	有形文化財	建造物	大久保

表 29 丘陵地 未指定文化財一覧表 (5/6)

番号	名称	類型	種類	大字
425	石祠(子神社境内)	有形文化財	建造物	大久保
426	石祠(子神社境内)	有形文化財	建造物	大久保
427	石祠(子神社境内)	有形文化財	建造物	大久保
428	大久保溜池	有形文化財	建造物	大久保
429	如意輪観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大久保
430	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大久保
431	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大久保
432	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大久保
433	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大久保
434	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大久保
435	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大久保
436	酒樽を転用した神輿	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大久保
437	大久保新道の碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大久保
438	廻国供養塔	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大久保
439	廻国供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大久保
440	廻国供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大久保
441	念仏供養塔	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大久保
442	記念碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大久保
443	九石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	大久保
444	二十三夜塔	民俗文化財	有形民俗文化財	大久保
445	石祠(水神 ^ホ)	民俗文化財	有形民俗文化財	大久保
446	村東道跡	記念物	遺跡	大久保
447	村北東道跡	記念物	遺跡	大久保
448	上/段A道跡	記念物	遺跡	大久保
449	上/段B道跡	記念物	遺跡	大久保
450	上/段C道跡	記念物	遺跡	大久保
451	後沢溜池(矢木羽瀨)	有形文化財	建造物	牛久
452	堂内の木馬	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	牛久
453	願に入った跡鉄	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	牛久
454	峠A道跡	記念物	遺跡	牛久
455	峠B道跡	記念物	遺跡	牛久
456	峠観音堂遺跡	記念物	遺跡	牛久
457	上宮前道跡	記念物	遺跡	牛久
458	ゲラゴッチの足跡	その他	昔話	牛久
459	かじくそ	その他	昔話	牛久
460	西/原道跡	記念物	遺跡	境
461	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
462	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
463	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
464	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
465	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
466	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
467	懸橋	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	島上条
468	原道跡	記念物	遺跡	島上条
469	関ヶ原遺跡(徳坂路の一部)	記念物	遺跡	島上条など
470	パチ山	その他	昔話	島上条など
471	原田堰	有形文化財	建造物	天狗沢など
472	無縁塔	有形文化財	建造物	天狗沢
473	六地藏幡	有形文化財	建造物	天狗沢
474	六地藏幡	有形文化財	建造物	天狗沢
475	石祠	有形文化財	建造物	天狗沢
476	万葉塔	有形文化財	建造物	天狗沢
477	石祠(金山神社境内)	有形文化財	建造物	天狗沢

番号	名称	類型	種類	大字
478	石祠(金山神社境内)	有形文化財	建造物	天狗沢
479	五輪塔(残欠)	有形文化財	建造物	天狗沢
480	灯籠(金山神社境内)	有形文化財	建造物	天狗沢
481	石祠(金山神社境内)	有形文化財	建造物	天狗沢
482	石祠(金山神社境内)	有形文化財	建造物	天狗沢
483	石祠(金山神社境内)	有形文化財	建造物	天狗沢
484	石祠(金山神社境内)	有形文化財	建造物	天狗沢
485	石祠(金山神社境内)	有形文化財	建造物	天狗沢
486	灯籠(金山神社境内)	有形文化財	建造物	天狗沢
487	灯籠(金山神社境内)	有形文化財	建造物	天狗沢
488	金山神社拝殿	有形文化財	建造物	天狗沢
489	金山神社本殿	有形文化財	建造物	天狗沢
490	石祠	有形文化財	建造物	天狗沢
491	台座	有形文化財	建造物	天狗沢
492	燈籠	有形文化財	建造物	天狗沢
493	馬頭観音 ^ホ	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	天狗沢
494	並立六地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	天狗沢
495	聖観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	天狗沢
496	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	天狗沢
497	大日如来 ^ホ	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	天狗沢
498	馬頭観音(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	天狗沢
499	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	天狗沢
500	双体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	天狗沢
501	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	天狗沢
502	相川某先生顕彰碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	天狗沢
503	供養碑(礎石供養塔)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	天狗沢
504	記念碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	天狗沢
505	記念碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	天狗沢
506	懸橋多段	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	天狗沢
507	道標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	天狗沢
508	九石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	天狗沢
509	二十三夜塔	民俗文化財	有形民俗文化財	天狗沢
510	鷲野山	民俗文化財	有形民俗文化財	天狗沢
511	天狗沢の石尊	民俗文化財	有形民俗文化財	天狗沢
512	依原道跡	記念物	遺跡	天狗沢
513	天狗沢道跡	記念物	遺跡	天狗沢
514	上峠道跡	記念物	遺跡	天狗沢
515	上峠北道跡	記念物	遺跡	天狗沢
516	北川道跡	記念物	遺跡	天狗沢
517	清沢寺の雨乞い弁天	その他	昔話	天狗沢
518	弘法杖の水	その他	昔話	天狗沢
519	灯籠	有形文化財	建造物	竜王
520	綱坂善き木造社	有形文化財	建造物	竜王
521	聖観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
522	地蔵 ^ホ	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
523	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
524	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
525	馬頭観音(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
526	供養碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
527	廻国供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
528	供養碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
529	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
530	青面金剛(文字)	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王

表 29 丘陵地 未指定文化財一覧表 (6/6)

番号	名称	類型	種類	大字
531	石祠道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
532	庚申塔兼道標	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
533	ふた入塚古墳	記念物	遺跡	竜王
534	狐塚1号墳	記念物	遺跡	竜王
535	狐塚2号墳	記念物	遺跡	竜王
536	狐塚3号墳	記念物	遺跡	竜王
537	狐塚遺跡	記念物	遺跡	竜王
538	丸山古墳	記念物	遺跡	竜王
539	中鉢遺跡	記念物	遺跡	竜王
540	四ツ石塚古墳	記念物	遺跡	竜王
541	四ツ石遺跡	記念物	遺跡	竜王
542	両日塚北遺跡	記念物	遺跡	竜王
543	両日塚遺跡	記念物	遺跡	竜王
544	両日塚1号墳	記念物	遺跡	竜王
545	両日塚2号墳	記念物	遺跡	竜王
546	両日塚3号墳	記念物	遺跡	竜王
547	両日塚4号墳	記念物	遺跡	竜王
548	両日塚5号墳	記念物	遺跡	竜王
549	形部塚遺跡	記念物	遺跡	竜王
550	形部塚1号墳	記念物	遺跡	竜王
551	形部塚2号墳	記念物	遺跡	竜王
552	西山1号墳	記念物	遺跡	竜王
553	西山2号墳	記念物	遺跡	竜王
554	西山3号墳	記念物	遺跡	竜王
555	西山遺跡	記念物	遺跡	竜王
556	北小学校遺跡	記念物	遺跡	竜王
557	田原照寺遺跡	記念物	遺跡	竜王
558	片瀬塚	記念物	遺跡	竜王
559	秋葉神社木造社	有形文化財	建造物	竜王新町
560	石祠	有形文化財	建造物	竜王新町
561	石額(諏訪大明神)	有形文化財	建造物	竜王新町
562	石祠	有形文化財	建造物	竜王新町
563	木造社	有形文化財	建造物	竜王新町
564	木造社	有形文化財	建造物	竜王新町
565	御嶽神社銘石碑	有形文化財	建造物	竜王新町
566	石祠(稲荷)	有形文化財	建造物	竜王新町
567	石祠(稲荷)	有形文化財	建造物	竜王新町
568	諏訪神社本殿	有形文化財	建造物	竜王新町
569	諏訪神社拝殿(竜王新町)	有形文化財	建造物	竜王新町
570	赤坂稲荷本殿	有形文化財	建造物	竜王新町
571	石仏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王新町
572	竜王町民堂拝の碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王新町
573	金峰山神社銘石碑	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王新町
574	秋葉神社銘石碑	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王新町
575	龍神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王新町
576	御柱(諏訪神社境内)	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王新町
577	竜王二ツ塚2号墳	記念物	遺跡	竜王新町
578	竜王二ツ塚3号墳	記念物	遺跡	竜王新町
579	大原北遺跡	記念物	遺跡	竜王新町
580	大原遺跡	記念物	遺跡	竜王新町
581	大原南遺跡	記念物	遺跡	竜王新町
582	新町狐塚	記念物	遺跡	竜王新町
583	二ツ塚遺跡	記念物	遺跡	竜王新町

番号	名称	類型	種類	大字
584	へび塚古墳	記念物	遺跡	竜王新町
585	八幡遺跡	記念物	遺跡	竜王新町
586	氏神西遺跡	記念物	遺跡	竜王新町
587	竜王稲草	その他	生業	竜王新町など
588	岩清水	その他	昔話	竜王新町

表 30 平地(荒川扇状地) 未指定文化財一覧表(1/3)

番号	名称	類型	種類	大字
1	無碍塔	有形文化財	建造物	牛久
2	石祠	有形文化財	建造物	牛久
3	石祠	有形文化財	建造物	牛久
4	石祠	有形文化財	建造物	牛久
5	石祠	有形文化財	建造物	牛久
6	石祠(諏訪神社)	有形文化財	建造物	牛久
7	宝篋印塔(諏訪神社)	有形文化財	建造物	牛久
8	石祠(諏訪神社)	有形文化財	建造物	牛久
9	牛久諏訪神社拝殿	有形文化財	建造物	牛久
10	牛久諏訪神社本殿	有形文化財	建造物	牛久
11	崖削六面石籠	有形文化財	建造物	牛久
12	宮壇	有形文化財	建造物	牛久など
13	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	牛久
14	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	牛久
15	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	牛久
16	双体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	牛久
17	双体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	牛久
18	双体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	牛久
19	双体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	牛久
20	双体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	牛久
21	地蔵(諏訪神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	牛久
22	懸標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	牛久
23	六十八面湖照供養塔(諏訪神社)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	牛久
24	博多横山島頭徳碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	牛久
25	願国供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	牛久
26	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	牛久
27	石棒数点(諏訪神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	牛久
28	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	牛久
29	村元遺跡	記念物	遺跡	牛久
30	下宮前遺跡	記念物	遺跡	牛久
31	懸霊碑	有形文化財	建造物	境
32	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	境
33	万霊塔(神明神社)	有形文化財	建造物	境
34	忠霊碑(神明神社)	有形文化財	建造物	境
35	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	境
36	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	境
37	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	境
38	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	境
39	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	境
40	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	境
41	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	境
42	馬頭観音(神明神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	境
43	如坐輪観音(神明神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	境
44	並立六地蔵(神明神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	境
45	双体地蔵(神明神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	境
46	双体地蔵(神明神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	境
47	双体地蔵(神明神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	境
48	子安地蔵(神明神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	境
49	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	境
50	双体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	境
51	双体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	境
52	双体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	境
53	板碑(神明神社)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	境

番号	名称	類型	種類	大字
54	念仏供養塔(神明神社)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	境
55	境区の石尊山祭典 火祭	民俗文化財	無形民俗文化財	境
56	日待供養塔(神明神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	境
57	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	境
58	石祠(石尊)	民俗文化財	有形民俗文化財	境
59	秋葉山常夜燈	民俗文化財	有形民俗文化財	境
60	石祠(水神さん)	民俗文化財	有形民俗文化財	境
61	内蔵遺跡	記念物	遺跡	境
62	内蔵東遺跡	記念物	遺跡	境
63	心中石	その他	昔話	境
64	石祠	有形文化財	建造物	島上条
65	五輪塔残欠複数(下ノ坊跡)	有形文化財	建造物	島上条
66	無碍塔多数(下ノ坊跡)	有形文化財	建造物	島上条
67	石祠多数(下ノ坊跡)	有形文化財	建造物	島上条
68	万霊塔複数(下ノ坊跡)	有形文化財	建造物	島上条
69	五輪塔(慈徳院)	有形文化財	建造物	島上条
70	宝篋印塔(慈徳院)	有形文化財	建造物	島上条
71	石祠(慈徳院)	有形文化財	建造物	島上条
72	一間流造木造社	有形文化財	建造物	島上条
73	万霊塔	有形文化財	建造物	島上条
74	万霊塔	有形文化財	建造物	島上条
75	六地蔵(秋葉神社に活用)	有形文化財	建造物	島上条
76	六地蔵	有形文化財	建造物	島上条
77	くぬぎ弁井戸	有形文化財	建造物	島上条
78	石祠	有形文化財	建造物	島上条
79	三ノ堰水門・取水口	有形文化財	建造物	島上条
80	無碍塔	有形文化財	建造物	島上条
81	石祠	有形文化財	建造物	島上条
82	石祠	有形文化財	建造物	島上条
83	八角籠	有形文化財	建造物	島上条
84	石祠残欠	有形文化財	建造物	島上条
85	二ノ堰水門	有形文化財	建造物	島上条
86	二ノ堰取水口	有形文化財	建造物	島上条
87	五輪塔残欠(車地蔵)	有形文化財	建造物	島上条
88	六地蔵籠(車地蔵)	有形文化財	建造物	島上条
89	石祠(車地蔵)	有形文化財	建造物	島上条
90	石祠	有形文化財	建造物	島上条
91	石祠	有形文化財	建造物	島上条
92	石祠	有形文化財	建造物	島上条
93	五面石籠	有形文化財	建造物	島上条
94	石祠	有形文化財	建造物	島上条
95	石祠	有形文化財	建造物	島上条
96	石祠	有形文化財	建造物	島上条
97	忠霊塔(八幡神社)	有形文化財	建造物	島上条
98	石祠(八幡神社)	有形文化財	建造物	島上条
99	石祠(八幡神社)	有形文化財	建造物	島上条
100	石祠(八幡神社)	有形文化財	建造物	島上条
101	石祠残欠(八幡神社)	有形文化財	建造物	島上条
102	稲荷社(八幡神社)	有形文化財	建造物	島上条
103	八幡神社拝殿	有形文化財	建造物	島上条
104	八幡神社本殿	有形文化財	建造物	島上条
105	八幡神社石鳥居	有形文化財	建造物	島上条
106	一ノ堰	有形文化財	建造物	島上条など

表 30 平地 (荒川扇状地) 未指定文化財一覧表 (2/3)

番号	名称	類型	種類	大字
107	二ノ堰	有形文化財	建造物	島上条など
108	三ノ堰	有形文化財	建造物	島上条など
109	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
110	如意輪観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
111	六地藏(下ノ坊跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
112	馬頭観音(下ノ坊跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
113	双体地藏(下ノ坊跡)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
114	弘法大師 <small>か</small> (慈徳院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
115	大日如来 <small>か</small> (慈徳院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
116	如意輪観音(慈徳院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
117	地蔵(慈徳院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
118	竝立六地藏(慈徳院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
119	竝立七地藏(慈徳院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
120	石仏(慈徳院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
121	薬師如来(文字)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
122	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
123	竝立六地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
124	聖観音 <small>か</small>	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
125	馬頭観音(車地蔵)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
126	地蔵 <small>か</small> (車地蔵)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
127	如意輪観音(車地蔵)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
128	馬頭観音(車地蔵)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
129	地蔵(車地蔵)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
130	竝立六地藏(車地蔵)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
131	双体地藏(車地蔵)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
132	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
133	子安地藏菩薩	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
134	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	島上条
135	記念碑(通称:板地蔵)	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	島上条
136	墓標(下ノ方)	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	島上条
137	墓標(慈徳院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	島上条
138	墓標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	島上条
139	念仏供養塔	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	島上条
140	念仏供養塔	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	島上条
141	國陣碑(坂東、西国、秩父観音)	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	島上条
142	上条河原決戦之地記石碑	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	島上条
143	地蔵板碑(車地蔵)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	島上条
144	供養塔 <small>か</small> (車地蔵)	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	島上条
145	願国供養塔(車地蔵)	有形文化財	彫刻工芸品(歴史資料)	島上条
146	御旅道亀沢口起点道標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	島上条
147	道標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	島上条
148	道標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	島上条
149	甲府市上条道記(旅行案内図資料)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	島上条
150	青面金剛(慈徳院)	民俗文化財	有形民俗文化財	島上条
151	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	島上条
152	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	島上条
153	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	島上条
154	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	島上条
155	丸石道祖神(八幡神社西側)	民俗文化財	有形民俗文化財	島上条
156	丸石道祖神(八幡神社東側)	民俗文化財	有形民俗文化財	島上条
157	青面金剛(八幡神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	島上条
158	くりぬき戸(八幡神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	島上条
159	神輿を置く石(八幡神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	島上条

番号	名称	類型	種類	大字
213	六地藏輪(笠屋神社)	有形文化財	建造物	中下条
214	割田堰	有形文化財	建造物	中下条など
215	大永堰	有形文化財	建造物	中下条など
216	馬頭観音(文字・金刀比羅神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	中下条
217	馬頭観音(文字・金刀比羅神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	中下条
218	竝立六地藏(金刀比羅神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	中下条
219	弘法大師 <small>か</small> (金刀比羅神社境内)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	中下条
220	地蔵(金刀比羅神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	中下条
221	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	中下条
222	馬頭観音(正授院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	中下条
223	三体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	中下条
224	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	中下条
225	正授院の彫物	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	中下条
226	御母霊記念(金刀比羅神社)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中下条
227	念仏供養塔(金刀比羅神社境内)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中下条
228	芭蕉の句碑(金刀比羅神社)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中下条
229	墓標(金刀比羅神社境内)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中下条
230	篆書石造物	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中下条
231	旧本堂の鬼瓦(正授院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中下条
232	穴欠のある石	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中下条
233	木食と書かした碑(正授院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中下条
234	観音札所の碑(正授院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中下条
235	歌碑(正授院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中下条
236	昇格記念碑(笠屋神社)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中下条
237	記念碑(笠屋神社)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中下条
238	御山記念碑(笠屋神社)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中下条
239	庚申塔(金刀比羅神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	中下条
240	籠山大神(金刀比羅神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	中下条
241	庚申塔(坊尾院)	民俗文化財	有形民俗文化財	中下条
242	石棟	民俗文化財	有形民俗文化財	中下条
243	秋葉山御嶽山大神尊徳天皇尊徳の碑	民俗文化財	有形民俗文化財	中下条
244	石祠道祖神(松尾神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	中下条
245	大藤山大神(松尾神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	中下条
246	庚申塔(松尾神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	中下条
247	らつて参子のおたね(松尾神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	中下条
248	一ノ瀬端の水神	民俗文化財	有形民俗文化財	中下条
249	庚申塔(正授院)	民俗文化財	有形民俗文化財	中下条
250	石祠道祖神(笠屋神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	中下条
251	秋葉山石祠(笠屋神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	中下条
252	福聚山 慈眼寺(庚申)	記念物	遺跡	中下条
253	仏光山 蓮生寺(庚申)	記念物	遺跡	中下条
254	日光山 幸福院(庚申)	記念物	遺跡	中下条
255	寺前遺跡	記念物	遺跡	中下条
256	三味堂遺跡	記念物	遺跡	中下条
257	宮地遺跡	記念物	遺跡	中下条
258	不動ノ遺跡	記念物	遺跡	中下条
259	前田遺跡	記念物	遺跡	中下条
260	金ノ宮遺跡	記念物	遺跡	中下条
261	西町遺跡	記念物	遺跡	中下条
262	日ノ跡遺跡	記念物	遺跡	中下条
263	天正の松の切開かぶ(坊尾院)	記念物	遺跡	中下条
264	旧松尾神社のけやき	記念物	植物	中下条
265	桶ふり桶(伝承)	その他	昔話	中下条

表 30 平地 (荒川扇状地) 未指定文化財一覧表 (3/3)

番号	名称	類型	種類	大字
266	市川男と御女(敷島町誌)	その他	昔話	中下巻など
267	五輪塔残欠	有形文化財	建造物	大下条
268	六地藏廻(宝珠寺)	有形文化財	建造物	大下条
269	万道塔(宝珠寺)	有形文化財	建造物	大下条
270	六地藏廻残欠(宝珠寺)	有形文化財	建造物	大下条
271	六地藏廻残欠(宝珠寺)	有形文化財	建造物	大下条
272	五輪塔残欠(宝珠寺)	有形文化財	建造物	大下条
273	下条第一堰	有形文化財	建造物	大下条
274	弘法大師か	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大下条
275	不明石仏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大下条
276	双体地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大下条
277	十三像か	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大下条
278	十三像か	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大下条
279	地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大下条
280	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大下条
281	十三像か	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大下条
282	十三像か	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大下条
283	並立六地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大下条
284	二ノ腹沿いの石造物群	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大下条
285	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	大下条
286	願成道遺標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大下条
287	願国供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大下条
288	念仏供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大下条
289	願国供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大下条
290	念仏供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大下条
291	願国供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大下条
292	願日塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大下条
293	念仏供養塔(宝珠寺)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	大下条
294	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	大下条
295	秋葉玉尊金毘羅常夜灯	民俗文化財	有形民俗文化財	大下条
296	観了(庵寺)	記念物	遺跡	大下条
297	金の尾遺跡	記念物	遺跡	大下条
298	深田A遺跡	記念物	遺跡	大下条
299	深田B遺跡	記念物	遺跡	大下条
300	深田C遺跡	記念物	遺跡	大下条
301	末法遺跡	記念物	遺跡	大下条
302	御岳田遺跡	記念物	遺跡	大下条
303	泉尻A遺跡	記念物	遺跡	大下条
304	泉尻B遺跡	記念物	遺跡	大下条
305	大下条第1遺跡	記念物	遺跡	大下条
306	大下条第2遺跡	記念物	遺跡	大下条
307	大下条第3遺跡	記念物	遺跡	大下条
308	松ノ尾遺跡	記念物	遺跡	大下条
309	長塚神社拝殿	有形文化財	建造物	長塚
310	長塚神社本殿	有形文化財	建造物	長塚
311	長塚稲荷社	有形文化財	建造物	長塚
312	不明石造物(織立てか)	有形文化財	建造物	長塚
313	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	長塚
314	村上A遺跡	記念物	遺跡	長塚
315	村上B遺跡	記念物	遺跡	長塚
316	村上C遺跡	記念物	遺跡	長塚
317	村上D遺跡	記念物	遺跡	長塚
318	村上E遺跡	記念物	遺跡	長塚

番号	名称	類型	種類	大字
319	村上G遺跡	記念物	遺跡	長塚
320	村上G遺跡	記念物	遺跡	長塚
321	中沢A遺跡	記念物	遺跡	長塚
322	中沢B遺跡	記念物	遺跡	長塚
323	中沢C遺跡	記念物	遺跡	長塚
324	中沢D遺跡	記念物	遺跡	長塚
325	長塚東遺跡	記念物	遺跡	長塚
326	長塚東遺跡	記念物	遺跡	長塚

表 31 平地 (塩川周辺) 未指定文化財一覧表

番号	名称	類型	種類	大字
1	田畑稲荷神社拝殿	有形文化財	建造物	宇津谷
2	稲荷石祠(田畑稲荷神社)	有形文化財	建造物	宇津谷
3	稲荷石祠(田畑稲荷神社)	有形文化財	建造物	宇津谷
4	石灯籠(田畑稲荷神社)	有形文化財	建造物	宇津谷
5	石灯籠(田畑稲荷神社)	有形文化財	建造物	宇津谷
6	石稲荷(田畑稲荷神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
7	石稲荷(田畑稲荷神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
8	宝珠(田畑稲荷神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	宇津谷
9	魚旗供養塔	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	宇津谷
10	豪神(田畑稲荷神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
11	石祠道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
12	二十二夜塔	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
13	鷹山	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
14	二十三夜塔(法喜院)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
15	日天子尊石祠(法喜院)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
16	庚申塔(法喜院)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
17	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
18	石祠道祖神など(米沢)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
19	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
20	豪神(田畑稲荷神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	宇津谷
21	田畑稲荷村寄場跡	記念物	遺跡	宇津谷
22	双葉かやみ堤	記念物	遺跡	宇津谷
23	双葉かやみ堤	記念物	遺跡	宇津谷
24	双葉かやみ堤	記念物	遺跡	宇津谷
25	一橋陣屋跡	記念物	遺跡	宇津谷
26	双葉5号古墳	記念物	遺跡	宇津谷
27	延命山 地蔵院(庵寺)	記念物	遺跡	志田
28	見性山 興禅寺(庵寺)	記念物	遺跡	志田
29	お首石古墳	記念物	遺跡	志田
30	間々下遺跡	記念物	遺跡	志田

表 32 平地(釜無川扇状地) 未指定文化財一覧表 (1/6)

番号	名称	類型	種別	大字
1	石祠	有形文化財	建造物	竜王
2	石祠	有形文化財	建造物	竜王
3	旧信玄権願柱	有形文化財	建造物	竜王
4	名称不明の水門	有形文化財	建造物	竜王
5	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	竜王
6	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	竜王
7	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	竜王
8	石祠(神明神社)	有形文化財	建造物	竜王
9	石祠(武田社)	有形文化財	建造物	竜王
10	石灯籠(神明神社)	有形文化財	建造物	竜王
11	石灯籠(神明神社)	有形文化財	建造物	竜王
12	六地藏龕(安楽寺)	有形文化財	建造物	竜王
13	六地藏龕(安楽寺)	有形文化財	建造物	竜王
14	石祠(安楽寺)	有形文化財	建造物	竜王
15	蒙酒塔(安楽寺)	有形文化財	建造物	竜王
16	万葉塔(安楽寺)	有形文化財	建造物	竜王
17	聖牛	有形文化財	建造物	竜王
18	聖牛	有形文化財	建造物	竜王
19	聖牛	有形文化財	建造物	竜王
20	石祠	有形文化財	建造物	竜王
21	石祠	有形文化財	建造物	竜王
22	石祠	有形文化財	建造物	竜王
23	玉樋村第三集水暗渠	有形文化財	建造物	竜王
24	第一集水暗渠	有形文化財	建造物	竜王
25	玉樋用水第一集水暗渠	有形文化財	建造物	竜王
26	上堰頭工	有形文化財	建造物	竜王
27	蒙酒塔(慈照寺)	有形文化財	建造物	竜王
28	六地藏龕(慈照寺)	有形文化財	建造物	竜王
29	六地藏龕(慈照寺)	有形文化財	建造物	竜王
30	石祠(慈照寺)	有形文化財	建造物	竜王
31	茶茶塚(慈照寺)	有形文化財	建造物	竜王
32	六地藏龕(慈照寺踏切)	有形文化財	建造物	竜王
33	石祠道祖神 <small>カ</small>	有形文化財	建造物	竜王
34	用水路(龍王用水)	有形文化財	建造物	竜王
35	灯籠(三社神社)	有形文化財	建造物	竜王
36	灯籠(三社神社)	有形文化財	建造物	竜王
37	石祠(三社神社)	有形文化財	建造物	竜王
38	石祠(三社神社)	有形文化財	建造物	竜王
39	石祠(三社神社)	有形文化財	建造物	竜王
40	三社神社拝殿	有形文化財	建造物	竜王
41	五輪塔残欠(妙見堂)	有形文化財	建造物	竜王
42	五輪塔残欠(妙見堂)	有形文化財	建造物	竜王
43	石祠残欠(妙見堂)	有形文化財	建造物	竜王
44	石祠残欠(妙見堂)	有形文化財	建造物	竜王
45	五輪塔	有形文化財	建造物	竜王
46	石祠	有形文化財	建造物	竜王
47	石祠	有形文化財	建造物	竜王
48	台座	有形文化財	建造物	竜王
49	石祠	有形文化財	建造物	竜王
50	石祠	有形文化財	建造物	竜王
51	石祠	有形文化財	建造物	竜王
52	石祠	有形文化財	建造物	竜王
53	四谷の妙見堂	有形文化財	建造物	竜王

番号	名称	類型	種別	大字
54	大慈院本堂杉戸絵	有形文化財	美術工芸品(絵画)	竜王
55	並立六地藏(安楽寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
56	地藏(安楽寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
57	四体地藏(安楽寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
58	四体地藏(安楽寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
59	四体地藏(安楽寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
60	双体地藏(安楽寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
61	双体地藏(安楽寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
62	如意輪観音(安楽寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
63	如意輪観音(安楽寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
64	聖観音(安楽寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
65	聖観音(安楽寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
66	如意輪観音 <small>ア</small> (安楽寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
67	如意輪観音 <small>イ</small> (安楽寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
68	地藏 <small>カ</small>	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
69	地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
70	地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
71	地藏(三社神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
72	地藏(大慈院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
73	地藏(妙見堂)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
74	地藏(妙見堂)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
75	地藏(妙見堂)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
76	地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
77	聖観音(馬頭 <small>カ</small>)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
78	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
79	石仏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
80	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
81	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
82	三体地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
83	不明石仏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
84	不明石仏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
85	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
86	馬頭観音	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王
87	竜王村その他文書	有形文化財	美術工芸品(書跡等)	竜王
88	無名氏書状(第一集水暗渠)	有形文化財	美術工芸品(書跡等)	竜王
89	竜王村絵図(窪田家文書)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
90	堤防記念碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
91	武田信玄公墓室の地記記念碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
92	墓標 <small>カ</small>	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
93	墓標 <small>キ</small>	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
94	墓標(安楽寺)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
95	墓標 <small>ク</small>	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
96	上堰頭工記念碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
97	記念碑(慈照寺)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
98	記念碑(慈照寺)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
99	記念碑(慈照寺)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
100	願彰碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
101	墓碑(妙見堂)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
102	台座(妙見堂)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
103	墓標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
104	墓標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
105	墓標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
106	墓標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王

表 32 平地(釜無川扇状地) 未指定文化財一覧表(2/6)

番号	名称	類型	種別	大字
107	旧念仏講中記念碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
108	久保田家跡の碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王
109	信玄塚の水神碑	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
110	羅神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
111	お水神さん	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
112	文字道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
113	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
114	夕抜き井戸	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
115	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
116	その他道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
117	石尊大権現	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
118	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
119	秋葉山灯籠	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
120	石尊山灯籠	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
121	常夜燈(秋葉山a)	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
122	文字道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
123	双体道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
124	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
125	二十三夜塔	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
126	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
127	石尊大権現	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
128	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
129	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
130	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
131	双体道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
132	文字道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
133	灯籠(秋葉山a)	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
134	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王
135	水防設備保安林	記念物	植物	竜王
136	鑛石	記念物	地質鉱物	竜王
137	おみゆきさん(御幸祭)	民俗文化財	無形民俗文化財	竜王など
138	ふるさと竜王まつり	民俗文化財	無形民俗文化財	竜王など
139	御幸道	記念物	遺跡	竜王など
140	竜王河原宿	記念物	遺跡	竜王
141	竜王山 乗蓮寺(廃寺)	記念物	遺跡	竜王
142	大乗院(廃寺)	記念物	遺跡	竜王
143	竜宝院(廃寺)	記念物	遺跡	竜王
144	天王院(廃寺)	記念物	遺跡	竜王
145	徳記所跡(大慈院境内)	記念物	遺跡	竜王
146	古塚古墳	記念物	遺跡	竜王
147	大慈院遺跡	記念物	遺跡	竜王
148	河家塚	記念物	遺跡	竜王
149	ネニ塚	記念物	遺跡	竜王
150	霞堤	記念物	遺跡	竜王
151	水喰穴	その他	昔話	竜王
152	みたけ女と市川(竜王町史)	その他	昔話	竜王
153	鑛石(昔話)	その他	昔話	竜王
154	釜無川の洪水伝説	その他	昔話	竜王など
155	石祠(称念寺)	有形文化財	建造物	竜王新町
156	石祠(称念寺)	有形文化財	建造物	竜王新町
157	石祠(称念寺)	有形文化財	建造物	竜王新町
158	石造物(称念寺)	有形文化財	建造物	竜王新町
159	徳上人名号碑(称念寺)	有形文化財	建造物	竜王新町

番号	名称	類型	種別	大字
160	新町不動堂	有形文化財	建造物	竜王新町
161	地蔵(称念寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王新町
162	馬頭観音(文字・称念寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王新町
163	新町厄除不動尊	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	竜王新町
164	葛藤a(称念寺)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王新町
165	百万遍供養塔(称念寺)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王新町
166	山縣富言宅跡記念碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王新町
167	明治天皇休息記念碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	竜王新町
168	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王新町
169	青面金剛(称念寺)	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王新町
170	石祠道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王新町
171	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	竜王新町
172	旧甲州道中	記念物	遺跡	竜王新町など
173	宝幢山 光壽寺(廃寺)	記念物	遺跡	竜王新町
174	少林山 新慶寺(廃寺)	記念物	遺跡	竜王新町
175	地蔵院(廃寺)	記念物	遺跡	竜王新町
176	模範土跡	記念物	遺跡	竜王新町
177	神田遺跡	記念物	遺跡	竜王新町
178	元免許遺跡	記念物	遺跡	竜王新町
179	東裏遺跡	記念物	遺跡	竜王新町
180	六地藏輔(金剛寺)	有形文化財	建造物	藤原
181	灯籠(金剛寺)	有形文化財	建造物	藤原
182	灯籠(金剛寺)	有形文化財	建造物	藤原
183	石祠(金剛寺)	有形文化財	建造物	藤原
184	石祠(金剛寺)	有形文化財	建造物	藤原
185	万葉塔(金剛寺)	有形文化財	建造物	藤原
186	五輪塔残欠(山縣神社)	有形文化財	建造物	藤原
187	石祠(山縣神社)	有形文化財	建造物	藤原
188	石祠(山縣神社)	有形文化財	建造物	藤原
189	石祠(山縣神社)	有形文化財	建造物	藤原
190	忠霊塔(山縣神社)	有形文化財	建造物	藤原
191	塚塚(山縣神社)	有形文化財	建造物	藤原
192	文殊権僧鳥居(法久寺)	有形文化財	建造物	藤原
193	常夜燈(法久寺)	有形文化財	建造物	藤原
194	常夜燈(法久寺)	有形文化財	建造物	藤原
195	五輪塔(隆法寺)	有形文化財	建造物	藤原
196	宝篋印塔(隆法寺)	有形文化財	建造物	藤原
197	六地藏輔(隆法寺)	有形文化財	建造物	藤原
198	石祠(隆法寺)	有形文化財	建造物	藤原
199	石祠(隆法寺)	有形文化財	建造物	藤原
200	石祠(隆法寺)	有形文化財	建造物	藤原
201	石祠	有形文化財	建造物	藤原
202	石祠(藤原八幡宮)	有形文化財	建造物	藤原
203	石祠(藤原八幡宮)	有形文化財	建造物	藤原
204	石祠(藤原八幡宮)	有形文化財	建造物	藤原
205	石祠(藤原八幡宮)	有形文化財	建造物	藤原
206	灯籠(藤原八幡宮)	有形文化財	建造物	藤原
207	灯籠(藤原八幡宮)	有形文化財	建造物	藤原
208	五輪塔残欠(藤原八幡宮)	有形文化財	建造物	藤原
209	石祠(藤原八幡宮)	有形文化財	建造物	藤原
210	石祠	有形文化財	建造物	藤原
211	石祠	有形文化財	建造物	藤原
212	石祠残欠(藤原八幡宮)	有形文化財	建造物	藤原

表 32 平地(釜無川扇状地) 未指定文化財一覧表 (3/6)

番号	名称	類型	種類	大字
213	四ヶ村堰	有形文化財	建造物	篠原など
214	三井家住宅	有形文化財	建造物	篠原
215	篠原の七面堂(本妙寺)	有形文化財	建造物	篠原
216	八幡神社本殿	有形文化財	建造物	篠原
217	八幡神社拝殿	有形文化財	建造物	篠原
218	山県大次生誕地の碑	有形文化財	建造物	篠原
219	古村稲荷堂(法久寺)	有形文化財	建造物	篠原
220	山県大次関係資料	有形文化財	美術工芸品(書跡等)	篠原
221	篠原三井家文書	有形文化財	美術工芸品(書跡等)	篠原
222	双体地蔵(山縣神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
223	山縣大次銅像(山縣神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
224	並立六地蔵(隆法寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
225	双体地蔵(隆法寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
226	双体地蔵(隆法寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
227	地蔵(隆法寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
228	地蔵(隆法寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
229	並立六地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
230	並立六地蔵	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
231	馬頭観音(本妙寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
232	並立六地蔵(本妙寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
233	地蔵か(篠原八幡宮)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
234	双体地蔵(篠原八幡宮)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
235	288遺跡(山縣神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
236	墓標(山縣神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
237	墓標(山縣神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
238	山縣神社創建の記念碑	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
239	記念碑(山縣神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
240	歌(句)碑(山縣神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
241	歌(句)碑(山縣神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
242	日蓮遺忌塔(法久寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
243	日蓮記念碑(法久寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
244	日蓮記念碑(法久寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
245	題目塔(法久寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
246	三井喜久馬氏顕彰碑	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
247	題目板碑(本妙寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
248	題目板碑(本妙寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
249	供養塔(本妙寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
250	題目塔か(本妙寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
251	墓標か(本妙寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
252	歌碑か(本妙寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
253	文教発祥の地記念碑	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
254	道標	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
255	道標	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
256	諏訪大明神の記念碑	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
257	記念碑	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
258	礼慶寺跡の墓石群	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
259	榎の本記念碑	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	篠原
260	石祠道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原
261	その他道祖神か	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原
262	秋葉山常夜燈	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原
263	石祠道祖神か	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原
264	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原
265	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原

番号	名称	類型	種類	大字
266	山宮司	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原
267	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原
268	灯籠(秋葉山か)	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原
269	石祠道祖神か	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原
270	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原
271	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原
272	石祠道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原
273	妙正大明神の石祠	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原
274	秋葉山常夜灯	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原
275	石祠道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原
276	文字道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	篠原
277	上篠原の道祖神まつり	民俗文化財	無形民俗文化財	篠原
278	榎花大式字間まつり	民俗文化財	無形民俗文化財	篠原
279	竜沢山 向玉院(隆寺)	記念物	遺跡	篠原
280	篠原墓址	記念物	遺跡	篠原
281	明寺前遺跡	記念物	遺跡	篠原
282	伊勢宮跡	記念物	遺跡	篠原
283	古村遺跡	記念物	遺跡	篠原
284	大明神遺跡	記念物	遺跡	篠原
285	古村東遺跡	記念物	遺跡	篠原
286	古村南遺跡	記念物	遺跡	篠原
287	礼慶寺跡	記念物	遺跡	篠原
288	新居東遺跡	記念物	遺跡	篠原
289	榎河原遺跡	記念物	遺跡	篠原
290	向玉院跡	記念物	遺跡	篠原
291	龍澤遺跡	記念物	遺跡	篠原
292	龍澤	記念物	遺跡	篠原(法久)
293	篠原狐	その他	言話	篠原
294	旧実元橋の欄干	有形文化財	建造物	西八幡
295	旧実元橋の欄干	有形文化財	建造物	西八幡
296	旧実元橋の欄干	有形文化財	建造物	西八幡
297	玉樋用水第二集水暗渠	有形文化財	建造物	西八幡
298	第二集水暗渠	有形文化財	建造物	西八幡
299	新水用排水樋管	有形文化財	建造物	西八幡
300	石祠道祖神	有形文化財	建造物	西八幡
301	石祠(旧花輪家屋敷跡)	有形文化財	建造物	西八幡
302	石祠(旧花輪家屋敷跡)	有形文化財	建造物	西八幡
303	石祠(旧花輪家屋敷跡)	有形文化財	建造物	西八幡
304	石灯臺(忠安寺)	有形文化財	建造物	西八幡
305	石祠(八王子大神社)	有形文化財	建造物	西八幡
306	石祠(八王子大神社)	有形文化財	建造物	西八幡
307	石祠(八王子大神社)	有形文化財	建造物	西八幡
308	石祠(八王子大神社)	有形文化財	建造物	西八幡
309	石祠(八王子大神社)	有形文化財	建造物	西八幡
310	石祠(八王子大神社)	有形文化財	建造物	西八幡
311	石祠(八王子大神社)	有形文化財	建造物	西八幡
312	石祠(八王子大神社)	有形文化財	建造物	西八幡
313	石祠道祖神	有形文化財	建造物	西八幡
314	五輪塔残欠(常照院)	有形文化財	建造物	西八幡
315	万重塔(常照院)	有形文化財	建造物	西八幡
316	観音講石造物か(常照院)	有形文化財	建造物	西八幡
317	観音講石造物か(常照院)	有形文化財	建造物	西八幡
318	六地蔵(常照院)	有形文化財	建造物	西八幡

表 32 平地(釜無川扇状地) 未指定文化財一覧表(4/6)

番号	名称	類型	種類	大字
319	六地藏龕(常照院)	有形文化財	建造物	西八幡
320	旧家の長屋門	有形文化財	建造物	西八幡
321	旧家の蔵	有形文化財	建造物	西八幡
322	旧家の蔵	有形文化財	建造物	西八幡
323	蒙酒塔(成道院)	有形文化財	建造物	西八幡
324	六地藏龕(成道院)	有形文化財	建造物	西八幡
325	六地藏龕(成道院)	有形文化財	建造物	西八幡
326	六地藏龕(成道院)	有形文化財	建造物	西八幡
327	石祠(成道院)	有形文化財	建造物	西八幡
328	石祠(成道院)	有形文化財	建造物	西八幡
329	石祠(成道院)	有形文化財	建造物	西八幡
330	石祠(成道院)	有形文化財	建造物	西八幡
331	石祠(成道院)	有形文化財	建造物	西八幡
332	新海大明神の石祠(八幡神社)	有形文化財	建造物	西八幡
333	石祠(八幡神社)	有形文化財	建造物	西八幡
334	忠霊塔(八幡神社)	有形文化財	建造物	西八幡
335	旧田額(八幡神社)	有形文化財	建造物	西八幡
336	中八幡の熊野権現	有形文化財	建造物	西八幡
337	旧家	有形文化財	建造物	西八幡
338	上堰	有形文化財	建造物	西八幡など
339	忠安寺鐘樓門	有形文化財	建造物	西八幡
340	八王子神社・若宮八幡神社拝殿	有形文化財	建造物	西八幡
341	八王子神社・若宮八幡神社本殿	有形文化財	建造物	西八幡
342	中八幡の熊野権現	有形文化財	建造物	西八幡
343	下八幡薬師如來(常照院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	西八幡
344	地蔵(常照院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	西八幡
345	馬頭観音(常照院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	西八幡
346	双体地蔵(常照院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	西八幡
347	薬師如來(常照院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	西八幡
348	観音菩薩(文字)(常照院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	西八幡
349	並立六地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	西八幡
350	石造子安地蔵(成道院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	西八幡
351	並立六地藏(成道院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	西八幡
352	並立六地藏(成道院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	西八幡
353	並立六地藏(成道院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	西八幡
354	木造子安地蔵(成道院)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	西八幡
355	新海家文書	有形文化財	美術工芸品(書翰等)	西八幡
356	竜王町所蔵西八幡村文書	有形文化財	美術工芸品(書翰等)	西八幡
357	西八幡村絵図(歴史図書館蔵)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	西八幡
358	玉輪村用水改良の記念碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	西八幡
359	供養碑(鳥獣供養塔)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	西八幡
360	願文板碑(忠安寺)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	西八幡
361	説法十二百座(忠安寺)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	西八幡
362	墓標(常照院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	西八幡
363	願文供養塔(常照院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	西八幡
364	願文供養塔(常照院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	西八幡
365	歌(句)碑(成道院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	西八幡
366	念仏供養塔(成道院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	西八幡
367	願文供養塔(成道院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	西八幡
368	願文供養塔(成道院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	西八幡
369	供養碑(成道院)	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	西八幡
370	歌碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	西八幡
371	歌碑	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	西八幡

番号	名称	類型	種類	大字
372	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	西八幡
373	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	西八幡
374	石尊大権現	民俗文化財	有形民俗文化財	西八幡
375	石祠道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	西八幡
376	石祠道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	西八幡
377	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	西八幡
378	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	西八幡
379	石祠(常照院)	民俗文化財	有形民俗文化財	西八幡
380	石祠(常照院)	民俗文化財	有形民俗文化財	西八幡
381	石祠(常照院)	民俗文化財	有形民俗文化財	西八幡
382	石祠(常照院)	民俗文化財	有形民俗文化財	西八幡
383	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	西八幡
384	三峯神社の碑(八幡神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	西八幡
385	御岳大神の碑(八幡神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	西八幡
386	御岳大神の碑(八幡神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	西八幡
387	おたや壺	記念物	遺跡	西八幡
388	下八幡1区の道祖神まつり	民俗文化財	無形民俗文化財	西八幡
389	戸田街道	記念物	遺跡	西八幡など
390	桂林山 久光寺(塚守)	記念物	遺跡	西八幡
391	阿弥兜堂(塚守)	記念物	遺跡	西八幡
392	甲府電軌車庫(ポロ電)	記念物	遺跡	西八幡など
393	信玄遺跡	記念物	遺跡	西八幡
394	宮寺道跡	記念物	遺跡	西八幡
395	梅の木道跡	記念物	遺跡	西八幡
396	富安寺跡	記念物	遺跡	西八幡
397	飯沼氏屋敷	記念物	遺跡	西八幡
398	法印村前南道跡	記念物	遺跡	西八幡
399	高札前塚	記念物	遺跡	西八幡
400	やはいも	その他	産業	西八幡
401	地方病の話	その他	昔話	西八幡など
402	下堰	有形文化財	建造物	玉川など
403	旧長谷川家住宅	有形文化財	建造物	玉川
404	旧長谷川家長屋門	有形文化財	建造物	玉川
405	五輪塔残欠(玉川庵寺)	有形文化財	建造物	玉川
406	無縁塔(玉川庵寺)	有形文化財	建造物	玉川
407	無縁塔(玉川庵寺)	有形文化財	建造物	玉川
408	万葉塔(玉川庵寺)	有形文化財	建造物	玉川
409	万葉塔(玉川庵寺)	有形文化財	建造物	玉川
410	五輪塔残欠(瑞良寺)	有形文化財	建造物	玉川
411	五輪塔残欠(瑞良寺)	有形文化財	建造物	玉川
412	石祠(瑞良寺)	有形文化財	建造物	玉川
413	石祠(瑞良寺)	有形文化財	建造物	玉川
414	万葉塔(瑞良寺)	有形文化財	建造物	玉川
415	若一王子神社拝殿	有形文化財	建造物	玉川
416	若一王子神社本殿	有形文化財	建造物	玉川
417	若一王子神社石鳥居	有形文化財	建造物	玉川
418	五輪塔残欠(若一王子神社)	有形文化財	建造物	玉川
419	石祠(若一王子神社)	有形文化財	建造物	玉川
420	万葉塔(養生寺)	有形文化財	建造物	玉川
421	多数の五輪塔(御崎神社遺跡)	有形文化財	建造物	玉川
422	石祠(御崎神社遺跡)	有形文化財	建造物	玉川
423	地蔵(玉川庵寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	玉川
424	地蔵(玉川庵寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	玉川

表 32 平地(釜無川扇状地) 未指定文化財一覧表 (5/6)

番号	名称	類型	種類	大字
425	馬頭観音(玉川庵寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	玉川
426	並立六地藏(玉川庵寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	玉川
427	並立六地藏(玉川庵寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	玉川
428	地藏(瑞良寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	玉川
429	十一面観音(瑞良寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	玉川
430	如意輪観音(瑞良寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	玉川
431	子安地藏(蓮生寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	玉川
432	長谷川家文書(燕立読書館蔵)	有形文化財	美術工芸品(書跡等)	玉川
433	瑞良寺文書	有形文化財	美術工芸品(書跡等)	玉川
434	懸標(玉川庵寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	玉川
435	懸標(玉川庵寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	玉川
436	供養碑(玉川庵寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	玉川
437	歌(句碑)(瑞良寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	玉川
438	歌(句碑)(瑞良寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	玉川
439	題目塔(蓮生寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	玉川
440	玉川町神楽殿(瑞良寺読書館蔵)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	玉川
441	石祠遺祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	玉川
442	石祠遺祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	玉川
443	庚申塔	民俗文化財	有形民俗文化財	玉川
444	丸石遺祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	玉川
445	秋葉神社石祠	民俗文化財	有形民俗文化財	玉川
446	秋葉大権現常夜灯	民俗文化財	有形民俗文化財	玉川
447	廿六夜塔	民俗文化財	有形民俗文化財	玉川
448	玉川東区の遺祖神まつり	民俗文化財	無形民俗文化財	玉川
449	玉川の遺祖神まつり	民俗文化財	無形民俗文化財	玉川
450	市川道	記念物	遺跡	玉川など
451	円通庵(麻寺)	記念物	遺跡	玉川
452	玉川山 淨隆寺(庵寺)	記念物	遺跡	玉川
453	塚の内	記念物	遺跡	玉川
454	御崎神社遺跡	記念物	遺跡	玉川
455	玉川庵寺	記念物	遺跡	玉川
456	霞堤	記念物	遺跡	玉川
457	霞堤	記念物	遺跡	玉川
458	霞堤	記念物	遺跡	玉川
459	霞堤	記念物	遺跡	玉川
460	霞堤	記念物	遺跡	玉川
461	万靈塔(善応寺)	有形文化財	建造物	万才
462	摩利支天 草分帳(源訪神社)	有形文化財	建造物	万才
463	石祠(神明神社本殿)	有形文化財	建造物	万才
464	石祠	有形文化財	建造物	万才
465	石祠残欠	有形文化財	建造物	万才
466	石祠残欠	有形文化財	建造物	万才
467	石祠(圓立寺)	有形文化財	建造物	万才
468	地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	万才
469	地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	万才
470	並立七地藏	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	万才
471	聖観音(圓立寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	万才
472	凡馬(東山寺の境内に祀れる馬)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	万才
473	野田 孝氏顯彰碑(源訪神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	万才
474	忠魂碑(源訪神社)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	万才
475	懸標	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	万才
476	懸標	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	万才
477	題目板碑(圓立寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	万才

番号	名称	類型	種類	大字
478	日蓮道印碑(圓立寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	万才
479	歌(句碑)(圓立寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	万才
480	題目供養塔(圓立寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	万才
481	日蓮記念碑(圓立寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	万才
482	日蓮記念碑(圓立寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	万才
483	題目塔(圓立寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	万才
484	石祠遺祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	万才
485	秋葉山石祠	民俗文化財	有形民俗文化財	万才
486	秋葉山廣前燈	民俗文化財	有形民俗文化財	万才
487	文字遺祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	万才
488	懸標(玉川庵寺)	民俗文化財	有形民俗文化財	万才
489	石祠(松尾神社)	有形文化財	建造物	万才
490	石祠(松尾神社)	有形文化財	建造物	万才
491	石祠(松尾神社)	有形文化財	建造物	万才
492	石祠(松尾神社)	有形文化財	建造物	万才
493	常夜灯(松尾神社)	有形文化財	建造物	万才
494	名取松尾神社拝殿	有形文化財	建造物	万才
495	名取松尾神社本殿	有形文化財	建造物	万才
496	御嶽神社碑(松尾神社)	民俗文化財	有形民俗文化財	万才
497	川河原遺跡	記念物	遺跡	名取
498	下河原遺跡	記念物	遺跡	名取
499	石祠	有形文化財	建造物	富竹新田
500	五輪塔(大広寺)	有形文化財	建造物	富竹新田
501	無縁塔(大広寺)	有形文化財	建造物	富竹新田
502	石祠(大広寺)	有形文化財	建造物	富竹新田
503	石祠(大広寺)	有形文化財	建造物	富竹新田
504	石祠(大広寺)	有形文化財	建造物	富竹新田
505	万靈塔(大広寺)	有形文化財	建造物	富竹新田
506	灯籠(大広寺)	有形文化財	建造物	富竹新田
507	灯籠(大広寺)	有形文化財	建造物	富竹新田
508	灯籠(大広寺)	有形文化財	建造物	富竹新田
509	石祠	有形文化財	建造物	富竹新田
510	石祠	有形文化財	建造物	富竹新田
511	四角柱の石造物	有形文化財	建造物	富竹新田
512	無縁塔	有形文化財	建造物	富竹新田
513	無縁塔	有形文化財	建造物	富竹新田
514	無縁塔	有形文化財	建造物	富竹新田
515	無縁塔	有形文化財	建造物	富竹新田
516	無縁塔	有形文化財	建造物	富竹新田
517	石祠	有形文化財	建造物	富竹新田
518	富竹新田の郷倉	有形文化財	建造物	富竹新田
519	神明神社拝殿	有形文化財	建造物	富竹新田
520	子午地蔵(玄廣寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	富竹新田
521	垂封じ地蔵(玄廣寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	富竹新田
522	保阪家文書(県指定以外)	有形文化財	美術工芸品(書跡等)	富竹新田
523	圓国供養塔(玄廣寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	富竹新田
524	題目塔(大広寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	富竹新田
525	懸標(大広寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	富竹新田
526	題目塔(大広寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	富竹新田
527	題目塔(大広寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	富竹新田
528	題目塔(大広寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	富竹新田
529	題目塔(大広寺)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	富竹新田
530	懸標	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	富竹新田

表 32 平地（釜無川扇状地） 未指定文化財一覧表（6/6）

番号	名称	類型	種別	大字
531	墓標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	富竹新田
532	墓標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	富竹新田
533	墓標	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	富竹新田
534	露神(玄蔵寺)	民俗文化財	有形民俗文化財	富竹新田
535	護国寺賀神主の碑(玄蔵寺)	民俗文化財	有形民俗文化財	富竹新田
536	奉譲入大龍王の碑(玄蔵寺)	民俗文化財	有形民俗文化財	富竹新田
537	石祠道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	富竹新田
538	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	富竹新田
539	丸石道祖神	民俗文化財	有形民俗文化財	富竹新田
540	富竹新田3区の道祖神まつり	民俗文化財	無形民俗文化財	富竹新田
541	光明院(蔵寺)	記念物	遺跡	富竹新田
542	伊勢河原遺跡	記念物	遺跡	富竹新田
543	中耕地遺跡	記念物	遺跡	富竹新田
544	下北裏遺跡	記念物	遺跡	富竹新田
545	大明神河原遺跡	記念物	遺跡	富竹新田
546	東耕地遺跡	記念物	遺跡	富竹新田

表 33 市（合併前の旧町村含む）刊行物一覧（1/2）

書名	副題	発行年(西暦)
塩崎村志	—	昭和2年(1927)
玉幡村誌	—	昭和28年(1953)
龍王村史	—	昭和30年(1955)
敷島町誌	—	昭和41年(1966)
龍王町史	—	昭和51年(1976)
双葉町誌	—	昭和52年(1977)
宇津棟遺跡	双葉町埋蔵文化財報告書第1集	昭和59年(1984)
山梨県敷島町大塚古墳	—	昭和61年(1986)
天狗沢瓦窯跡発掘調査 概報	—	昭和63年(1988)
竜王町の遺跡	竜王町遺跡詳細分布調査報告書	昭和63年(1988)
天狗沢瓦窯跡発掘調査 報告書	—	平成2年(1990)
竜王町の人とくらし 水と緑の風景	—	平成2年(1990)
敷島町の文化財(A4)	—	平成3年(1991)
金の尾遺跡2	敷島町埋蔵文化財報告 第1集	平成3年(1991)
第2回 敷島歴史フォーラム 天狗沢瓦窯跡と古代甲斐国	—	平成4年(1992)
双葉町の石造物	—	平成4年(1992)
遺跡詳細分布調査報告書	敷島町埋蔵文化財報告 第4集	平成6年(1994)
松ノ尾遺跡1	敷島町文化財調査報告 第5集	平成8年(1996)
金の尾遺跡5	敷島町文化財調査報告 第6集	平成9年(1997)
赤坂ソフトパーク・特別養護老人ホーム開発に伴う埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書	竜王町埋蔵文化財発掘調査報告書第1集	平成9年(1997)
遺跡詳細分布調査報告書	双葉町埋蔵文化財報告書第2集	平成9年(1997)
双葉町文化財要覧	—	平成10年(1998)
山梨県指定史跡 中鉢塚古墳保存整備報告書	竜王町埋蔵文化財発掘調査報告書第2集	平成11年(1999)
西山1号墳発掘調査報告書	竜王町埋蔵文化財発掘調査報告書第3集	平成11年(1999)
金の尾遺跡6	敷島町文化財調査報告 第7集	平成11年(1999)
御岳田遺跡1	敷島町文化財調査報告 第8集	平成11年(1999)
敷島町の文化財(B5)	—	平成13年(2001)
古代の敷島 遺跡・遺物からのメッセージ	—	平成13年(2001)
金の尾遺跡3	敷島町文化財調査報告 第9集	平成13年(2001)
埋蔵文化財試掘調査年報'01	敷島町文化財調査報告 第10集	平成13年(2001)
埋蔵文化財試掘調査年報'02	敷島町文化財調査報告 第11集	平成14年(2002)
山宮地遺跡2	敷島町文化財調査報告 第13集	平成15年(2003)
山宮地遺跡3	敷島町文化財調査報告 第17集	平成15年(2003)
埋蔵文化財試掘調査年報'04	敷島町文化財調査報告 第17集	平成16年(2004)
金の尾遺跡4	敷島町文化財調査報告 第24集	平成16年(2004)
金の尾遺跡7	敷島町文化財調査報告 第25集	平成16年(2004)
松ノ尾遺跡2	敷島町文化財調査報告 第2集	平成16年(2004)
末法遺跡3	敷島町文化財調査報告 第15集	平成16年(2004)
松ノ尾遺跡8	敷島町文化財調査報告 第16集	平成16年(2004)
松ノ尾遺跡3	敷島町文化財調査報告 第18集	平成16年(2004)
松ノ尾遺跡5	敷島町文化財調査報告 第19集	平成16年(2004)
松ノ尾遺跡6	敷島町文化財調査報告 第20集	平成16年(2004)
村統遺跡1	敷島町文化財調査報告 第21集	平成16年(2004)

表 33 市（合併前の旧町村含む）刊行物一覧（2/2）

書名	副題	発行年(西暦)
御岳田遺跡2	敷島町文化財調査報告書第22集	平成16年(2004)
山宮地遺跡1	敷島町文化財調査報告書第23集	平成16年(2004)
松ノ尾遺跡9	甲斐市文化財調査報告書第1集	平成16年(2004)
竜王町史	—	平成16年(2004)
竜王町史 文化歴史編	—	平成16年(2004)
埋蔵文化財試掘調査年報'05	甲斐市文化財調査報告書第2集	平成17年(2005)
三昧堂遺跡1	甲斐市文化財調査報告書第3集	平成17年(2005)
埋蔵文化財試掘調査年報'06	甲斐市文化財調査報告書第5集	平成18年(2006)
松ノ尾遺跡10	甲斐市文化財調査報告書第4集	平成18年(2006)
松ノ尾遺跡11	甲斐市文化財調査報告書第6集	平成18年(2006)
松ノ尾遺跡13	甲斐市文化財調査報告書第7集	平成18年(2006)
石原田遺跡1	甲斐市文化財調査報告書第8集	平成18年(2006)
末法遺跡4	甲斐市文化財調査報告書第9集	平成19年(2007)
埋蔵文化財試掘調査年報'07	甲斐市文化財調査報告書第10集	平成19年(2007)
御岳田遺跡4	甲斐市文化財調査報告書第11集	平成19年(2007)
甲斐市文化遺産年報1	甲斐市文化財調査報告書第14集	平成20年(2008)
原腰遺跡2	甲斐市文化財調査報告書第17集	平成22年(2010)
松ノ尾遺跡14	甲斐市文化財調査報告書第19集	平成24年(2012)
末法遺跡5・6	甲斐市文化財調査報告書第20集	平成24年(2012)
御岳田遺跡5	甲斐市文化財調査報告書第21集	平成25年(2013)
御岳田遺跡6	甲斐市文化財調査報告書第22集	平成25年(2013)
金ノ宮遺跡1	甲斐市文化財調査報告書第24集	平成27年(2015)
松ノ尾遺跡15	甲斐市文化財調査報告書第25集	平成28年(2016)
御岳田遺跡7	甲斐市文化財調査報告書第26集	平成29年(2017)
甲斐市指定有形文化財 天澤寺山門保存修理工事報告書	甲斐市文化財調査報告書第27集	平成29年(2017)
金の尾遺跡(パンフレット)	山梨県を代表する弥生時代の遺跡 金の尾遺跡発見40年記念シンポジウム 冊子	平成29年(2017)
御岳田遺跡8	甲斐市文化財調査報告書第28集	平成30年(2018)
御岳田遺跡9	甲斐市文化財調査報告書第29集	令和元年(2019)
松ノ尾遺跡16	甲斐市文化財調査報告書第30集	令和2年(2020)
松ノ尾遺跡17	甲斐市文化財調査報告書第31集	令和2年(2020)
甲斐市文化遺産年報2	甲斐市文化財調査報告書第32集	令和2年(2020)
御岳田遺跡10	甲斐市文化財調査報告書第33集	令和3年(2021)
甲斐市文化遺産年報3	甲斐市文化財調査報告書第34集	令和3年(2021)
甲斐市文化遺産年報4	甲斐市文化財調査報告書第35集	令和4年(2022)

表 34 本市に係わる山梨県刊行物一覧

書名	副題	発行年(西暦)
山梨県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書 —北巨摩郡双葉町地内1—	—	昭和54年(1979)
山梨県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書 —北巨摩郡双葉町地内2— —中巨摩郡竜王町地内—	—	昭和54年(1979)
徳坂路	山梨県歴史の道調査報告書 第1集	昭和59年(1984)
甲州街道	山梨県歴史の道調査報告書 第4集	昭和60年(1985)
山梨県の中世城館跡—分布調査報告書—	—	昭和61年(1986)
御嶽道	山梨県歴史の道調査報告書 第12集	昭和62年(1987)
高尾街道・戸田街道	山梨県歴史の道調査報告書 第13集	昭和62年(1987)
金の尾遺跡・無名墳(きつね塚)	山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第25集	昭和62年(1987)
逸見路	山梨県歴史の道調査報告書 第14集	昭和63年(1988)
市川道	山梨県歴史の道調査報告書 第15集	昭和63年(1988)
御幸道	山梨県歴史の道調査報告書 第17集	昭和63年(1988)
山梨県生産遺跡分布調査報告書	山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第51集	平成2年(1990)
唐松遺跡	山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第111集	平成8年(1996)
山梨県の近代化遺産	—	平成9年(1997)
山梨県堤防・河岸遺跡分布調査報告書	山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第152集	平成10年(1998)
山梨県歴史の道ガイドブック	—	平成10年(1998)
2005山梨県レッドデータブック	山梨県の絶滅のおそれのある野生生物	平成17年(2005)
山梨県内中世寺院分布調査報告書	山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第260集	平成21年(2009)
山梨県の近代和風建築	—	平成27年(2015)
2018山梨県レッドデータブック	山梨県の絶滅のおそれのある野生生物	平成30年(2018)
御嶽昇仙峡—御嶽昇仙峡の「自然」に関する学術調査報告書—	—	令和3年(2021)
御嶽昇仙峡—御嶽昇仙峡の「文化遺産」に関する学術調査報告書—	—	令和4年(2022)
山梨県史 全29冊	—	平成7年(1995)～ 平成20年(2008)

表 35 釜無川・荒川に関する水害記録一覧表 (1/3)

時代	和暦	西暦	事項	出典		
戦国	永祿6年	1563	7/6釜無川洪水(保坂家文書)	『竜王町史』		
安土桃山	天正元年	1573	釜無川堤防破損(三井家文書)	『竜王町史』		
時代	將軍	天正7年	1579	釜無川水損(三井家文書)	『竜王町史』	
江戸前期	2代秀忠	慶長13年	1608	釜無川出水	『山梨県史』	
		寛文10年	1670	6/3大雨・洪水、釜無川・荒川に檜材木流出	『山梨県史』	
	4代家綱	寛文12年	1672	釜無川出水	『山梨県史』	
		延宝2年	1674	8/11釜無川・笛吹川などで大洪水	『山梨県史』	
	5代綱吉	天和元年	1681	9月釜無川大氾濫・破堤	『山梨県史』	
		天和2年	1682	釜無川・笛吹川筋出水	『山梨県史』	
		貞享4年	1687	8月釜無川など出水/10月国内大出水	『山梨県史』	
		元祿元年	1688	8月釜無川・笛吹川大洪水/10月大水	『山梨県史』	
元祿2年		1689	吉沢村で洪水	『敷島町誌』		
江戸中期	7代家継	正徳3年	1713	7月釜無川・笛吹川筋氾濫	『山梨県史』	
		享保2年	1717	釜無川たびたび出水	『山梨県史』	
	8代吉宗	享保6年	1721	閏7/20釜無川破堤	『山梨県史』	
		享保7年	1722	9月釜無川・笛吹川筋出水	『山梨県史』	
		享保10年	1725	秋、釜無川筋出水	『山梨県史』	
		享保13年	1728	7/8釜無川・笛吹川筋大出水/8/12御勅使川洪水	『山梨県史』	
		享保15年	1730	7月末笛吹川筋大水/8/30御勅使川出水、釜無川氾濫	『山梨県史』	
		享保20年	1735	7/17釜無川筋破堤	『山梨県史』	
		元文元年	1736	6/5笛吹川・釜無川満水/8/17~19大雨、御勅使川など出水	『山梨県史』	
		元文3年	1738	7/22釜無川筋出水	『山梨県史』	
	9代家重	寛保元年	1741	釜無川筋出水	『山梨県史』	
		延享元年	1744	7/13釜無川筋出水/8月大雨、諸川出水	『山梨県史』	
		寛延元年	1748	6/3・4大雨、釜無川・笛吹川など洪水	『山梨県史』	
			宝暦3年	1753	秋、荒川・釜無川で出水・山崩れ 亀沢村の水難	『山梨県史』 『敷島町誌』
		宝暦5年	1755	春、釜無川筋出水	『山梨県史』	
		宝暦7年	1757	4/21~5/6大雨、釜無川・御勅使川・笛吹川筋満水	『山梨県史』	
		宝暦9年	1759	釜無川出水	『山梨県史』	
		明和元年	1764	秋、釜無川出水	『山梨県史』	
			明和2年	1765	4/16、4/24、8/3釜無川出水/春~秋中たびたび釜無川・御勅使川筋満水	『山梨県史』
			明和4年	1767	秋、釜無川出水	『山梨県史』
明和5年	1768		釜無川出水	『山梨県史』		
明和8年	1771		8/22釜無川出水	『山梨県史』		
江戸中期	10代家治	安永元年	1772	8/2大風雨、釜無川出水	『山梨県史』	
		安永2年	1773	6/16~19・23大雨、釜無川筋出水	『山梨県史』	
		安永8年	1779	8/24・25大雨、釜無川筋出水	『山梨県史』	
		安永9年	1780	6月・秋中、釜無川筋たびたび出水	『山梨県史』	
		天明元年	1781	釜無川筋水難	『山梨県史』	
		天明2年	1782	釜無川筋水難	『山梨県史』	
		天明3年	1783	釜無川出水	『山梨県史』	

※1 文書は出典に基づき、釜無川と荒川に関する記述に限り引用した

※2 釜無川筋、荒川筋が必ずしも甲斐市域に該当するとは限らない

表 35 釜無川・荒川に関する水害記録一覧表 (2/3)

時代	将軍	和暦	西暦	事 項	出 典
江戸中期		天明6年	1786	秋、釜無川・笛吹川出水	『山梨県史』
		寛政元年	1789	夏、釜無川出水	『山梨県史』
		寛政2年	1790	7月末より雨続き、8/19・20大風雨、釜無川・笛吹川・荒川など出水・破堤	『山梨県史』
		寛政3年	1791	夏、釜無川出水、8/6大風雨、国内各所出水／8月中笛吹川筋たびたび出水	『山梨県史』
		寛政4年	1792	7月釜無川出水	『山梨県史』
		寛政8年	1796	8/12大風雨、釜無川・笛吹川筋など出水	『山梨県史』
		寛政10年	1798	4月釜無川筋出水	『山梨県史』
江戸後期	11代家斉	寛政11年	1799	秋、釜無川筋出水	『山梨県史』
		享和元年	1801	6/29大風雨、釜無川筋出水／7/4、8/6釜無川筋出水	『山梨県史』
		享和2年	1802	6/29大雨、釜無川・笛吹川筋出水	『山梨県史』
		享和3年	1803	8月大雨、釜無川破堤	『山梨県史』
		文化元年	1804	8/27～30大風雨、釜無川・笛吹川筋出水	『山梨県史』
		文化2年	1805	5/19釜無川出水	『山梨県史』
		文化3年	1806	釜無川筋出水	『山梨県史』
		文化4年	1807	9/16・17大雨、釜無川筋出水	『山梨県史』
		文化6年	1809	釜無川筋出水	『山梨県史』
		文化7年	1810	釜無川筋出水	『山梨県史』
		文化10年	1813	釜無川満水	『山梨県史』
		文化11年	1814	8月釜無川筋出水	『山梨県史』
		文化13年	1816	6/30大雨、釜無川堤大破／閏8/3・4大雨、釜無川・笛吹川筋出水	『山梨県史』
		文政元年	1818	釜無川筋破堤	『山梨県史』
	文政5年	1822	5/28～6/1大雨、釜無川筋出水	『山梨県史』	
	文政6年	1823	6月笛吹川出水／8/17・18大風雨、釜無川・御勅使川・笛吹川筋出水	『山梨県史』	
	文政7年	1824	6/29釜無川筋出水	『山梨県史』	
	文政8年	1825	7/13大風雨／8/14・15大風雨、釜無川筋出水	『山梨県史』	
	文政9年	1826	釜無川筋出水	『山梨県史』	
	文政11年	1828	6/30～7/1大風雨、釜無川・笛吹川出水	『山梨県史』	
	文政12年	1829	8月中釜無川筋二度出水 境村大風雨害	『山梨県史』 『敷島町誌』	
	天保元年	1830	4/10大風雨、釜無川筋出水／7/3大雨、釜無川出水	『山梨県史』	
	天保3年	1832	9/18大風雨、釜無川筋出水	『山梨県史』	
	天保6年	1835	4/3大風雨／夏中たびたび大雨、釜無川筋出水／7/5・6大風雨、釜無川筋満水／閏7/6～8大雨、釜無川など出水／10/8釜無川筋出水	『山梨県史』	
	天保7年	1836	4月～夏雨天がら、8月までたびたび大風雨・出水／8/13大風雨、釜無川筋に土石流	『山梨県史』	
	12代家慶	天保8年	1837	8/5・14大風雨、釜無川・笛吹川筋出水	『山梨県史』
		天保9年	1838	この年釜無川筋出水	『山梨県史』
天保11年		1840	春～秋、釜無川筋たびたび出水	『山梨県史』	
天保13		1842	釜無川筋たびたび出水・土砂崩れ	『山梨県史』	
弘化2年		1845	8月御勅使川で破堤、釜無川出水	『山梨県史』	
弘化3年		1846	6/26～28釜無川筋出水／7/7・8大雨、釜無川出水	『山梨県史』	
嘉永元年		1848	秋、釜無川出水	『山梨県史』	

※1 文書は出典に基づき、釜無川と荒川に関する記述に限り引用した

※2 釜無川筋、荒川筋が必ずしも甲斐地域に該当するとは限らない

表 35 釜無川・荒川に関する水害記録一覧表 (3/3)

時代	将軍/首相	和暦	西暦	事 項	出 典
江戸後期	12代家慶	嘉永3年	1850	釜無川筋出水	『山梨県史』
		嘉永4年	1851	7/20大雨、釜無川筋満水	『山梨県史』
	13代家定	安政2年	1855	7/25～27大雨、釜無川破堤・笛吹川洪水/10月釜無川筋出水	『山梨県史』
		安政4年	1857	5月大雨、釜無川破堤/秋、釜無川出水	『山梨県史』
	14代家茂	万延元年	1860	5/11大風雨、釜無川・御勅使川出水	『山梨県史』
		文久2年	1862	7/24・25大雨、釜無川破堤	『山梨県史』
		慶応元年	1865	秋、釜無川出水	『山梨県史』
15代慶喜	慶応2年	1866	7月初旬釜無川2度出水/8/5～7大風雨、釜無川・笛吹川筋出水	『山梨県史』	
明治	—	明治元年	1867	5/8釜無川・御勅使川出水/7/18・19大雨、釜無川・笛吹川出水/8/1・2、5-6釜無川出水	『山梨県史』
	—	明治10年	1877	10/11松島・清川で風害	『敷島町誌』
	—	明治11年	1878	荒川氾濫、松島地内の堤防が5間流失	『敷島町誌』
	松方正義	明治29年	1896	旧双葉町の塩川、釜無川通で水害	『山梨県史』
				釜無川の信玄堤が決壊 玉幡村で流出家屋500戸、死者33人	『甲斐市誌』上巻特化地域計画
	大隈重信 山縣有朋	明治31年	1898	復旧工事中の信玄堤が決壊	『甲斐市誌』上巻特化地域計画
		明治32年	1899		
	西園寺公望	明治39年	1906	8月、清沢川大氾濫。清川小学校やその付近、亀沢の中下が流失	『敷島町誌』
		明治40年	1907	8月22～26日大水害/笛吹川の流路が変わる	『山梨と災害』
	桂太郎	明治43年	1910	8月9～10日大水害/荒川や相川なども氾濫	『山梨と災害』
松島村東町で堤防決壊、千松橋流失/濁流は金刀比羅神社付近から宮地東を南下し長塚、賈川方面へ				『敷島町誌』	
西園寺公望	明治44年	1911	8月、釜無川の信玄堤が決壊	『甲斐市誌』上巻特化地域計画	
岡田啓介	昭和10年	1935	清川・睦沢・吉沢で被害。千松橋付近の民家3戸流失	『敷島町誌』	
広田弘毅	昭和11年	1936	10月大出水。千松橋流失	『敷島町誌』	
芦田均	昭和23年	1948	9月、賈川の堤防が決壊	『甲斐市誌』上巻特化地域計画	
吉田茂	昭和25年	1950	8月、賈川の堤防が決壊	『甲斐市誌』上巻特化地域計画	
昭和	岸信介	昭和34年	1959	8月12～14日台風7号が富士川に沿って北上/峡北地域が大きな被害を受ける	『山梨と災害』
				外河原耕地2ha、下今井河原地内耕地1ha流失、六反川柳の内耕地1ha流失	『双葉町誌』
				死者1名、田畑25ha流失/笠原神社本殿倒壊	『敷島町誌』
	佐藤栄作	昭和40年 昭和41年	1965 1966	9月26～27日/台風15号(伊勢湾台風)	『山梨と災害』
				全半壊30余戸、耕地流失2ha、畑舎工流失5箇所、水路護岸流失数百m/土石流災害	『双葉町誌』
鈴木善幸	昭和57年	1982	9月、旧竜王町で床下浸水104戸	『甲斐市誌』上巻特化地域計画	
中曽根康弘	昭和58年	1983	9月26日台風26号/(旧足和田村根場が土石流によりほぼ全滅)	『山梨と災害』	
平成	海部俊樹	平成3年	1991	8月1～3日(10号)・9月10～12日(18号)富士川が戦後最大の流量を記録	『山梨と災害』
				昇仙峡で山崩れにより道路寸断、荒川決壊	『甲斐市誌』上巻特化地域計画
	森喜朗	平成12年	2000	8月14～17日(出陣同時期)きた台風5号と6号により御坂山系や富士山麓で大きな被害	『山梨と災害』
令和	安倍晋三	令和元年	2019	9月、台風18号により、獅子平地区で県道に土砂流出	『甲斐市誌』上巻特化地域計画
				9月、大雨により亀沢及び清川地区護岸崩落、家屋全壊1戸、半壊2戸、千田林道が200mにわたり崩壊	『甲斐市誌』上巻特化地域計画
				10月、台風19号により釜無川左岸の双葉水辺公園の一部が洗掘により流失	『甲斐市誌』上巻特化地域計画

※1 文書は出典に基づき、釜無川と荒川に関する記述に限り引用した

※2 釜無川筋、荒川筋が必ずしも甲斐市域に該当するとは限らない

参考文献

- ・文化庁『文化財保護法』（昭和25年法律第214号）令和3年（2021）6月14日改正
- ・山梨県教育委員会『山梨県文化財保存活用大綱』令和2年（2020）
- ・山梨県『山梨県史』
- ・竜王町役場『竜王事典』平成8年（1996）
- ・竜王町役場『竜王事典2』平成13年（2001）
- ・敷島町役場『敷島町制施行50周年記念誌 あすへの飛翔』平成16年（2004）
- ・双葉町役場『ふたばの彩り』平成16年（2004）
- ・甲斐市『甲斐市誕生の記録』平成17年3月（2005）
- ・甲斐市『第1次甲斐市総合計画後期基本計画』平成23年（2011）
- ・甲斐市『甲斐市景観計画』平成27年（2015）
- ・甲斐市『甲斐市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン』平成27年（2015）
- ・甲斐市『甲斐市地域防災計画』平成29年（2017）
- ・甲斐市『第2次甲斐市総合計画後期基本計画』令和2年（2020）
- ・甲斐市『第2期甲斐市まち・ひと・しごと創生総合戦略』令和2年（2020）
- ・甲斐市『第2次創甲斐教育推進大綱』令和2年（2020）3月
- ・甲斐市『甲斐市都市計画マスタープラン（令和3年度改定）』令和3年（2021）
- ・甲斐市『甲斐市国土強靱化地域計画』令和4年（2022）

甲斐市文化財保存活用地域計画

発行年月日 令和5年3月（文化庁長官認定日：令和4年12月16日）
発行 甲斐市
編集 甲斐市教育委員会 教育部 生涯学習文化課 文化財係
〒400-0192 山梨県甲斐市篠原2610番地
TEL：055-278-1697（直通）
FAX：055-276-7290
MAIL：bunkazai@city.kai.yamanashi.jp

 甲斐市